

V 教育の内容と方法

1 学部

1-1 教育課程

1-1-1 専門科目と教養科目

本学の教育課程は、専門科目と教養科目から編成されている。

専門科目と教養科目の目的

専門科目	各学部・課程等の専攻に係る専門の学芸を教授する
教養科目	幅広く深い教養及び総合的な判断力を養い、豊かな人間性を涵養する

1-1-2 卒業資格

(1) 卒業の要件

それぞれの課程毎に卒業に必要な修得単位数等が定められている。

特に、学校教育教員養成課程・養護教諭養成課程では、両課程・コース等毎に定められた教員免許状を取得するのに必要な条件が満たされなければ、卒業することができない。

(2) 単位の修得

単位は、授業（講義、演習、実験、実習又は実技）を履修し、定期試験（及び追試験）のほか研究報告、随時行う試験、出席及び学修の状況等により合格と判定された場合に修得できる。ただし、卒業研究等の単位については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められた場合に修得できる。

(3) 学位・教員免許状・各種資格

本学の学則で規定された修業年限（４年）以上在学し、卒業に必要な授業科目等を履修し、卒業に必要な単位（教養科目を含む）を修得した者は、教授会において卒業が認定され、次の学位が授与される。

学位の種類	課 程
学士（教育学）	学校教育教員養成 養護教諭養成
学士（教 養）	情報文化 人間環境教育

(4) 取得に配慮のある教員免許状の種類

課程	コース	系	選修	小学校	中学校	高等学校	情報	特別 支援 学校	養 護 教 諭	幼 稚 園
学校教育 教員養成	学校教育	言語・社会 教育	国語	◎	国語	国語 書道	△			△
			社会	◎	社会	地理歴史 公民	△			△
			英語	○	英語	英語	△			△
		理数教育	数学	◎	数学	数学	△			△
			理科	◎	理科	理科	△			△
		音楽教育	音楽	◎	音楽	音楽	△			△
		美術教育	美術	◎	美術	美術 工芸	△			△
		保健体育教育	保健体育	◎	保健体育	保健体育	△			△
		技術教育	技術	○	技術	工業	△			△
		生活科学教育	家庭	◎	家庭	家庭	△			△
		教育科学	教育基礎	◎	△	△	△			△
	特別支援 教育			◎	△			◎		△
論養 養護 教					保健	保健			◎	
文情 文化 報	社会文化				美術	美術 工芸				
	生活デザイン									
	アート文化									
人間 教育 環境	環境				理科	理科				
	スポーツ				保健体育	保健体育				
	健康				保健体育	保健体育				
	心理				保健	保健				

◎：最も適している ○：適している △：配慮されている

(5) 取得に配慮のある各種資格

資格の種類	配慮のある課程・コース・系・選修
社会教育主事	学校教育コース（教育科学系）、情報文化課程
学校図書館司書教諭	教員免許取得可能な全課程・コース
学芸員	博物館 学校教育コース（社会選修）、人間環境教育課程（環境コース）
	美術館 情報文化課程
公認スポーツ指導者	学校教育コース（保健体育選修）、人間環境教育課程（スポーツコース、健康コース）
二級建築士受験資格	情報文化課程
健康運動指導士	人間環境教育課程（スポーツコース、健康コース）

1-1-3 単位制度

(1) 単位の時間数

各授業科目は、45時間の学修を必要とする内容（予習・復習などの自宅学習を含む）をもって1単位と定められている。授業は、講義・演習（1時間の授業につき、2時間の予習又は復習を必要とするもの）と実験・実習及び実技（2時間の授業につき、1時間の予習又は復習を必要とするもの）によって構成されている。

単位の時間数と学期の単位設定

授業の種類	1 単位時間数の内訳		週 1 講時	週 2 講時
	大学等での学習	自宅学習(予習・復習)		
講義・演習	15時間	30時間	2単位	4単位
実験、実習及び実技	30時間	15時間	1単位	2単位

(2) 学期と時間割

茨城大学では、4月～9月までを前学期、10月～3月までを後学期としている。各学期毎にどの曜日も15回（週に1回の場合）の授業を実施できるように学年暦が定められている。

(3) 評価基準

当該科目の修得内容から、次ページの「評定の基準」に基づき、「区分」に示される評価とそれに対応する「評価点」が与えられる。「区分」における各評価は右側に示される「評価の内容」が達成されたことを示す。「評価」はA⁺、A、B、C、D、Eの評語をもって表す。A⁺、A、B、C、Dを合格とし、Eは不合格とする。合格者には所定の単位が与えられる。なお、授業の出席時数が、その授業の総授業時間数の3分の2に達しない者には、単位を与えない。

評価の基準

評価区分	評 点	評価点	評 価 の 内 容
A ⁺	100 ～90	5	・授業の内容を十分に理解することができた。 ・他の授業や関連する専門領域に活用することができる。
A	89 ～80	4	・授業内容を8～9割程度理解することができた。 ・他の授業や関連する専門領域に活用することができる。
B	79 ～70	3	・授業内容を7～8割程度理解することができた。 ・自分の力で他に活用する道を開くことがほぼできる。
C	69 ～60	2	・授業内容を6～7割程度理解することができた。 ・糸口を与えれば他に活用する道を開くことができる。
D	59 ～50	1	・授業内容を5～6割程度理解することができた。 ・他への活用には困難がある。
E	49 ～	0	・授業内容の半分以下しか理解できなかった。 ・再履修することが望ましい。

注) 上記の「評価の内容」の中で、「理解すること」という観点がそのまま適用できない授業科目については、「理解」を「修得」に読み替えるものとする。

(4) 試験

前述したとおり、授業の出席時数がその授業の総授業時間数の 3 分の 2 に達しない場合は、たとえ試験を受けたとしても、単位は認定されない。また、試験を受ける際には、学生証を携帯しなければならない。

a. 定期試験

定期試験は、7 月末及び 2 月始めに行われる。

b. 追試験

病気又はやむを得ない理由により定期試験を受験できなかった場合は、所定の願書に診断書その他証明書を添付のうえ、学部長に願い出て追試験の許可を得なければならない。この願い出の期間は、定期試験期間終了後一週間以内である。追試験の期日はその都度指示される。

(5) 卒業研究

卒業研究とは、各自テーマを設定して自ら行う研究活動のことをさす。通常の授業のように学修の時間は定められていないが、学修の成果が評価され、指導教員によって単位を授与することが適切であると認められた場合に単位が修得できる。

卒業研究の提出期限

提出期限	課 程
12 月 25 日まで	情報文化課程
1 月 10 日まで	学校教育教員養成課程 学校教育コース（言語・社会教育系） 特別支援教育コース 養護教諭養成課程
1 月 31 日まで	学校教育教員養成課程（上記以外） 人間環境教育課程

(6) 教育実習（養護実習）

学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程の学生及び情報文化課程、人間環境教育課程で教員免許状の取得を希望する学生は、教育実習（養護実習）を行わなければならない。教育実習は所定の科目の単位を修得した後、3・4 年次に本学部附属小・中学校及び幼稚園を中心に協力校（実習者の出身校を含む）で一定期間行われる。取得する免許の種類に応じて実習校・実習期間等が異なる。また、実習には実習校での実習の前後に学内で行われる事前・事後指導等が含まれる。

(7) 介護等の体験

小学校又は中学校教諭普通免許状の取得を希望する学生は、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験）が必要である。これは授業ではないので単位認定は行われないが、大学が指定する施設において適切に実施し、その証明を受けなければならない。

(8) 他大学における学修単位等の認定

他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）において修得した単位及び入学前にすでに修得した単位は、60 単位を限度として本学卒業の所要単位として認められる。

この中には、文部科学大臣の認定を受けた技能審査（実用英語技能検定・日本漢字能力検定）の合格に係る学修の単位認定（10 単位以内）も含まれる。

(9) 大学間単位互換協定

「福島大学・宇都宮大学・茨城大学との単位互換協定」及び「放送大学との単位互換協定」を締結している。

(10) 他学部開設授業の履修

他の学部で開設されている授業（教育学部の「授業科目一覧および授業時間割」に掲載されていない授業）を履修する場合（自由履修単位となる）は、希望する授業科目の担当教員に必ず相談すること。学部によって履修申告の際の手続きが異なるので、希望する授業の当該学部学務係にその詳細を問い合わせること。

(11) 転課程・転コース

転課程・転コース試験に合格した者は、2 年次（又は 3・4 年次）から教育学部内にある他の専攻（課程・コース・系・選修）に移籍することができる。

1-1-4 課程ごとの履修基準

(1) 学校教育教員養成課程

学校教育教員養成課程は、小学校・中学校・特別支援学校の教員を養成する課程で、以下に示す 2 つのコースからなる。いずれのコースも卒業のためには「日本国憲法 2 単位」「体育 2 単位」「外国語コミュニケーション 2 単位」「情報機器の操作 2 単位」の取得と「介護等の体験」の実施が必要となる。

【学校教育コース】

学校教育コースでは、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状（各選修で定められた教科）の両方について取得可能な要件を満たすこと（小・中学校教諭どちらか必ず一種免許状の要件を満たすこと。両方二種免許状では不可。）を、卒業に必要な条件としている。小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の組み合わせは、以下 2 種類のタイプがある。

A タイプ＝小学校教諭一種免許状と中学校教諭二種免許状の取得

B タイプ＝小学校教諭二種免許状と中学校教諭一種免許状の取得

このタイプとは別に、小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方で一種を取得することも可能である。

【特別支援教育コース】

特別支援教育コースでは、小学校教諭一種免許状と特別支援学校教諭一種免許状の両方について取得可能な要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。なお、中学校教諭普通免許状を取得することも可能である。

学校教育教員養成課程の履修基準

科目区分			所要単位		
			学校教育		特別支援 教育
			Aタイプ	Bタイプ	
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6		
		健康・スポーツ科目	2		
		情報関連科目	2		
	主題別科目	分野別教養科目	6～		
		分野別基礎科目(人文系)	2		
		総合科目	4～		
		主題別ゼミナール	2		
合計修得単位			2 6		
専門科目	教職に関する科目		4 9 (4)	4 5 (2)	4 5 (4)
	教科に関する科目 (小学校)		1 4 (6)	4	1 4 (6)
	教科に関する科目 (中学校)		1 0	2 6 (6)	0
	特別支援教育に関する科目		0		2 8
	卒業研究		4		
合計修得単位			7 7	7 9	9 1
自由履修			2 2	2 0	8
卒業に必要な合計修得単位			1 2 5		

注) () 内の数字は、教員免許状取得の際「教科又は教職に関する科目」として申請される科目の単位数を示す。詳しくは、以下の該当する項目を参照すること。

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

a. 教職に関する科目（学校教育教員養成課程）

免許法科目				学校教育		特別支援教育
				Aタイプ	Bタイプ	
教職の意義等に関する科目 意 1 意 2 意 3				必修科目 2 単位		
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想			選択必修 免許法科目 3 領域から各 2 単位以上 合計 8 単位		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程					
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項					
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法 ----- 特別活動の指導法			必修科目 2 単位		
	教育の方法及び技術に関する科目			選択必修から 4 単位	選択必修から 2 単位	
	各教科の指導法 (小学校)			必修科目 9 教科 1 8 単位	選択必修 6 教科 1 2 単位 (音・図工・体のうち 2 教科 4 単位以上を含む)	必修科目 9 教科 1 8 単位
	各教科の指導法 (中学校)			取得する教科の指導法 2 単位	取得する教科の指導法 6 単位	0
	道徳の指導法			必修科目 2 単位		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目				選択必修から 4 単位		
教育実習				必修科目を含み合計 5 単位		
教職実践演習				必修科目 2 単位		
合計修得単位				4 9	4 5	4 5

b. 教科に関する科目（小学校）

コース	最低条件	選択履修	合計
Aタイプ 特別支援教育	「〇〇科内容研究」のうち各自選択した 4 教科 8 単位	「〇〇科内容研究」のいずれか 「教科又は教職に関する科目」のうち小学校の教科に対応する科目 6 単位	14 単位
Bタイプ	「〇〇科内容研究」のうち各自選択した 2 教科 4 単位		4 単位

c-1. 教科に関する科目（中学校）

タイプ	最低条件	選択履修	合計
Aタイプ	「教科に関する科目（中学校）」のうち 取得免許教科の科目 10単位		10単位
Bタイプ	「教科に関する科目（中学校）」のうち 取得免許教科の科目 20単位	「教科に関する科目（中学校）」のうち取得免許教科の科目 「教科又は教職に関する科目」のうち中学校の取得免許教科に該当する科目	6単位 26単位

c-2. 教科に関する科目（中学校）

●言語・社会教育系

		科目区分	所要単位数	
			中学一種	中学二種
言語・社会教育系	国語選修	国語学	2以上	2以上
		国文学	2以上	2以上
		漢文学	2以上	2以上
		書道	2以上	2以上
		合 計	20	10
	社会選修	日本史及び外国史	2以上	2
		地理学（地誌を含む）	2以上	2
		「法律学、政治学」	2以上	2
		「社会学、経済学」	2以上	2
		「哲学、倫理学、宗教学」	2以上	2
		合 計	20	10
	英語選修	英語学	2以上	2以上
		英米文学	2以上	2以上
		英語コミュニケーション	2以上	2以上
		異文化理解	2以上	2以上
		合 計	20	10

●理数教育系

		科目区分	所要単位数	
			中学一種	中学二種
理数教育系	数学選修	代数学	2以上	2
		幾何学	2以上	2
		解析学	2以上	2
		確率統計	2以上	2
		コンピュータ	2以上	2
		合 計	20	10
	理科選修	物理学	2以上	科目区分各領域から 1単位以上
		物理学実験	2以上	
		化学	2以上	
		化学実験	2以上	
		生物学	2以上	
		生物学実験	2以上	
		地学	2以上	
		地学実験	2以上	
		合 計	20	10

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

●音楽教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
音楽教育系	音楽選修	器楽	3 以上	3
		声楽	3 以上	3
		ソルフェージュ	1 以上	1
		指揮法	1 以上	1
		音楽理論	1 以上	1
		音楽史	1 以上	1
		合 計	2 0	1 0

●美術教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
美術教育系	美術選修	絵画	2 以上	1 各 単 領 位 域 以 分 上 区 から
		彫刻	2 以上	
		デザイン	2 以上	
		工芸	2 以上	
		美術理論及び美術史	2 以上	
		合 計	2 0	1 0

●保健体育教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
保健体育教育系	保健体育選修	体育実技	5 以上	5
		体育学	1 以上	1
		運動学	2 以上	1
		生理学	2 以上	1
		衛生学	2 以上	1
		学校保健	2 以上	1
		合 計	2 0	1 0

●技術教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
技術教育系	技術選修	木材加工(製図及び実習を含む)	3 以上	2 以上
		金属加工(製図及び実習を含む)	3 以上	2 以上
		機械(実習を含む)	2 以上	1 以上
		電気(実習を含む)	2 以上	1 以上
		栽培(実習を含む)	2 以上	1 以上
		情報とコンピュータ(実習を含む)	2 以上	1 以上
		合 計	2 0	1 0

●生活科学教育系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
生活科学教育系	家庭選修	家庭経営学(家族関係学及び家庭経済学を含む)	2 以上	科目区分各領域から各 1 単位以上
		被服学(被服製作実習を含む)	2 以上	
		食物学(栄養学, 食品学及び調理実習を含む)	2 以上	
		住居学	2 以上	
		保育学(実習を含む)	2 以上	
		合 計	2 0	1 0

●教育科学系

		科目区分	所要単位	
			中学一種	中学二種
教育科学系	教育基礎選修	1 教科選択必修 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語のうちから 1 教科を選択	Ⅲ 教員免許状の履修基準により単位を修得	Ⅲ 教員免許状の履修基準により単位を修得
		合 計	2 0	1 0

d. 特別支援教育に関する科目

「特別支援教育に関する科目」は、特別支援学校の教員に必要な専門的内容の習得を目的とする科目で、特別支援教育コースの学生は以下の履修基準にしたがって単位を修得する。

特別支援教育に関する科目

特別支援教育	科目区分		所要単位	
	特別支援教育の基礎理論に関する科目		2	
	特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	6 以上	1 6
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	6 以上	
	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目		6	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		4	
合計修得単位		2 8		

e. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。学修の成果を各コース、系、選修で定められた論文、実技又は作品等の提出や発表等の形式により公表し、その成果が評価され単位を修得する。

(2) 養護教諭養成課程

学校では養護教諭を中心として児童・生徒等の健康教育・保健指導、健康管理が行われる。保健室には、けがや疾病異常、精神的な問題を持った児童・生徒等が訪れ、いじめや保健室登校など学校が抱える様々な問題が持ち込まれる。これらの児童・生徒等に対して、担任や保護者、医療機関等と連携をとりながら、適切なケア、健康相談活動、教育への支援を行うことができる養護教諭を養成することが本課程の目的である。養護教諭養成課程では、養護教諭一種免許状の取得要件を満たすことを、卒業に必要な条件としている。また、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健）の取得に配慮がある。

養護教諭養成課程の履修基準

科目区分			所要単位
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6
		健康・スポーツ科目	2
		情報関連科目	2
	主題別科目	分野別教養科目	6 ～
		分野別基礎科目(人文系)	2
		総合科目	4 ～
主題別ゼミナール		2	
合計修得単位			2 6
専門科目	教職に関する科目		3 3
	養護に関する科目		4 0
	卒業研究		4
	合計修得単位		
自由履修			2 2
卒業に必要な合計修得単位			1 2 5

a. 教職に関する科目

「教職に関する科目」とは、教員である養護教諭にとって必要な教育に関する専門的知識・技能を習得する科目群である。これには、生徒指導、教育相談等に関する科目、養護実習など学校での支援・指導に直接資する知識及び技能を習得させるための科目が含まれている。

「教職に関する科目（養護教諭養成課程）」にしたがって単位を修得することによって、養護教諭一種免許状の取得に必要な「教職に関する科目」の修得単位が満たされ、一部は「養護又は教職に関する科目」として数えられる。また、「教育の方法及び技術」「進路指導等に関する科目」に対応した授業科目を履修し単位を修得することによって、中学校教諭一種免許状（保健）に必要な「教職に関する科目」の修得単位とすることができる。ただし、中学校教諭一種免許状（保健）を取得する場合は、表Ⅱ－8に加えて教育実習（養護実習とは異なる）を行い定められた単位を修得しなければならない。

教職に関する科目（養護教諭養成課程）

免許法科目		所要単位
教職の意義等に関する科目		2
教育の基礎理論に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	選択必修 免許法科目 3 領域から 各 2 単位以上 合計 8 単位
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
教育課程に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法	選択必修 免許法科目 4 領域から 各 2 単位以上 合計 12 単位
	道徳及び特別活動に関する内容	
	教育の方法及び技術	
指導法に関する科目（注）		
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導の理論及び方法	4
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法	
進路指導等に関する科目		
養護実習		5
教職実践演習		2
合計修得単位		33

注）受けようとする中学校教諭免許教科に対応した科目を履修すること。

b. 養護に関する科目

「養護に関する科目」は、養護教諭の免許取得のために必要な専門の科目群である。学校教育教員養成課程の「教科に関する科目」に相当するものであり、中学校教諭・高等学校教諭の「保健」の免許状取得に必要な科目と重複しているものが多い。

養護教諭が学校現場で実際に活動していくために必要な実践的な科目のほか、それらの基礎となる各種の科目とから構成されている。

次の表にしたがって単位を修得することによって養護教諭一種免許状の「養護に関する科目」及び中学校教諭一種免許状（保健）の「教科に関する科目」に必要な所要単位を満たすことができる。また、それぞれの免許状に必要な修得単位を超えて修得した単位は「養護又は教職に関する科目」あるいは「教科又は教職に関する科目」の単位数として利用できる。

養護に関する科目

免許法科目	所要単位
学校保健	2 以上
養護概説	2 以上
健康相談活動の理論及び方法	2 以上
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む）	4 以上
精神保健	2 以上
栄養学（食品学を含む）	2 以上
看護学（臨床実習及び救急処置を含む）	10 以上
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2 以上
解剖学及び生理学	2 以上
合計修得単位	40

c. 卒業研究

「卒業研究」は通常の授業のように学修の時間は定められていない。指導教員のもと各自が定めたテーマにしたがって論文等をまとめ、その成果が評価され単位を修得する。

(3) 情報文化課程

情報文化課程では、専門化と細分化が進む一方で、様々な分野の連携や融合も求められるという情報化社会において望まれる、多くの専門分野の知識を持ちつつその領域を複合的に連携し、社会で実践する力を持つ人間の育成をめざしている。

情報文化課程は、社会文化コース・生活デザインコース・アート文化コースの三つのコースからなるが、上記の目的を達成するために、柔軟な履修科目選択が可能な履修基準となっている。別途配布する履修モデル・課題別科目群などを参考にしながら、自分の目的に応じた科目履修計画を立てることが望ましい。

情報文化課程の履修基準

科目区分			所要単位	
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6	1 0
		健康・スポーツ科目	2	
		情報関連科目	2	
	主題別科目	分野別教養科目	6 ～	1 4 ～
		分野別基礎科目(人文系)	2	
		総合科目	4 ～	
		主題別ゼミナール	2	
合計修得単位			2 6	
			(卒研型)	(プロジェクト型)
専門科目	プロジェクト科目		1 2	1 6
	課程共通科目		1 6	
	課程専門科目		4 2	4 6
	特別演習		4	0
	卒業研究		4	
合計修得単位			7 8	
自由履修			2 0	
卒業に必要な合計修得単位			1 2 4	

注 1) プロジェクト型卒業を選択する場合と、卒業研究型卒業を選択する場合とで、課程専門科目

の所要単位数が変わるので注意すること。

注 2) プロジェクト型卒業を選択する場合、4 年次のプロジェクト科目 4 単位も修得しなければならない。

注 3) 卒業研究型卒業を選択する場合、特別演習 4 単位、卒業研究 4 単位を修得しなければならない。

a. 課程共通科目

課程全体に共通する基本的知識・技術・技能を課程内の全学生に定着させることを企図した科目となっている。16 単位を修得しなければならない。

b. 課程専門科目

各コースに関連する、あるいは複数のコースに関連する専門的な内容の科目をいう。選択した卒業スタイルによって所要単位数が変わってくるので注意すること。プロジェクト型卒業の場合は 46 単位、卒業研究型卒業の場合は 42 単位を修得しなければならない。

c. プロジェクト科目

プロジェクト科目は、1 年次から 3 年次ないし 4 年次までの学生によって構成された集団が自ら企画した、あるいはそれぞれの集団に与えられたテーマにしたがって学習・研究を行う科目である。

学生は特定のプロジェクトに参加し学習・研究活動を行うが、各学年で期待される達成目標は異なっている。

1 年次 … プロジェクトの内容の理解、基本的技術・技能の修得。

2 年次 … 技術・技能の習得、上下の学年との調整的役割。

3・4 年次 … 技術・技能の最終的な習得、1・2 年次の指導、プロジェクト活動のマネジメント。

なお、情報文化課程では、卒業スタイルとして「プロジェクト型卒業」と「卒業研究型卒業」のふたつからいずれかを選択できる。この選択にともなって専門科目の履修の仕方が若干変わってくる。これについては、「5. プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業」において説明する。

d. 特別演習 および 卒業研究

卒業研究は、特定の指導教員の下で 2 年間に渡る指導を受けながら、卒業論文の執筆、卒業作品の制作などを行うものである。卒業研究の指導は、卒業研究に必要な知識や技能・技術の習得、執筆・制作中の卒業研究の他学生・教員間での相互批判・検討などを行うための少人数で行うゼミ形式の授業を中心に行われる。これが 3 年次の「特別演習」・4 年次の「卒業研究」にあたり、卒業研究型卒業を選択する学生はこれらの科目を履修しなければならない。指導教員の決定方法などは 2 年次に行う「特別演習履修ガイダンス」にて説明する。

e. プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業

e.1. プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業の概要

情報文化課程では、卒業に際して、プロジェクト型卒業と卒業研究型卒業のいずれかを選択することが出来る。

プロジェクト型卒業は、1 年次より履修しているプロジェクト科目を 4 年次まで履修し、1・2 年次生の指導、プロジェクトの運営・マネジメントまでを担い、十分な成果を上げることが卒業要件となる。

卒業研究型卒業は、3 年次の「特別演習」、4 年次の「卒業研究」を履修し、特定の指導教員の指導の下で卒業論文の執筆、あるいは卒業制作などを行い、十分な成果を上げることが卒業要件となる。

e.2. プロジェクト科目の履修方法

プロジェクト科目の履修は、プロジェクト型卒業を選択するか、卒業研究型卒業を選択するかで、履修方法が異なる。

- ・ プロジェクト型卒業を選択する場合、1 年次から 4 年次までの 4 年間 16 単位を修得する。
- ・ 卒業研究型卒業を選択する場合、1 年次から 3 年次までの 3 年間 12 単位を修得する。
- ・ プロジェクト型卒業の場合、上記の 16 単位に加えて課程専門科目から 4 単位を修得する。
- ・ 卒業研究型卒業の場合、上記の 12 単位に加えて、3 年次に「特別演習」4 単位、4 年次に「卒業研究」4 単位を修得する。
- ・ 原則として 2 つ以上のプロジェクト科目を同時に履修することはできない。
- ・ 卒業研究型卒業の場合、4 年次に修得したプロジェクト科目の単位は課程専門科目又は自由履修の単位として扱う。4 年次の卒業研究題目申告票の提出をもって、最終的に卒業研究型卒業を選択したとみなす。

e.3. プロジェクト科目履修における転課程学生のための特例

プロジェクト科目は 3 年間ないし 4 年間の必修科目となっている。したがって転課程で中途年次より情報文化課程の学生となった場合、在学期間 4 年間での卒業が困難になるケースがいくつか考えられる。これは学生支援という転課程制度の主旨に必ずしも沿うものとはいえない。そのため、転課程学生についてののみ、プロジェクト科目の履修について以下の履修方法を適用する。

e.3.1. 2 年次に転課程してきた学生の場合

(ア) プロジェクト型卒業を選択する場合、2 年次から 4 年次までの 3 年間に 12 単位を修得し、加えて 2 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 16 単位とする。

(イ) 卒業研究型卒業を選択する場合、2 年次から 3 年次までの 2 年間に 8 単位を修得し、加えて 2 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 12 単位とする。

e.3.2. 3 年次に転課程してきた学生の場合

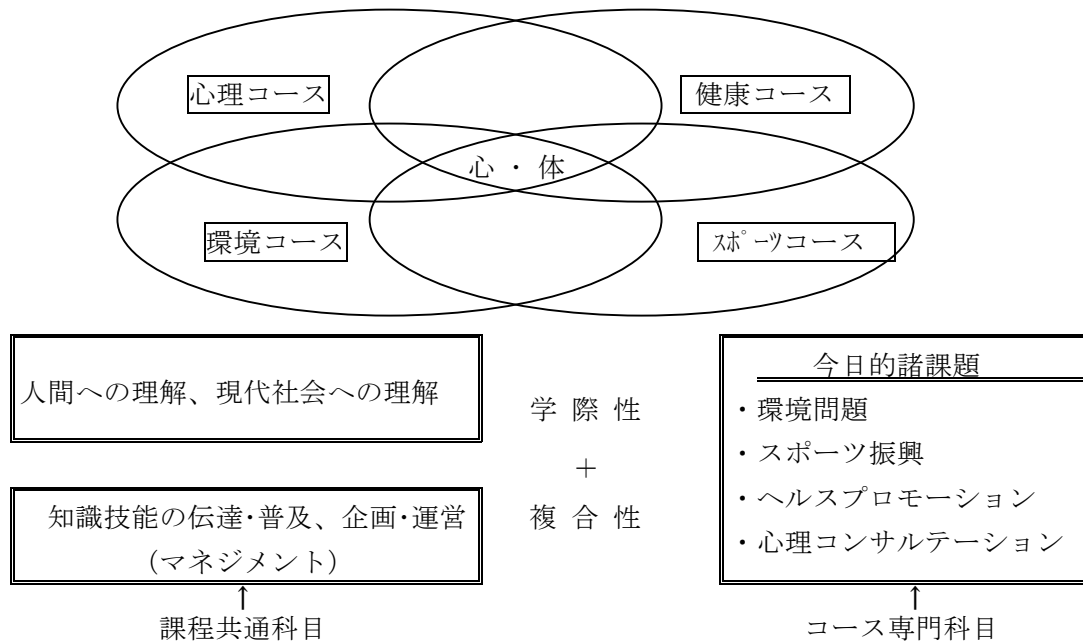
(ア) プロジェクト型卒業を選択する場合、3 年次から 5 年次までの 3 年間に 12 単位を修得し、加えて 3 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 16 単位とする。

(イ) 卒業研究型卒業を選択する場合、3 年次から 4 年次までの 2 年間に 8 単位を修得し、加えて 3 年次に先とは異なるプロジェクト 4 単位を修得して 12 単位とする。

(4) 人間環境教育課程

人間環境教育課程は、人間の「心と体」への理解を原点にし、今日的諸課題に的確に対処できる人材を養成することを目的としている。

そのために、課程共通に「人間への理解、現代社会への理解」を深め、「知識・技能の伝達・普及、企画・運営」に関わる能力を育成し、さらに、今日的課題として注目されている「心理、健康、スポーツ、環境」の4分野について、4コースに分かれてそれぞれの専門的能力を育成している。また、各分野にまたがったテーマを学際的に学び、人と人、テーマとテーマをつなぐことができるように配慮している。



人間環境教育課程の履修基準

科目区分			所要単位	
教養科目	共通基礎科目	外国語科目	6	10
		健康・スポーツ科目	2	
		情報関連科目	2	
	主題別科目	分野別教養科目	6～	14～
		分野別基礎科目(人文系)	2	
		総合科目	4～	
主題別ゼミナール		2		
合計修得単位			26	
専門科目	課程共通科目	人間理解のための科目	16	
		知識・技能の伝達等に関する科目		
	コース専門科目	各コースの専門科目	52	
	特別演習		6	
	卒業研究		4	
合計修得単位			78	
自由履修			20	
卒業に必要な合計修得単位			124	

a. 課程共通科目

課程共通科目は、次のような科目群で構成されている。

課程共通科目（人間環境教育課程）

人間理解のための科目	人間と社会を概観する科目
	現代的諸問題に関する科目
知識・技能の伝達等に関する科目	情報等の収集・利用に関する科目
	情報・技能の伝達・教育に関する科目
	決定過程等に関する科目

それぞれの科目群にまたがって履修することが望ましいが、全体で 16 単位を満たしていればよい。

b. コース専門科目

① コース専門科目は、次の 4 つのコース毎に 52 単位以上修得しなければならない。

環境コース、スポーツコース、健康コース、心理コース

② コース専門科目の中には、関係の深い複数のコースにまたがって設定されているものがある。申告の際には、自コースのコード番号で申告すること。

③ 教員免許状を取得するために必要な「教科に関する科目」、及び各種資格に必要な科目がいくつか設定されているので、「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄、備考欄に注意すること。

c. 特別演習

① 特別演習とは、3 年次から 4 年次にかけて卒業研究のために少人数で行われるゼミ形式の授業のことをさす。

② 特別演習には、各コースの内容を専門的に学ぶものと、複数コースにまたがった学際的なテーマをプロジェクト的に学ぶものがある。

d. 卒業研究

① 特別演習によって絞り込まれた研究テーマを定められた指導教員の指導を中心に自ら研究活動を行い、その成果を定められた期日に提出する。

② 個人で研究する場合と複数で共同研究する場合と、特にあるテーマにしたがって教員と学生がプロジェクトを組んで合同で研究に取り組む場合がある。

1-1-5 教員免許状

教員となるためには、教育職員免許法の定める教職課程の科目を大学等で履修することなどにより、教員免許状を取得することが必要である。教員免許状には下記に示す普通免許状のほか、在学中の諸君には直接関係はないが、特別免許状、臨時免許状がある。

教員免許状（普通免許状）の種類

区分	大学院修士課程修了	大学卒業	短期大学卒業
小学校教諭	専修免許状	一種免許状	二種免許状
中学校教諭			
特別支援学校教諭	専修免許状 (+小、中、高又は幼の普通免)	一種免許状 (+小、中、高又は幼の普通免)	二種免許状 (+小、中、高又は幼の普通免)
養護教諭	専修免許状	一種免許状	二種免許状
高等学校教諭			二種免許状
幼稚園教諭			

注 1) 中学校及び高等学校教員免許状は、更に教科別に設けられている。また、養護教諭の免許状には、学校種別はない。

注 2) 免許状の名称は「小学校教諭普通免許状（一種）」、あるいは「小学校教諭一種免許状」のように表記される。

注 3) 本学部では、普通免許状の一種・二種が取得できる。また、一種免許状を取得し、本学大学院教育学研究科において定められた単位を修得した者は、専修免許状が取得できる。

(1) 教員免許状取得に必要な共通的な科目

教育職員免許法では、文部省令にしたがって「日本国憲法（2単位）」「体育（2単位）」「外国語コミュニケーション（2単位）」及び「情報機器の操作（2単位）」の修得を定めている。本大学ではこれらの科目について次のように対応させている。

教員免許状取得に必要な共通的な科目とその対応科目区分

免許状取得に必要な共通的な科目	本学で対応している科目区分		
日本国憲法	教養科目 専門科目	分野別科目（社会の分野） 教科に関する科目（社会選修）	どちらでもよい
体育	教養科目	健康・スポーツ科目	
外国語コミュニケーション	教養科目	外国語科目	
情報機器の操作	教養科目	情報関連科目	

注1）これらの科目の単位をそれぞれ2単位ずつ修得していること。

注2）日本国憲法については、卒業要件の区分（教養科目として申請した場合は教養科目あるいは自由履修、専門科目のとして申請した場合は専門科目あるいは自由履修）のどこに該当するものでもよい。

(2) 教員免許状（普通免許状）取得に必要な専門科目

教育職員免許法では、免許状の種類によって履修すべき科目と必要単位数が細かく定められているが、大きく分けると次のようになる。

教員免許状取得に必要な専門科目の区分と必要単位数

免許状の種類		専門科目の区分と必要単位数					
学校種別		教職に関する科目	教科又は教職に関する科目	教科に関する科目	特別支援教育に関する科目	養護又は教職に関する科目	養護に関する科目
小学校教諭	一種	4 1	1 0	8			
	二種	3 1	2	4			
中学校教諭	一種	3 1	8	2 0			
	二種	2 1	4	1 0			
特別支援学校教諭	一種				2 6		
	二種				1 6		
養護教諭	一種	2 1				7	2 8
	二種	1 4				4	2 4
高等学校教諭	一種	2 3	1 6	2 0			
幼稚園教諭	一種	3 5	1 0	6			
	二種	2 7		4			

注1）一種については「学士」の学位、二種については「準学士」の称号を有すること。

注2）特別支援学校教諭については、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。

(3) 教員免許状取得の際の留意点

- ① 修得した単位は、卒業に必要な単位として数えると同時に教員免許状取得に必要な単位としても数えることができる（別の枠組みであると考え）。
- ② 修得した教員免許状に対応した専門科目の単位は、複数の免許状取得に共通している場合、それぞれに必要な単位として数えることができる。ただし、「教職科目」の一部と「教科又は教職に関する科目」については、学校種別によって共通的に数えることができない場合があるので注意すること。
- ③ 同一教科の中学校教諭免許状と高等学校教諭免許状を取得する際、「科目区分」が異なっている教科があるのでよく確認すること。また、「教職に関する科目」についても一部異なるので注意すること。
- ④ 免許状取得のために履修しなければならない授業科目は、「各教諭免許状の履修基準」

に掲げる免許法上の科目を別誌の「授業科目一覧および授業時間割」の免許区分欄によって求めることができる。

⑤ 以下「各教諭免許状の履修基準」の表記については、次のように理解すること。

- a. 「科目」とあるのは、免許法上にいう科目のことである。
- b. 「科目」欄に“・・・(〇〇〇を含む。)”とあるのは、それを含めて履修する必要があるもの。たとえば“国文学（国文学史を含む。）”とある場合は、国文学に関する授業科目中に国文学史を含んでいる科目を履修しなければならない。
- c. “・・・及び〇〇〇”は、両方の科目の履修を必要とするもの。たとえば、“日本史及び外国史”は、日本史に関する科目と外国史に関する科目の両方を履修しなければならない。
- d. “「・・・、〇〇〇」”と科目名にカギカッコを付して列挙されているものは、その中の一つ以上の科目を履修する必要があるもの。たとえば、“「哲学、倫理学、宗教学」”は、哲学、倫理学、宗教学の中から一つ以上の科目を選んで履修する。

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(4) 小学校教諭普通免許状

科目の区分			各区分の最低修得単位	
各科目に含めることが必要な事項			一種	二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)各教科の指導法	小学校 9 教科 各 2 単位以上	小学校 9 教科のうち、6 教科以上（音楽、図画工作及び体育のうち、2 以上を含む）をそれぞれ 2 単位以上
		(3)道徳の指導法	2 単位	1 単位
		(4)特別活動の指導法		
		(5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 2 単位	1 4 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法		
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
		(3)進路指導の理論及び方法		
	合計修得単位（各事項を含むこと）		4 単位	4 単位
	教育実習		5 単位	5 単位
	教職実践演習		2 単位	2 単位
合 計			4 1 単位	3 1 単位
教科又は教職に関する科目			1 0 単位	2 単位
教科に関する科目			小学校 9 教科のうち 1 以上の科目を修得	小学校 9 教科のうち 1 以上の科目を修得
合 計			8 単位	4 単位

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(5) 中学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分		各区分の最低修得単位	
		一種	二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割 (2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。） (3)進路選択に資する各種の機会の提供等	
	合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 (2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） (3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
	合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法 (2)各教科の指導法 (3)道徳の指導法 (4)特別活動の指導法 (5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2 単位以上 ^(注) 2 単位 1 単位
	合計修得単位（各事項を含むこと）	12 単位	4 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法 (2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 (3)進路指導の理論及び方法	
	合計修得単位（各事項を含むこと）	4 単位	4 単位
	教育実習	5 単位	5 単位
	教職実践演習	2 単位	2 単位
	合 計	3 1 単位	2 1 単位
	教科又は教職に関する科目	8 単位	4 単位

注) 1 種の「各教科の指導法」について、教育職員養成審議会の答申で 8 単位程度修得することが望ましいとされている。本学部では 6 単位を原則としている。

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(6) 中学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許 教科	教科に関する科目	最低修得単位	
		一種	二種
国 語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	1以上
	国文学（国文学史を含む。）	1以上	1以上
	漢文学	1以上	1以上
	書道（書写を中心とする。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
社 会	日本史及び外国史	1以上	1以上
	地理学（地誌を含む。）	1以上	1以上
	「法学、政治学」	1以上	1以上
	「社会学、経済学」	1以上	1以上
	「哲学、倫理学、宗教学」	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
数 学	代数学	1以上	1以上
	幾何学	1以上	1以上
	解析学	1以上	1以上
	「確率論、統計学」	1以上	1以上
	コンピュータ	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
理 科	物理学	1以上	1以上
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	化学	1以上	1以上
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	生物学	1以上	1以上
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	地学	1以上	1以上
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
音 楽	ソルフェージュ	1以上	1以上
	声楽（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	1以上	1以上
	器楽（合奏及び伴奏並びにピアノをを含む。）	1以上	1以上
	指揮法	1以上	1以上
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
美 術	絵画（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上
	彫刻	1以上	1以上
	デザイン（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上
	工芸	1以上	1以上
	美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10

免許 教科	教科に関する科目	最低修得単位	
		一種	二種
保健 体育	体育実技	1以上	1以上
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	1以上	1以上
	生理学（運動生理学を含む。）	1以上	1以上
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
保健	生理学及び栄養学	1以上	1以上
	衛生学及び公衆衛生学	1以上	1以上
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
技 術	木材加工（製図及び実習を含む。）	1以上	1以上
	金属加工（製図及び実習を含む。）	1以上	1以上
	機械（実習を含む。）	1以上	1以上
	電気（実習を含む。）	1以上	1以上
	栽培（実習を含む。）	1以上	1以上
	情報とコンピュータ（実習を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
家 庭	家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	1以上	1以上
	被服学（被服製作実習を含む。）	1以上	1以上
	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	1以上	1以上
	住居学	1以上	1以上
	保育学（実習を含む。）	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10
英 語	英語学	1以上	1以上
	英米文学	1以上	1以上
	英語コミュニケーション	1以上	1以上
	異文化理解	1以上	1以上
	合計修得単位	20	10

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

(7) 特別支援学校教諭普通免許状

特別支援学校教諭の免許状を取得するには、小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有し、次の表に示す「特別支援教育に関する科目」の単位を修得しなければならない。

特別支援学校教諭普通免許状（特別支援教育に関する科目）

特別支援教育に関する科目		最低修得単位			
		一種		二種	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		2		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	1	1 6	1	8
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	2		1	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	5		3	
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目				
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		3		3	
合計修得単位		2 6		1 6	

(8) 養護教諭普通免許状

養護教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「養護に関する科目」、「養護又は教職に関する科目」及び「教職に関する科目」の単位を修得しなければならない。

養護教諭普通免許状（教職に関する科目・養護又は教職に関する科目）

科目の区分			最低修得単位	
各科目に含めることが必要な事項			一種	二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2	2
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	4	2
	教育課程に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)道徳及び特別活動に関する内容		
		(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	4	2
	生徒指導及び教育相談に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法		
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		
	合計修得単位（各事項を含むこと）		4	2
	養護実習		5	4
	教職実践演習		2	2
	合 計			2 1
養護又は教職に関する科目			7	4

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

養護教諭普通免許状（養護に関する科目）

養護に関する科目	最低修得単位	
	一種	二種
衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4	2
学校保健	2	1
養護概説	2	1
健康相談活動の理論及び方法	2	2
栄養学（食品学を含む。）	2	2
解剖学及び生理学	2	2
「微生物学、免疫学、薬理概論」	2	2
精神保健	2	2
看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10	10
合計修得単位	28	24

(9) 高等学校教諭普通免許状

高等学校教諭の免許状を取得するには、次の表に示す「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」及び免許教科ごとに定められた「教科に関する科目」の単位を修得しなければならない。

高等学校教諭普通免許状（教職に関する科目・教科又は教職に関する科目）

科目の区分		一種	
各科目に含めることが必要な事項		各区分の最低修得単位	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割 (2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む。） (3)進路選択に資する各種の機会の提供等	
	合計修得単位（各事項を含むこと）		2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 (2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。） (3)教育に関する社会的、制度的又は経営的事項	
	合計修得単位（各事項を含むこと）		6 単位
	教育課程及び指導法に関する科目 ^{注)}	(1)教育課程の意義及び編成の方法 (2)各教科の指導法 (4)特別活動の指導法 (5)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	それぞれ受けようとする免許教科ごとに2単位以上
	合計修得単位（各事項を含むこと）		6 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)生徒指導の理論及び方法 (2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法 (3)進路指導の理論及び方法	
	合計修得単位（各事項を含むこと）		4 単位
	教育実習		3 単位
	教職実践演習		2 単位
合 計		23 単位	
教科又は教職に関する科目		16 単位	

注) 高等学校教諭普通免許状では、小・中学校における「教職に関する科目」の「教育課程及び指導法に関する科目」第(3)項「道徳の指導法」がないので注意すること。

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

高等学校教諭普通免許状（教科に関する科目）

免許 教科	教科に関する科目	最低修得 単位 (一種)	免許 教科	教科に関する科目	最低修得 単位 (一種)
国 語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1以上	美 術	絵画（映像メディア表現を含む。）	1以上
	国文学（国文学史を含む。）	1以上		彫刻	1以上
	漢文学	1以上		デザイン（映像メディア表現を含む。）	1以上
	合計修得単位	20		美術理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。）	1以上
地 理 歴 史	日本史	1以上	工 芸	合計修得単位	20
	外国史	1以上		図法及び製図	1以上
	人文地理学及び自然地理学	1以上		デザイン	1以上
	地誌	1以上		工芸制作（プロダクト制作を含む。）	1以上
公 民	合計修得単位	20	書 道	工芸理論、デザイン理論及び美術史（鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。）	1以上
	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1以上		合計修得単位	20
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	1以上	保 健 体 育	書道（書写を含む。）	1以上
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	1以上		書道史	1以上
数 学	合計修得単位	20		「書論、鑑賞」	1以上
	代数学	1以上		「国文学、漢文学」	1以上
	幾何学	1以上	保 健	合計修得単位	20
	解析学	1以上		体育実技	1以上
理 科	「確率論、統計学」	1以上		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」及び運動学（運動方法学を含む。）	1以上
	コンピュータ	1以上		生理学（運動生理学を含む。）	1以上
	合計修得単位	20		衛生学及び公衆衛生学	1以上
音 楽	物理学	1以上	家 庭	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上
	化学	1以上		合計修得単位	20
	生物学	1以上		「生理学、栄養学、微生物学、解剖学」	1以上
	地学	1以上		衛生学及び公衆衛生学	1以上
情 報	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	1以上	工 業	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	1以上
	合計修得単位	20		合計修得単位	20
	ソルフェージュ	1以上		家庭経営学（家族関係学及び家庭経済学を含む。）	1以上
	声乐（合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。）	1以上		被服学（被服製作実習を含む。）	1以上
楽	器楽（合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。）	1以上	英 語	食物学（栄養学、食品学及び調理実習を含む。）	1以上
	指揮法	1以上		住居学（製図を含む。）	1以上
	音楽理論、作曲法（編曲法を含む。）及び音楽史（日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。）	1以上		保育学（実習及び家庭看護を含む。）	1以上
	合計修得単位	20		家庭電気・機械及び情報処理	1以上
情 報	情報社会及び情報倫理	1以上	英 語	合計修得単位	20
	コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	1以上		工業の関係科目	1以上
	情報システム（実習を含む。）	1以上		職業指導	1以上
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1以上		合計修得単位	20
報	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	1以上	英 語	英語学	1以上
	情報と職業	1以上		英米文学	1以上
	合計修得単位	20		英語コミュニケーション	1以上
				異文化理解	1以上
				合計修得単位	20

(10) 幼稚園教諭普通免許状

幼稚園教諭の免許状を取得するには、次の表に示す科目の単位を修得しなければならない。

幼稚園教諭普通免許状

科目の科目区分			各区分の最低修得単位	
各科目に含めることが必要な事項			一種	二種
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	(1)教職の意義及び教員の役割		
		(2)教員の職務内容（研修、服務、身分保障等を含む）		
		(3)進路選択に資する各種の機会の提供等		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育の基礎理論に関する科目	(1)教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		
		(2)幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む）		
		(3)教育に関する社会的、制度的又は経済的事項		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	6 単位	4 単位
	教育課程及び指導法に関する科目	(1)教育課程の意義及び編成の方法		
		(2)保育内容の指導法		
		(3)教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む）		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	1 8 単位	1 2 単位
	生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	(1)幼児理解の理論及び方法		
		(2)教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む）の理論及び方法		
		合計修得単位（各事項を含むこと）	2 単位	2 単位
	教育実習		5 単位	5 単位
	教職実践演習		2 単位	2 単位
合 計		3 5 単位	2 7 単位	
教科又は教職に関する科目			1 0 単位	
教科に関する科目			小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得する	小学校の教科に関する科目のうちから国語、算数、生活、音楽、図画工作及び体育の教科に関する科目のうち1以上の科目について修得する
合 計			6 単位	4 単位

注) 教育実習（幼稚園）5 単位については、初等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ {教育実習（小学校）} をもって代えることができる。また、教育実習（小学校）5 単位のうち 3 単位までは中等教育実地研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ {教育実習（中学校）} をもって代えることができる。

1-1-6 諸資格

(1) 社会教育主事

社会教育主事とは、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導を与えることを職務とする専門職員（地方公務員）である。各都道府県及び市町村の教育委員会事務局に置かれ、各都道府県や市町村などで青少年から高齢者に対する様々な事業（講座等）の企画を立てたり、実際に公民館や青少年教育施設で指導・助言などをする。

本学部在学中に法令で定められた社会教育に関する科目の単位を修得し、さらに卒業後、1年以上社会教育主事補の職にあった者が、社会教育主事になることができる。つまり対応科目の単位修得によって直ちに資格が得られるものではないが、将来、社会教育関係に進む場合、有利な条件を持つことになる。

この社会教育主事となる資格を取得するには、次の表に示す基準にしたがって所要の単位を修得しなければならない。

法令に規定する科目と単位（社会教育主事）

科 目（本学部の授業科目名ではない）		所要単位
生涯学習概論		4
社会教育計画		4
社会教育演習、社会教育実習又は社会教育課題研究のうち一以上の科目		4
社会教育特講Ⅰ（現代社会と社会教育）	社会教育特講Ⅰ・Ⅱ及びⅢにわたって履修すること	1 2
社会教育特講Ⅱ（社会教育活動・事業・施設）		
社会教育特講Ⅲ（その他必要な科目）		
合計修得単位		2 4

注）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

(2) 学校図書館司書教諭

高度情報社会を迎え、学校図書館は「学習情報センター」及び「読書センター」としての機能の充実が求められている。その中心的役割を担うのが学校図書館司書教諭で、小学校・中学校・高等学校（特別支援学校を含む。）において、図書のみならず、視聴覚教育の資料・各種学習資料を収集・整理・保存し、これを児童・生徒・教師の利用に供するために様々な事業を行う専門職である。現在、小規模校を除く全ての学校に学校図書館司書教諭を置くことが推進されている。

「学校図書館司書教諭」は、いわゆる「資格」とは若干性質が異なり、「資格証明書」や「免許状」を所有するわけではない。「学校図書館司書教諭講習規定」に基づく所定の講習を受けた者に対して、文部科学大臣による「修了証書」が授与され、この「修了証書」を持つ教員（小・中・高および特別支援学校の教諭普通免許状を持つ者）が、その勤務校において「学校図書館司書教諭」となる資格を持つのである。（つまり、「修了証書」を所持していても学校に正規教員として勤務し、さらにその学校において発令がくだされなければ、「学校図書館司書教諭」にはなれない。）

本学部では、この講習科目に該当する科目が設けられており、5科目10単位を履修し単位を修得した者は、卒業後の所定の手続きにより修了証書が授与される。

学校図書館司書教諭講習科目と単位数

科 目	単位数	備 考
学校経営と学校図書館	2	教職に関する科目中、(1)共通に掲載
学校図書館メディアの構成	2	
情報メディアの活用	2	
学習指導と学校図書館	2	
読書と豊かな人間性	2	「教科又は教職に関する科目」に掲載
合計修得単位	10	

注）上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

(3) 学芸員

学芸員とは、国立・公立・私立を問わず、様々な博物館・美術館・資料館等において資料の収集や保管、調査研究及び教育普及活動に従事する専門職員である。

本学部では、歴史系、自然史系、美術系の学芸員の資格取得に配慮がある。ただし、近年、学芸員は専門的な知識ばかりでなく文化・社会・芸術について幅広い教養をそなえた研究者としての役割が期待されており、学芸員となるためには、次のような努力が必要である。

- ① 自然史系の場合、少なくとも修士課程、できれば博士課程を、歴史系・美術系の場合は、修士課程を修了しておきたい。
- ② 地方自治体の博物館や美術館では、専門職を現職教員や現職員から採用することがあるので、あらかじめそれらの職種に就ける資格を得ておきたい。

法令に規定する科目と単位（学芸員資格）

科 目（本学の授業科目名称ではない）			所要単位	
博物館に関する科目	生涯学習概論		1	全て必修
	博物館学		6	
	博物館概論			
	博物館経営論			
	博物館資料論			
	博物館情報論			
	博物館実習		3	
	視聴覚教育メディア論		1	
教育学概論		1		
選 択 科 目	美術系 歴史系	文化史	1	2科目以上8単位 これらの中から
		美術史	1	
		考古学	1	
		民俗学	1	
	自然史系	自然科学史	1	
		物理	1	
		化学	1	
		生物学	1	
		地学	1	

注1) 上記に該当する本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注2) 選択科目については、歴史系・美術系と自然史系の学生向けに、それぞれそれぞれ2区以上計8単位以上の履修が必要である。

注3) 本学部の卒業生で科目等履修生として「博物館に関する科目」の履修を希望する者については、あらかじめ担当教員と相談の上、受講の可否を確認すること。

注4) 資格証書は交付されない。上記単位の履修（見込）証明書と卒業（見込）証明書を要求博物館等に提出することで認定される。

(4) 公認スポーツ指導者

公認スポーツ指導者とは、スポーツ医・科学の知識を活かし、安全に、正しく、本質的な楽しさ、素晴らしさを伝えることができる指導者のことを指す。所定のカリキュラムによる講習会等に参加し、試験に合格すると認定される。その種類と役割は次の通り。

公認スポーツ指導者の種類と役割

種 類		役 割	所定時間
スポーツ指導者基礎資格	スポーツリーダー	地域におけるスポーツグループやサークルなどのリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたる。	35h
競技別指導者資格	指導員	地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に個人の年齢や性別などに合わせた指導にあたる。	共通 I:35h 専門:40h 以上
	上級指導員	年齢や競技レベルに応じた指導にあたり、事業計画の立案などクラブ内指導者の中心的な役割を担う。	共通 I+II:70h 専門:20h 以上
	コーチ	広域スポーツセンターや競技別のトレーニング拠点において、有望な競技者の育成にあたる。	共通 I+II+III:152.5h 専門:60h 以上
	上級コーチ	ナショナルレベルのトレーニング拠点において、選抜された競技者の育成強化にあたる。	共通 I+II+III+IV:192.5h 専門:40h 以上
	教師	商業スポーツ施設等において競技別の専門的指導者として会員のニーズに合わせた実技指導を行う。	共通 I+II+III:152.5h 専門:80h 以上
	上級教師	各種事業に関する計画の立案、指導方針の決定など組織内指導者の中心的な役割を担う。	共通 I+II+III:152.5h 専門:60h 以上
フィットネスインスピリット資格	ジュニアスポーツ指導員	地域スポーツクラブ等において、幼・少年期の子どもたちに遊びを通じた動きづくりの指導を行う。	共通 I:35h 専門:40h
	スポーツプログラマー	青年期以降のすべての人に対し、フィットネスの維持や向上のための指導・助言を行う。	共通 I+II:70h 専門:63h
メディカル・コンディショニング資格	スポーツドクター	スポーツマンの健康管理、スポーツ障害、スポーツ外傷の診断、治療予防研究等にあたる。	基礎:21 単位 応用:20 単位
	アスレティックトレーナー	スポーツドクター及びコーチと協力しながら、競技者の障害予防、応急処置、リハビリテーション、トレーニング、コンディショニング等にあたる。	共通 I+II+III:152.5h 専門:136h
マネジメント指導者資格	アシスタントマネージャー	総合型の地域スポーツクラブにおいて、クラブ員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネージャーを補佐し、クラブ経営のための諸活動をサポートする。	共通 I:35h 専門:35h
	クラブマネージャー	総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブの経営資源を有効に活用し、クラブ会員が継続的に快適なクラブライフを送ることができるよう健全なマネジメントを行う。	共通 I:35h 専門:167.5h

本学部は、公認スポーツ指導者養成講習会の免除適応コースになっている。したがって、本学部が開設している所定の科目の単位を修得することにより、資格別に、講習あるいは試験が免除される。

免除される公認スポーツ指導者資格の種類と区分

公認スポーツ指導者の種類	共通科目	専門科目
	講習・試験	講習・試験
スポーツリーダー（注 1）	免除される	該当なし
指導員・上級指導員 コーチ・上級コーチ	免除される （共通Ⅳは免除されない）	免除されない（注 2）
ジュニアスポーツ指導員 スポーツプログラマー	免除される	講習のみ免除される
アスレティックトレーナー	免除される	免除されない
アシスタントマネジャー	免除される	講習のみ免除される

注 1) スポーツリーダーは、基礎資格なので共通科目のみ。本学部保健体育選修・スポーツコース・健康コース修了者は、修得科目の種類にかかわらず、申請すれば資格が得られる。

注 2) 競技別指導者資格の専門科目は、それぞれの種目の中央競技団体が主催する講習および検定試験を受けなければならない。

注 3) スポーツドクターは医師免許を有している人のみ対象。

注 4) いずれの場合も、資格申請や修了証明書発行手続きには審査料等が必要となる。

（財）日本体育協会公認スポーツ指導者共通科目カリキュラム

共通Ⅰ	文化としてのスポーツ	3.75h	共通Ⅲ	社会の中のスポーツ	5h
	指導者の役割Ⅰ	5h		指導者の役割Ⅱ	7.5h
	トレーニング論	3.75h		スポーツと法	5h
	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅰ	7.5h		アスリートの栄養・食事	5h
	スポーツと栄養	2.5h		スポーツの心理Ⅰ	7.5h
	指導計画と安全管理	3.75h		スポーツの心理Ⅱ	10h
	ジュニア期のスポーツ	5h		身体のしくみと働き	10h
	地域におけるスポーツ振興	3.75h		トレーニング論Ⅱ	20h
				競技者育成のための指導法	10h
共通Ⅱ	社会の中のスポーツ	5h	共通Ⅳ	スポーツ指導者に必要な 医学的知識Ⅱ	20h
	スポーツと法	5h			
	スポーツの心理Ⅰ	7.5h		トップアスリートを取り 巻く諸問題	20h
	スポーツ組織の運営と事業	10h		指導能力を高めるための スキルアッププログラム	20h
	対象に合わせたスポーツ指導	7.5h			

注 5) 免除を受けるために必要な本学部の授業科目については、「授業科目一覧および授業時間割」を参照すること。

注 6) スポーツプログラマー及びジュニアスポーツ指導員の専門科目については、「授業科目一覧及び授業時間割」を参照すること。

(5) 健康運動指導士

健康運動指導士は、生涯を通じた国民の健康づくりに寄与する目的で創設され、生活習慣病を予防し、健康水準を保持・増進するための運動指導の専門家としての役割を担う。

本学はその養成校として認定されており、所定の単位を取得すると卒業時に受験資格が得られる。

健康運動指導士養成カリキュラム

科目（本学の授業科目名称ではない）	所要授業時間数
健康づくり施策概論	講義 3
健康管理概論	講義 3
生活習慣病（成人病）	講義 13
運動生理学	講義 12
機能解剖とバイオメカニクス（運動・動作の力源）	講義 9
健康づくり運動の理論	講義 9
運動障害と予防	講義 5
体力測定と評価	講義 2 実習 6
健康づくり運動の実際	実習 22
救急処置	講義 2 実習 2
運動プログラムの管理	講義 7 実習 6
運動負荷試験	講義 1 実習 4
運動行動変容の理論と実際	講義 3
運動と心の健康増進	講義 4
栄養摂取と運動	講義 6 実習 1
健康産業施設現場実習	実習

(6) 二級・木造建築士受験資格対応専門科目

二級・木造建築士受験資格を取得するためには、下表の「建築士法に定める建築に関する科目分類」の各分類における最低修得単位数を満たしたうえで、実務経験年数によって異なる合計単位数を修得しなければならない。

二級建築士専門科目

建築士法に定める建築に関する科目分類	本学における開講科目	最低修得単位数		
		実務経験 0 年	実務経験 1 年	実務経験 2 年
建築設計製図	設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ 設計製図Ⅲ インテリアデザイン演習	5 単 位 以 上		
建築計画 建築環境工学 建築設備	住居計画学 住環境計画学 建築学概論 住居環境学 都市設備及び住居環境	7 単 位 以 上		
構造力学 建築一般構造 建築材料	構造力学 材料力学 建築一般構造 コンクリート構造学 建築材料学基礎 建設材料学	6 単 位 以 上		
建築生産	建築施工	1 単 位 以 上		
建築法規	建築法規	1 単 位 以 上		
その他	図学演習 ベーシックデザイン 測量学演習 測量学 ユニバーサルデザイン演習 居住地計画演習			
合 計		4 0 単位 以上	3 0 単位 以上	2 0 単位 以上

建築士の設計又は工事管理の業務範囲

構 造 延べ面積(㎡)		木造			木造以外		すべての 構造	
		高さ 13m 以下かつ軒高 9 m 以下			高さ 13m 以下 かつ軒高 9m 以下		高さ 13m を超える または軒 高 9m を 超える	
		階数 1	階数 2	階数 3 以上	階数 2 以下	階数 3 以上		
30 以下		A			C	A		
30 を超え 100 以下								
100 を超え 300 以下		B						
300 を超え 500 以下						D		
500 を超え 1000 以下	一般							
	特定							
1000 を超える	一般	C						
	特定							

(注)

1. 本学情報文化課程で取得できるのは、2級建築士の受験資格である。
2. 特定とは学校、病院、劇場、映画館、観覧場、公会堂、オーディトリウムを有する集会場、百貨店。
3. A:誰にでもできる、B:一級、二級、木造建築士でなければならない、C:一級、二級建築士でなければならない、D:一級建築士でなければならない

1-1-7 資料

(1) 教育実習

a. 教育実習とは

教育実習とは、大学在学中に一定期間継続的に幼稚園・小学校・中学校・高等学校、及び特別支援学校等での教育場面に触れ、教師や子どもが行う教育の実際を観察し、様々な教員としての職務に参加し、教材研究をして授業を実施する（あるいは指導計画を作成し授業以外の諸活動を行う）授業科目である。具体的な目的は以下の通り。

- ① 大学での講義や、書物で学んだ教育理論の実際の教育場面への適用を試みること。
- ② 教育活動の実際に触れ、その全般について体験的に理解を深め、教育の本質を体得すること。
- ③ 学生の立場で教員としての生活を疑似体験し、自己の教職適性を検証すること。
- ④ 実際の教育実践の中で生身の教師・子どもと触れることによって、新たに教育理論を学ぶ意欲を刺激すること。

b. 教育（医療）現場における実習の種類

教育実習は教員免許状を取得するために必ず行わなければならない。全ての学校種に共通に「教職に関する科目」として設定されているものであり、幼稚園・小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校教諭免許状の取得には「教育実習」、養護教諭免許状の取得には「養護実習」として、それぞれの学校種毎に必要な単位が定められている。

この他に、特別支援学校教諭（特別支援学校の先生）の免許状を取得する場合は「特別支援教育に関する科目」、養護教諭（保健室の先生）の免許状を取得する場合は「養護に関する科目」の中にも実際に学校や病院において行われる実習（それぞれ「心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習」「臨床実習」）が設定されている。

ここでは、全ての学校種に共通した「教職に関する科目」の教育実習（養護実習）について解説しており、上述した「特殊教育に関する科目」及び「養護に関する科目」にある実習科目については、該当する課程・コースのガイダンスに留意すること。

c. 教育実習に対応した授業科目の種類

教育職員免許法（教免法）で規定されている教育実習（養護実習）には「事前事後指導」が平行して設定されており、これを同時に受講することで教育実習の事前準備、実習中必要な知識・技術や心構え等の学習、さらに実習の成果を後につなげ、さらに深めるための学習等が行われる。

本学部では、各学校種等に応じて 3・4 年次に 2 週間程度の集中授業として設定される「教育（養護）教育実地研究（各 2 単位）」と 2 年次に行われる事前指導「教育（養護）実地研究入門（各 1 単位）」が設定されている。

教育実習に対応した本学部の科目の種類

	必要単位数	教育実習（本体部分）	事前・事後指導
小学校教諭	5	初等教育実地研究	教育実地研究入門
中学校教諭	5	中等教育実地研究	
高等学校教諭	3	中等教育実地研究	
幼稚園教諭	5	幼児教育実地研究	
特別支援学校教諭	4 (養護学校教育コース)	特別支援教育実地研究（事前事後指導を含む）	
	3 (養護学校教育コース以外)		
養護教諭	5	養護教育実地研究	養護実地研究入門

注意事項

- ① 教育職員免許法（教免法）施行規則の定めでは、教育実習の総単位数の一定部分には、他の学校種の免許状取得のための教育実習の単位をあてることが可能となっている。そこで、学校教育教員養成課程学校教育コースでは、初等教育実地研究 2 単位と中等教育実地研究 2 単位に加えて教育実地研究入門 1 単位を修得すれば、計 5 単位で、小学校・中学校両方の教員免許が取得できるように設定されている。
- ② 同様に教免法では、隣り合った学校段階で教育実習を代替することも可能とされている。したがって、たとえば小学校教諭免許状を取得するために「初等教育実地研究」を履修していれば、それはそのまま幼稚園教諭免許状取得のための教育実習の単位として使用することができる。
- ③ 特別支援教育コース以外の者の履修については、特別支援教育実地研究は免許法の 3 単位とする。
- ④ 教育実習の履修にあたっては、履修申告のためのオリエンテーションが行われる。そこで履修基準を満たしているかどうか判断され、各学校種の教員免許状取得のために必要な教育実習の種類と単位数が示される。オリエンテーションは教育実習実施前に随時行われるので、掲示に注意すること。
- ⑤ 「〇〇教育実地研究」には、観察・参加を主とした「〇〇実践研究」がある。これは不定期に附属学校・公立学校等の教育実践に参加するものであるが、詳細についてはオリエンテーションにおいて指示される。

d. 教育実習を実施する学校

教育実習は、本学部附属学校（園）を中心に周辺の協力校、及び実習者の出身校で行われる。学校教育教員養成課程及び養護教諭養成課程の学生は、オリエンテーションによって実施する学校が割り振られる。また、情報文化課程及び人間環境教育課程の学生で教員免許状の取得を希望する学生は、原則として各自の出身校に自ら連絡をとり、それぞれの出身校で実習を行なう（「帰省実習」と呼ぶ）。いずれの場合も事前のオリエンテーションで必要な手続きをとらなければ実施できないので注意すること。

(2) 介護等体験

a. 介護等体験の趣旨

平成 9 年に「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」、いわゆる「介護等体験特例法」が公布された。これにより「義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連体の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点」から、小・中学校の教諭の普通免許状を取得しようとする者に、「障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験」を行うことが義務づけられた。この体験を通して、以下のことを学ぶ。

- ① 人間の尊さや人権を理解する。
- ② 一人一人が違った個性と能力を有していることを実感し、様々な価値観があることを理解する。
- ③ 諸施設やそこで働いている人々について理解する。

b. 対象学生

上記の法律は平成 10 年度から施行されており、平成 10 年度以降の大学等入学者に適用される。本学部の学校教育教員養成課程（特別支援教育コースを除く）及び養護教諭養成課程の学生と、情報文化課程と人間環境教育課程の学生のうち教員免許取得を希望する者とが対象となる。看護師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、介護福祉士などの免許を既に取得している人や、身体障害者手帳の交付を受けている人は免除される。

c. 体験の期間・時間

18歳に達した後に、原則として社会福祉施設又は老人保健施設で5日間、特別支援学校で2日間、合計7日間以上の介護等の体験を行う必要がある。茨城大学では、2年次に上記の日数をそれぞれ連続5日間及び連続2日間、大学の割り当てた施設で行うこととしている。1年次の1月頃にオリエンテーションが実施される。

1日当たりの必要時間は、「介護等の体験の内容等を総合的に勘案しつつ、適切な時間を確保するものとする」となっており、受入施設側の裁量に委ねられる。社会福祉施設の場合、原則として日帰りで概ね5～6時間程度とする。

d. 介護等体験の内容

介護等体験の内容は次の2つに大別されるが、具体的に何を行うかは受け入れ側の判断による。

- ① 直接的に介護・介助・交流等を行う：食事、排泄等の介護・介助、話し相手、散歩等の交流、学習活動等の支援や手伝い
- ② 受入施設・学校の職員の業務の補助：行事・バザー等の手伝い、掃除・洗濯・おむつたたみ等

e. 受け入れ施設及び学校の概要

① 社会福祉施設又は老人保健施設

ア. 社会福祉施設：憲法第25条に定めた国民の「生存権」、すなわち「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を保障するためにつくられたもの。

a. 高齢者施設（特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、デイサービスセンター、他）

b. 児童福祉・障害児施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設、知的障害児施設、肢体不自由児施設、児童自立支援施設、他）

c. 障害者にかかわる施設（身体障害者施設、知的障害者施設、精神障害者施設）

d. 生活保護にかかわる施設（救護施設、他）

イ. 老人保健施設：高齢者の病院等からの居宅復帰を支援するためにリハビリテーション機能を重視し、医療ケアと生活サービスをあわせて提供する施設。医療施設と福祉施設の中間的機能を有する。

② 特別支援学校：視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱などの子どもが通っている学校。

ア. 盲学校（盲児、強度弱視児）

イ. 聾学校（聾児、高度難聴児）

ウ. 知的障害養護学校（知的発達の遅滞の程度が中等以上の子ども等）

エ. 肢体不自由養護学校（運動・動作の不自由の程度が重度な子ども等）

オ. 病弱養護学校（慢性疾患で長期にわたって医療又は生活規則が必要な子ども等）

(3) 手続き

概ね次の事項が必要となる。

① 健康診断書

体験前には、健康診断を受診し、健康診断書を体験先に持参しなければならない。

② 証明書

体験終了時には、それぞれの体験先で「証明書」を受け取ることになる。これは、教員免許状を申請する際（4年次の11月頃）に必要となるので、大切に保管する必要がある。

③ 学生個人票

体験前に作成し、証明書の用紙とともに体験先に持参する。

④ 保険

以下の 2 つの保険に加入する。

- ・「学生教育研究災害傷害保険制度」（入学手続きの際に加入する）
原則として、学生本人の傷害等に対して支払われる。
- ・「インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険」（1 年次の 4 月に行われる教育実習オリエンテーションの際に加入する）
他人に傷害を与えたり、他人の財物を損壊した場合に支払われる。

(4) 実用英語技能検定及び日本漢字能力検定合格者に係る単位認定

a. 認定授業科目及び単位数

このことについて、合格者は下記のように単位が認定される。

実用英語技能検定合格者の認定科目及び単位数

準 1 級			1 級		
認定授業科目	区分	単位数	認定授業科目	区分	単位数
英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅣ	専門科目	2	英語コミュニケーションⅡ	専門科目	2
	専門科目	2	英語コミュニケーションⅣ 英語コミュニケーションⅥ	専門科目 専門科目	2 2
認定単位数		4	認定単位数		6
合計			6 単位（限度）		

日本漢字能力検定合格者の認定科目及び単位数

準 1 級 以 上			
認定授業科目	区分	単位数	備 考
国語学演習Ⅱ 中国文字学研究	専門科目	2	認定は 1 回とし、左記認定授業科目のうち、 いずれか 1 科目 2 単位とする。 なお、認定授業科目については、学生が選択 する。
	専門科目	2	
認定単位数		2 単位	

b. 認定願受付期間（受付最終日が土曜日の場合は前日、日曜日の場合は前々日）

受付は年 2 回とし、次の期間とする。

- 1 回目：8 月 20 日～8 月 31 日
2 回目：1 月 20 日～1 月 31 日

c. 認定の通知

認定された者については、「単位認定通知書」を本人に交付する。なお、交付日等に関しては別に掲示する。

d. その他

- ① 上記認定は、「大学以外の教育施設等における学修及び入学前の既修得単位等認定に関する細則（平成 7 年 3 月 31 日制定）第 1 条（9）に基づく単位の認定である。
- ② 「単位認定願」は教育学部学務係で受領し、受付期間内に同係へ提出すること。
- ③ 上記の単位認定については、教育学部在籍者に限る。

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

1-1-9 開設科目と受講者数

(1) 教職に関する科目

a. 共通

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P0001	教育実践と教師(A)	望月 厚志	前学期	火	2	常勤	220
P0002	教育実践と教師(B)	望月 厚志	前学期	火	1	常勤	53
P0003	学校・教師の社会学	小島 秀夫	前学期	火	1	常勤	2
P0004	教育の本質と理念(A,B)	小川 哲哉	前学期	木	1	常勤	164
P0006	教育の本質と理念(C,D)	小川 哲哉	後学期	木	1	常勤	122
P0008	学校と教育の歴史	佐藤 環	後学期	木	4	非常勤	98
P0009	人間教育の心理学(A,C)	丸山 広人	後学期	木	1	常勤	160
P0011	人間教育の心理学(B,D)	丸山 広人	前学期	木	1	常勤	130
P0013	発達の理解 I	渡部 玲二郎	前学期	木	3	常勤	99
P0014	発達の理解 II	村野井 均	後学期	木	3	常勤	90
P0015	教育の制度と経営(A,D)	加藤 崇英	前学期	木	2	常勤	220
P0016	教育の制度と経営(B,C)	加藤 崇英	後学期	木	2	常勤	95
P0021	学校教育課程論(A,B)	佐藤 環	前学期	月	2	非常勤	194
P0023	学校教育課程論(C,D)	佐藤 環	後学期	月	2	非常勤	139
P0025	道徳と価値の教育(A)	田代 尚弘	前学期	月	2	常勤	86
P0026	道徳と価値の教育(B,C,D)	田代 尚弘	後学期	月	2	常勤	220
P0029	学習指導の方法	杉本 憲子	後学期	木	3	常勤	176
P0030	教育の方法と技術	杉本 憲子	前学期	木	3	常勤	143
P0031	教育の方法と技術	杉本 憲子	後学期	火	4	常勤	150
P0034	技能伝達法	加藤 敏弘	前学期	火	1	常勤	11
P0035	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	2
P0036	生活指導の方法(A,D)	生越 達	後学期	木	2	常勤	225
P0037	生活指導の方法(B,C)	生越 達	前学期	木	2	常勤	115
P0041	学校教育相談(A)	三輪 壽二	後学期	月	2	常勤	60
P0042	学校教育相談(B,C,D)	三輪 壽二	前学期	月	2	常勤	219
P0046	社会教育	望月 厚志	後学期	火	2	常勤	48
P0047	生涯学習論	望月 厚志	後学期	集中		常勤	27
P0048	学校経営と学校図書館	名城 邦孝	前学期	金	2	非常勤	103
P0049	学校図書館メディアの構成	名城 邦孝	後学期	金	2	非常勤	121
P0050	情報メディアの活用	速水 智子	前学期	集中		非常勤	63
P0051	学習指導と学校図書館	名城 邦孝	後学期	集中		非常勤	71
P0052	幼児教育の内容と方法	神永 直美	後学期	月	5	非常勤	69
P0053	総合演習	加藤 崇英	後学期	火	2	常勤	17
P0056	総合演習	小川 哲哉	前学期	金	1	常勤	36
P0057	総合演習	杉本 憲子	前学期	月	3	常勤	32

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0058	総合演習	望月 厚志	後学期	火	4	常勤	25
P0060	総合演習	昌子 佳広	前学期	火	1	常勤	27
P0062	総合演習	岡安 隆	後学期	木	5	常勤	6
P0063	総合演習	伊藤 孝	後学期	水	2	常勤	9
P0065	総合演習	片口 直樹	前学期	木	4	常勤	23
P0066	総合演習	渡邊 将司	前学期	水	5	常勤	28
P0068	総合演習	山本 紀久子	前学期	火	4	常勤	10
P0069	総合演習	君塚 淳一	後学期	木	4	常勤	14
P0070	総合演習	勝二 博亮	前学期	月	4	常勤	30
P0071	総合演習	石原 研治	後学期	金	2	常勤	31

b. 教育科学系

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P0201	初等国語科教育法研究(A)	昌子 佳広	前学期	月	3	常勤	79
P0202	初等国語科教育法研究(B)	大内 善一	前学期	月	3	常勤	66
P0203	初等国語科教育法研究(C)	昌子 佳広	後学期	月	3	常勤	46
P0204	初等国語科教育法研究(D)	大内 善一	後学期	月	3	常勤	44
P0205	初等社会科教育法研究(A)	木村 勝彦	後学期	月	2	常勤	71
P0206	初等社会科教育法研究(B,D)	木村 勝彦	前学期	火	1	常勤	114
P0207	初等社会科教育法研究(C)	木村 勝彦	前学期	月	2	常勤	50
P0209	算数科教育法研究(A)	根本 博	前学期	火	2	常勤	75
P0210	算数科教育法研究(B)	根本 博	後学期	火	2	常勤	69
P0211	算数科教育法研究(C)	小口 祐一	後学期	月	1	常勤	52
P0212	算数科教育法研究(D)	小口 祐一	前学期	月	2	常勤	39
P0213	算数科教育法特講 I	鈴木 芳夫	後学期	火	3	非常勤	11
P0214	算数科教育法特講 II	根本 博	前学期	火	5	常勤	28
P0216	初等理科教育法研究(A,B)	山本 勝博	前学期	金	1	常勤	146
P0218	初等理科教育法研究(C,D)	大辻 永	前学期	火	2	常勤	90
P0220	初等音楽科教育法研究(A,B)	田中 健次	前学期	集中		常勤	103
P0222	初等音楽科教育法研究(C)	藤田 文子	前学期	金	2	常勤	13
P0223	初等音楽科教育法研究(D,E)	田中 健次	前学期	集中		常勤	87
P0225	初等音楽科教育法研究(F)	藤田 文子	後学期	金	2	常勤	43
P0226	図画工作科教育法研究(A)	金子 一夫	後学期	月	1	常勤	90
P0227	図画工作科教育法研究(B)	向野 康江	前学期	木	1	常勤	71
P0228	図画工作科教育法研究(C)	向野 康江	前学期	月	1	常勤	77
P0229	図画工作科教育法研究(D)	金子 一夫	後学期	木	1	常勤	63
P0230	体育科教育法研究(A)	松坂 晃	前学期	火	1	常勤	46
P0231	体育科教育法研究(B)	渡邊 将司	前学期	火	2	常勤	63
P0232	体育科教育法研究(C)	上地 勝	前学期	木	1	常勤	75

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0233	体育科教育法研究(D)	富樫 泰一	前学期	木	2	常勤	40
P0234	体育科教育法研究(A)	吉野 聡	後学期	火	1	常勤	43
P0235	体育科教育法研究(B)	吉野 聡	後学期	火	2	常勤	63
P0236	体育科教育法研究(C)	岡本 研二	後学期	木	1	常勤	72
P0237	体育科教育法研究(D)	岡本 研二	後学期	木	2	常勤	40
P0238	初等家庭科教育法研究(A)	山本 紀久子	後学期	木	1	常勤	80
P0239	初等家庭科教育法研究(B)	和田 早苗	後学期	木	1	非常勤	81
P0240	初等家庭科教育法研究(C,D)	山本 紀久子	前学期	木	1	常勤	76
P0242	生活科教育法研究(A,B)	昌子 佳広	後学期	火	5	常勤	233
P0244	保育内容の研究(健康)	渡邊 将司	前学期	火	3	常勤	49
P0245	保育内容の研究(人間関係)	玉造 陽子	後学期	木	5	非常勤	45
P0246	保育内容の研究(環境)	山根 爽一	前学期	金	4	常勤	56
P0247	保育内容の研究(言葉)	橋浦 洋志	後学期	火	3	常勤	59
P0248	保育内容の研究(表現)	小泉 晋弥	後学期	水	5	常勤	35

c. 教科の指導法

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P0301	国語科教育法研究	大内 善一	前学期	木	1	常勤	47
P0305	国語科教育法特講 I	大内 善一	前学期	火	4	常勤	45
P0306	国語科教育法特講 II	昌子 佳広	後学期	火	2	常勤	38
P0314	国語科教育法演習 II	昌子 佳広	後学期	金	2	常勤	31
P0316	書道科教育法研究 I	齋木 久美	後学期	木	5	常勤	14
P0318	中等社会科教育法研究	村山 朝子	前学期	金	4	常勤	45
P0322	社会科教育法特講 I	木村 勝彦	後学期	集中		常勤	24
P0323	社会科教育法特講 II	村山 朝子	後学期	火	3	常勤	32
P0325	社会科教育法演習 I	木村 勝彦	通年	月	4	常勤	4
P0326	社会科教育法演習 II	村山 朝子	通年	火	4	常勤	4
P0327	社会科教科論	村山 朝子	前学期	火	3	常勤	7
P0328	地理歴史科教育法研究 I	村山 朝子	後学期	金	4	常勤	19
P0331	公民科教育法研究 I	木村 勝彦	後学期	火	2	常勤	7
P0334	数学科教育法研究 I	根本 博	前学期	金	2	常勤	41
P0335	数学科教育法研究 II	根本 博	後学期	金	2	常勤	33
P0339	数学科教育法演習 I	根本 博	前学期	木	5	常勤	30
P0340	数学科教育法演習 II	小口 祐一	後学期	水	2	常勤	12
P0341	数学科教科論	小口 祐一	前学期	火	3	常勤	41
P0342	中等理科教育法研究	山本 勝博	後学期	月	2	常勤	21
P0347	理科教育法特講 A	大辻 永	前学期	木	3	常勤	21
P0349	中等理科内容研究	山本 勝博	前学期	水	1	常勤	24
P0351	物理学実験指導法	矢島 裕介	後学期	月	4	常勤	2
P0352	化学実験指導法	松川 覚	前学期	金	4	常勤	6

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0354	地学実験指導法	伊藤 孝	前学期	金	4	常勤	0
P0355	理科教科論	山本 勝博	後学期	火	1	常勤	23
P0356	理科教育演習 I	山本 勝博	後学期	木	5	常勤	13
P0357	理科教育演習 A	大辻 永	通年	木	5	常勤	4
P0358	理科教育演習 B	山本 勝博	通年	木	5	常勤	3
P0359	音楽科教育法研究 I	田中 健次	後学期	月	5	常勤	15
P0360	音楽科教育法研究 II	田中 健次	前学期	火	5	常勤	13
P0361	音楽科教育法研究 III	藤田 文子	後学期	木	3	常勤	12
P0363	美術科教育法研究	金子 一夫	前学期	木	5	常勤	19
P0364	美術科内容研究	向野 康江	後学期	集中		常勤	22
P0365	美術科教科論	金子 一夫	前学期	集中		常勤	16
P0367	保健体育科教育法研究 I	吉野 聡	後学期	金	2	常勤	41
P0368	保健体育科教育法研究 II	岡本 研二	前学期	月	3	常勤	41
P0369	保健体育科教育法研究 III	池田 幸也	前学期	集中		非常勤	21
P0370	陸上競技指導法	上地 勝	後学期	木	4	常勤	4
P0373	水泳指導法	富樫 泰一	前学期	集中		常勤	17
P0374	バスケットボール指導法	加藤 敏弘	後学期	火	4	常勤	0
P0375	サッカー指導法	吉野 聡	後学期	火	3	常勤	0
P0376	ハンドボール指導法	岡本 研二	前学期	木	3	常勤	2
P0377	バレーボール指導法	勝本 真	前学期	金	4	常勤	2
P0378	卓球指導法	日下 裕弘	後学期	火	4	常勤	2
P0379	柔道指導法	尾形 敬史	後学期	火	2	常勤	6
P0380	剣道指導法	巽 申直	前学期	火	1	常勤	4
P0381	野外運動指導法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	0
P0382	スキー指導法	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	0
P0384	技術科教育法研究 I	臼坂 高司	後学期	集中		常勤	18
P0385	技術科教育法研究 II	竹野 英敏	後学期	集中		非常勤	19
P0387	技術科内容研究	上野 耕史	後学期	集中		非常勤	9
P0388	技術科指導論	平井 聡一郎	通年	集中		非常勤	11
P0389	技術科指導法（木材加工実習）	臼坂 高司	前学期	月	4	常勤	8
P0390	技術科指導法（金属加工実習）	野崎 英明	前学期	金	4	常勤	5
P0391	技術科指導法（機械実習）	安田 健一	前学期	火	4	常勤	4
P0403	工業科教育法	竹野 英敏	後学期	集中		非常勤	12
P0404	家庭科教育法演習 I	山本 紀久子	前学期	水	1	常勤	22
P0405	家庭科教育法演習 II	山本 紀久子	後学期	水	1	常勤	7
P0406	中等家庭科教育法研究	和田 早苗	後学期	木	3	非常勤	19
P0407	中等家庭科内容研究	佐藤 裕紀子	後学期	火	3	常勤	19
P0409	家庭科教科論	佐藤 裕紀子	前学期	金	1	常勤	21
P0411	情報科教育法 II	本田 敏明	前学期	木	4	常勤	8

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0413	英語科教育法研究Ⅰ	猪井 新一	前学期	水	1	常勤	18
P0414	英語科教育法研究Ⅱ	齋藤 英敏	前学期	木	2	常勤	9
P0424	英語科内容研究	猪井 新一	後学期	金	2	常勤	25
P0425	英語科教育法特講	齋藤 英敏	後学期	木	2	常勤	4
P0426	英語科教科論Ⅰ	相原 和恵	前学期	火	2	非常勤	5
P0427	英語科教科論Ⅱ	齋藤 英敏	前学期	木	4	常勤	20
P0428	保健科内容研究Ⅰ	野村 和雄	前学期	集中		非常勤	40
P0429	保健科内容研究Ⅱ	斉藤 ふくみ	後学期	火	3	常勤	38
P0430	保健科教育法研究	池田 幸也	前学期	集中		非常勤	41
P0601	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	225
P0602	教育実践研究	関係教員	通年	集中		常勤	278
P0603	初等教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	146
P0604	中等教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	86
P0605	初等教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	93
P0606	中等教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	132
P0607	初等教育実地研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0608	中等教育実地研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		常勤	7
P0609	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		常勤	19
P0610	障害児教育実地研究	関係教員	通年	集中		常勤	0
P0611	養護実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	39
P0612	養護実践研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	38
P0613	養護実践研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	28
P0614	養護実践研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		常勤	34
P0615	養護教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	35
P0616	養護教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	36
P0617	養護教育実地研究Ⅲ	関係教員	通年	集中		常勤	1
P0618	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	86
P0619	中等教育実地研究Ⅳ	関係教員	通年	集中		常勤	5
P0620	中等教育実地研究Ⅴ	関係教員	通年	集中		常勤	18
P0621	中等教育実地研究Ⅵ	関係教員	通年	集中		常勤	24
P0622	教育実地研究入門	関係教員	通年	集中		常勤	3
P0623	幼児教育実地研究Ⅰ	関係教員	通年	集中		常勤	5
P0624	幼児教育実地研究Ⅱ	関係教員	通年	集中		常勤	11
P0625	特別支援教育実地研究	関係教員	通年	集中		常勤	9
P0626	障害児教育実地研究【副専 3 単位】	関係教員	通年	集中		常勤	0

(2) 教科又は教職に関する科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P0701	特別なニーズをもつ子どもの教育	荒川 智	後学期	火	5	常勤	58

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0702	学校における子ども虐待の予防と防止	数井 みゆき	後学期	月	5	常勤	111
P0703	教師のキャリア・デザイン	望月 厚志	前学期	火	4	常勤	94
P0704	環境教育論	郡司 晴元	後学期	金	2	常勤	6
P0705	食生活と健康	西川 陽子	前学期	金	2	常勤	34
P0707	学校外教育・学習活動の理論と実践	小川 哲哉	後学期	集中		常勤	13
P0710	ものづくり体験	安田 健一	前学期	水	2	常勤	32
P0712	子どもの理解と対応	三輪 壽二	後学期	木	4	常勤	50
P0713	コミュニケーション演習	加藤 敏弘	前学期	火	2	常勤	10
P0714	現代教育の実践的課題	木村 勝彦	後学期	集中		常勤	128
P0715	茨城の芸術・芸能	田中 健次	後学期	月	5	常勤	37
P0717	読書と豊かな人間性	昌子 佳広	後学期	水	1	常勤	90
P0718	郷土の言葉	川嶋 秀之	後学期	月	5	常勤	13
P0719	ヨーロッパの歴史と文化	池谷 文夫	後学期	金	2	常勤	25
P0720	憲法と社会生活	中野 雅紀	後学期	木	5	常勤	1
P0721	茨城の歴史と文化	小野寺 淳	後学期	火	3	常勤	22
P0723	言語と文化の諸相	君塚 淳一	後学期	集中		常勤	10
P0725	音楽通論 II	松本 日之春	後学期	火	2	常勤	16
P0726	現代音楽へのいざない	松本 日之春	前学期	火	2	常勤	13
P0727	デッサンの基礎	片口 直樹	前学期	集中		常勤	14
P0728	デッサン I	島 剛	前学期	集中		常勤	16
P0729	デッサン II	片口 直樹	後学期	集中		常勤	11
P0731	美術教育授業研究 I	金子 一夫	後学期	集中		常勤	12
P0732	美術教育授業研究 II	金子 一夫	前学期	集中		常勤	14
P0733	美術教育授業研究 III	寺本 輝正	後学期	集中		常勤	0
P0734	生涯スポーツの実現	日下 裕弘	前学期	火	3	常勤	24
P0735	現代人の健康	松坂 晃	後学期	金	2	常勤	21
P0736	住居環境学	乾 康代	後学期	木	3	常勤	18
P0737	住環境計画学	乾 康代	前学期	金	3	常勤	7
P0739	小児・思春期保健学	瀧澤 利行	前学期	金	4	常勤	14

(3) 教科に関する科目

a. 小学校

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P0801	初等国語科内容研究(A)	橋浦 洋志	後学期	木	2	常勤	73
P0802	初等国語科内容研究(B)	橋浦 洋志	前学期	木	2	常勤	64
P0803	初等国語科内容研究(C)	昌子 佳広	前学期	木	2	常勤	53
P0804	初等国語科内容研究(D)	大内 善一	後学期	木	2	常勤	36
P0805	初等書写内容研究(A)	齋木 久美	後学期	木	2	常勤	115
P0806	初等書写内容研究(B)	齋木 久美	前学期	木	2	常勤	108

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0807	初等社会科内容研究(AC)	池谷 文夫	前学期	金	2	常勤	139
P0809	初等社会科内容研究(BD)	池谷 文夫	前学期	金	2	常勤	68
P0811	算数科内容研究(A)	岡安 隆	後学期	金	1	常勤	80
P0812	算数科内容研究(B)	柳田 伸顯	後学期	金	1	常勤	51
P0813	算数科内容研究(CD)	梅津 健一郎	前学期	金	1	常勤	77
P0815	初等理科内容研究(A)	小野 義隆	後学期	火	1	常勤	32
P0816	初等理科内容研究(B)	伊藤 孝	後学期	火	1	常勤	69
P0817	初等理科内容研究(C)	松川 覚	後学期	火	1	常勤	61
P0818	初等理科内容研究(D)	山根 爽一	後学期	火	1	常勤	26
P0819	初等理科実験観察内容研究	松川 覚	後学期	火	4	常勤	19
P0820	生活科内容研究(A)	昌子 佳広	前学期	火	5	常勤	106
P0821	生活科内容研究(B)	昌子 佳広	前学期	火	4	常勤	97
P0822	初等音楽科内容研究(A)	谷川 佳幸	前学期	月	3	常勤	46
P0823	初等音楽科内容研究(B)	松本 日之春	後学期	月	3	常勤	43
P0824	初等音楽科内容研究(C)	藤田 文子	前学期	木	4	常勤	54
P0825	初等音楽科内容研究(D)	神部 智	後学期	木	4	常勤	50
P0827	図画工作科内容研究(A)	金子 一夫	前学期	火	2	常勤	41
P0828	図画工作科内容研究(B)	甲斐 教行	前学期	木	2	常勤	46
P0829	図画工作科内容研究(C)	島田 裕之	前学期	金	2	常勤	23
P0830	図画工作科内容研究(D)	向野 康江	後学期	集中		常勤	14
P0831	初等家庭科内容研究(A)	佐藤 裕紀子	前学期	火	2	常勤	75
P0832	初等家庭科内容研究(B)	山本 紀久子	後学期	火	2	常勤	124
P0833	初等家庭科内容研究(C)	山本 紀久子	前学期	火	5	常勤	14
P0834	体育科内容研究(AC)	吉野 聡	前学期	火	1	常勤	112
P0835	体育科内容研究(BD)	岡本 研二	前学期	月	1	常勤	110

b. 中学校

国語

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P0901	国語学概論	川嶋 秀之	前学期	月	5	常勤	42
P0902	国語表現法	川嶋 秀之	後学期	金	3	常勤	50
P0905	国語学演習 I	川嶋 秀之	前学期	木	5	常勤	27
P0906	国語学演習 II	川嶋 秀之	前学期	木	2	常勤	16
P0911	国文学史	橋浦 洋志	後学期	木	5	常勤	51
P0913	古典文学研究 I	堀口 悟	後学期	集中		非常勤	8
P0919	近・現代散文研究 I	橋浦 洋志	前学期	金	3	常勤	39
P0925	近・現代韻文演習 I	橋浦 洋志	前学期	金	4	常勤	46
P0926	近・現代韻文演習 II	橋浦 洋志	後学期	金	4	常勤	45
P0929	児童文学研究法 I	橋浦 洋志	後学期	金	3	常勤	54
P0931	漢文学基礎	増子 和男	前学期	火	1	常勤	47

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P0932	漢文学概論	増子 和男	後学期	火	1	常勤	37
P0933	漢文学演習 I	増子 和男	後学期	火	3	常勤	28
P0934	漢文学演習 II	増子 和男	後学期	木	2	常勤	8
P0935	漢文学研究法 I	増子 和男	前学期	火	3	常勤	43
P0936	漢文学研究法 II	増子 和男	前学期	木	4	常勤	14
P0938	書論	齋木 久美	後学期	水	2	常勤	17
P0940	書道 I	齋木 久美	前学期	金	2	常勤	57
P0941	書道 II	齋木 久美	後学期	金	2	常勤	52
P0942	書道 III	齋木 久美	前学期	金	3	常勤	38
P0944	漢字書法研究	齋木 久美	前学期	水	1～2	常勤	17

社会

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1002	基礎世界史	池谷 文夫	前学期	月	5	常勤	7
P1003	基礎地理	早川 唯弘	前学期	木	5	常勤	19
P1005	社会科教育入門	木村 勝彦	後学期	水	1	常勤	23
P1007	日本史概説 I	酒井 紀美	後学期	金	1	常勤	37
P1008	日本史概説 II	酒井 紀美	後学期	金	3	常勤	35
P1010	日本史特講 II	高橋 修	後学期	金	3	常勤	2
P1011	日本史特講 III	磯田 道史	後学期	木	4	常勤	3
P1012	日本史特講 IV	菅谷 務	後学期	火	5	非常勤	3
P1013	日本史演習	酒井 紀美	後学期	水	2	常勤	12
P1015	民俗学特講	原 淳一郎	通年	集中		非常勤	31
P1018	西洋史概説 I	池谷 文夫	後学期	金	5	常勤	57
P1019	西洋史概説 II	池谷 文夫	前学期	金	5	常勤	20
P1020	西洋史特講 I	池谷 文夫	後学期	月	3	常勤	21
P1023	西洋史特講 IV	深澤 安博	後学期	水	2	常勤	1
P1024	西洋史演習 I	池谷 文夫	通年	水	2	常勤	9
P1027	東洋史特講 I	澁谷 浩一	後学期	月	3	常勤	3
P1028	東洋史特講 II	山田 桂子	後学期	火	4	常勤	2
P1031	東洋史演習 I	澁谷 浩一	通年	火	2	常勤	0
P1032	東洋史演習 II	山田 桂子	通年	木	2	常勤	0
P1033	人文地理学 I	小野寺 淳	前学期	金	2	常勤	35
P1035	人文地理学 III	小原 規宏	前学期	火	3	常勤	5
P1036	人文地理学 IV	小原 規宏	後学期	火	3	常勤	11
P1037	人文地理学 V	中村 昭史	前学期	木	4	非常勤	4
P1038	人文地理学 VI	Chienwei YEH	後学期	木	4	常勤	1
P1040	歴史地理学 II	小野寺 淳	後学期	金	2	常勤	6
P1042	人文地理学演習	小野寺 淳	通年	月	5	常勤	10
P1043	地理学研究法	早川 唯弘	前学期	木	4	常勤	24

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1044	地理学野外実習 I	小野寺 淳	通年	集中		常勤	24
P1045	自然地理学 I	早川 唯弘	前学期	金	5	常勤	47
P1046	自然地理学 II	早川 唯弘	後学期	金	5	常勤	8
P1048	自然地理学演習	早川 唯弘	通年	木	3	常勤	2
P1051	地誌学 I	大島 規江	後学期	集中		非常勤	8
P1052	地誌学 II	小原 規宏	後学期	木	2	常勤	2
P1053	地誌学 III	平井 松午	通年	集中		非常勤	32
P1054	地誌学 IV	早川 唯弘	後学期	木	5	常勤	15
P1057	法と社会	中野 雅紀	後学期	木	3	常勤	0
P1058	法学概論	中野 雅紀	後学期	月	5	常勤	48
P1061	法学演習	中野 雅紀	通年	木	4	常勤	0
P1062	日本国憲法	田村 武夫	前学期	水	1	非常勤	25
P1063	日本国憲法	田村 武夫	後学期	水	1	非常勤	3
P1065	日本国憲法	富塚 祥夫	前学期	月	1	非常勤	2
P1068	政治学概論	賀来 健輔	前学期	火	2	常勤	20
P1073	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	前学期	木	1	常勤	41
P1074	社会学特講	岩佐 淳一	後学期	木	1	常勤	4
P1075	社会福祉論	渋谷 敦司	後学期	火	3	常勤	9
P1077	経済原論 I	大槻 功	後学期	金	2	常勤	38
P1078	経済原論 II	大槻 功	前学期	火	3	常勤	40
P1079	国際経済史	大槻 功	後学期	月	3	常勤	16
P1084	社会と思想	木村 競	前学期	月	1	常勤	39
P1086	哲学概論 II	伊藤 聡	前学期	火	4	常勤	11
P1087	哲学特講 I	守屋 唱進	後学期	木	3	常勤	8
P1089	倫理学概論	木村 競	前学期	水	1	常勤	23
P1092	倫理学特別演習 I	木村 競	前学期	月	5	常勤	7
P1093	倫理学特別演習 II	木村 競	後学期	木	2	常勤	6

英語

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1101	英語学概論 I	竝木 崇康	後学期	金	4	常勤	24
P1102	英語学概論 II	竝木 崇康	前学期	木	3	常勤	27
P1103	英文法	竝木 崇康	前学期	金	4	常勤	10
P1107	英語学演習 I	竝木 崇康	前学期	木	1	常勤	15
P1108	英語学演習 II	竝木 崇康	後学期	木	3	常勤	7
P1109	英米文学概論 I	小林 英美	前学期	火	3	常勤	30
P1110	英米文学概論 II	君塚 淳一	後学期	木	3	常勤	22
P1111	英米文学特講 I	小林 英美	後学期	金	3	常勤	25
P1113	英米文学特講 III	君塚 淳一	前学期	木	4	常勤	18
P1114	英米文学特講 IV	君塚 淳一	後学期	月	3	常勤	21

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1115	英米文学演習Ⅰ	小林 英美	前学期	金	3	常勤	18
P1116	英米文学演習Ⅱ	小林 英美	後学期	月	4	常勤	7
P1118	英米文学演習Ⅳ	君塚 淳一	前学期	月	4	常勤	10
P1119	英米文学・文化から教える英語テキスト	君塚 淳一	後学期	月	5	常勤	17
P1120	英語コミュニケーションⅠ	アーメンド デイナ	前学期	火	3	非常勤	9
P1121	英語コミュニケーションⅡ	アーメンド デイナ	後学期	火	3	非常勤	9
P1122	英語コミュニケーションⅢ	猪井 新一	後学期	水	1	常勤	23
P1123	英語コミュニケーションⅣ	アーメンド デイナ	前学期	火	4	非常勤	20
P1124	英語コミュニケーションⅤ	アーメンド デイナ	前学期	火	2	非常勤	7
P1125	英語コミュニケーションⅥ	アーメンド デイナ	後学期	火	2	非常勤	12
P1126	英語コミュニケーションⅦ	齋藤 英敏	後学期	金	3	常勤	19
P1127	英語コミュニケーションⅧ	アーメンド デイナ	後学期	火	4	非常勤	5
P1128	英語コミュニケーションⅨ	齋藤 英敏	前学期	金	2	常勤	21
P1129	英語コミュニケーションⅩ	パッセンジャー C	前学期	月	3	非常勤	18
P1131	英語コミュニケーションⅫ	齋藤 英敏	前学期	金	4	常勤	4
P1133	異文化間コミュニケーション	関係教員	後学期	集中		非常勤	32

数学

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1201	代数学の基礎Ⅰ	柳田 伸顯	前学期	金	5	常勤	48
P1202	代数学の基礎Ⅱ	柳田 伸顯	後学期	金	5	常勤	34
P1203	代数学A	柳田 伸顯	前学期	木	3	常勤	30
P1204	代数学B	柳田 伸顯	後学期	木	3	常勤	30
P1205	代数学C	工藤 研二	前学期	木	3	常勤	31
P1206	代数学D	工藤 研二	後学期	木	3	常勤	8
P1207	応用線形代数学	曾我 日出夫	後学期	水	2	常勤	14
P1208	幾何学の基礎Ⅰ	岡安 隆	前学期	木	5	常勤	42
P1209	幾何学の基礎Ⅱ	岡安 隆	後学期	火	2	常勤	31
P1210	幾何学A	工藤 研二	前学期	金	5	常勤	32
P1211	幾何学B	工藤 研二	後学期	金	5	常勤	31
P1212	幾何学C	岡安 隆	前学期	金	4	常勤	30
P1213	幾何学D	岡安 隆	後学期	金	4	常勤	16
P1214	解析学の基礎Ⅰ	梅津 健一郎	前学期	水	1	常勤	45
P1215	解析学の基礎Ⅱ	梅津 健一郎	後学期	水	1	常勤	43
P1216	解析学A	梅津 健一郎	前学期	火	3	常勤	30
P1217	解析学B	梅津 健一郎	後学期	火	3	常勤	33
P1218	解析学C	梅津 健一郎	前学期	火	4	常勤	24
P1219	解析学D	梅津 健一郎	後学期	月	3	常勤	5
P1220	応用解析学Ⅰ	曾我 日出夫	後学期	火	3	常勤	11

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1223	確率統計概論	柳田 伸顯	前学期	金	3	常勤	43
P1224	応用確率統計論	千葉 康生	後学期	集中		非常勤	18
P1226	コンピュータ概論	小口 祐一	後学期	月	4	常勤	52

理科

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1301	基礎物理学	永尾 敬一	前学期	火	1	常勤	24
P1302	電磁気学	永尾 敬一	後学期	水	1	常勤	13
P1303	熱学概論	矢島 裕介	前学期	火	5	常勤	21
P1304	量子力学	今村 裕志	後学期	水	5	非常勤	2
P1305	物理学演習 I	矢島 裕介	後学期	木	5	常勤	6
P1306	物理学演習 A	矢島 裕介	通年	木	5	常勤	1
P1307	物理学演習 B	永尾 敬一	通年	木	4	常勤	2
P1308	物理学実験 I	矢島 裕介	後学期	月	4～5	常勤	20
P1310	基礎化学	松川 覚	後学期	火	2	常勤	21
P1311	有機化学	松川 覚	前学期	金	2	常勤	18
P1312	生物化学	山本 宏	前学期	集中		非常勤	4
P1313	環境化学	松川 覚	後学期	月	4	常勤	13
P1315	無機化学	桑田 繁樹	前学期	集中		非常勤	17
P1316	有機化学演習	松川 覚	後学期	木	5	常勤	2
P1317	化学演習	松川 覚	通年	木	4	常勤	5
P1318	化学実験 I	松川 覚	前学期	金	4～5	常勤	20
P1319	化学実験 II	松川 覚	後学期	金	4～5	常勤	13
P1320	環境生物学	山根 爽一	前学期	金	1	常勤	6
P1321	基礎生物学	小野 義隆	前学期	月	5	常勤	21
P1322	動物の多様性	山根 爽一	後学期	月	3	常勤	12
P1324	植物分類学	小野 義隆	前学期	火	1	常勤	8
P1326	動物学	山根 爽一	後学期	月	4	常勤	7
P1328	植物学演習	小野 義隆	後学期	月	5	常勤	4
P1329	動物学演習	山根 爽一	後学期	月	5	常勤	0
P1330	生物学演習	小野 義隆	通年	木	5	常勤	2
P1331	生物学実験	山根 爽一	前学期	火	3～4	常勤	9
P1332	生物学野外実習	小野 義隆	前学期	集中		常勤	16
P1333	臨湖実習	中里 亮治	前学期	集中		常勤	0
P1334	基礎地学	牧野 泰彦	前学期	火	3	常勤	19
P1335	鉱物学	伊藤 孝	前学期	火	3	常勤	19
P1336	地質学	牧野 泰彦	後学期	木	4	常勤	3
P1337	岩石学	伊藤 孝	後学期	金	3	常勤	9
P1338	天文学	下井倉 ともみ	前学期	集中		非常勤	28
P1340	層位学及び同演習	牧野 泰彦	後学期	木	3	常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1341	地球科学演習	伊藤 孝	後学期	木	4	常勤	2
P1342	地学演習	伊藤 孝	通年	火	5	常勤	2
P1343	地学実験A	牧野 泰彦	前学期	金	4～5	常勤	19
P1344	地学実験B	伊藤 孝	後学期	金	1～2	常勤	19
P1345	地学野外実習	伊藤 孝	前学期	集中		常勤	18

音楽

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1401	ピアノ	佐藤 篤	前学期	金	5	常勤	9
P1402	ピアノ	佐藤 篤	後学期	水	1	常勤	9
P1403	ピアノ	神部 智	前学期	金	5	常勤	6
P1404	ピアノ	神部 智	後学期	金	5	常勤	5
P1405	ピアノ	佐藤 篤	前学期	火	3	常勤	9
P1406	ピアノ	佐藤 篤	後学期	火	3	常勤	9
P1407	ピアノ	神部 智	前学期	金	3	常勤	7
P1408	ピアノ	神部 智	後学期	金	3	常勤	6
P1409	ピアノ	佐藤 篤	前学期	火	4	常勤	8
P1410	ピアノ	佐藤 篤	後学期	火	4	常勤	8
P1411	管打楽器	兼氏 規雄	前学期	水	4	非常勤	12
P1412	管打楽器	百瀬 和紀	後学期	水	3	非常勤	11
P1414	弦楽器	野末 あけみ	前学期	水	3	非常勤	1
P1415	合奏	松本 日之春	前学期	火	1	常勤	14
P1416	日本音楽（箏）	福永 千恵子	後学期	集中		非常勤	31
P1417	独唱	谷川 佳幸	前学期	火	1	常勤	9
P1418	独唱	谷川 佳幸	後学期	火	1	常勤	8
P1419	独唱	藤田 文子	前学期	金	3	常勤	7
P1420	独唱	藤田 文子	後学期	金	3	常勤	7
P1421	独唱	谷川 佳幸	前学期	木	1	常勤	9
P1422	独唱	谷川 佳幸	後学期	木	4	常勤	9
P1423	独唱	藤田 文子	前学期	木	3	常勤	7
P1424	独唱	藤田 文子	後学期	木	4	常勤	7
P1425	独唱	谷川 佳幸	前学期	水	1	常勤	3
P1426	独唱	谷川 佳幸	後学期	火	2	常勤	2
P1427	合唱	谷川 佳幸	後学期	木	2	常勤	11
P1429	ソルフェージュ I	谷川 佳幸	前学期	火	3	常勤	15
P1431	指揮法	松本 日之春	後学期	火	1	常勤	13
P1432	和声学 I	松本 日之春	前学期	火	4	常勤	16
P1434	対位法 I	松本 日之春	後学期	火	3	常勤	13
P1436	作曲法 I	松本 日之春	前学期	月	4	常勤	15
P1438	作曲特別演習 I	松本 日之春	前学期	月	3	常勤	3

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1439	作曲特別演習Ⅱ	松本 日之春	後学期	月	4	常勤	2
P1440	音楽史	神部 智	後学期	木	5	常勤	15
P1442	音楽学Ⅰ	神部 智	前学期	水	1	常勤	9

美術

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1501	絵画基礎	片口 直樹	後学期	集中		常勤	15
P1502	絵画Ⅰ	片口 直樹	前学期	火	3	常勤	16
P1503	絵画Ⅱ	片口 直樹	後学期	月	3	常勤	16
P1504	絵画表現演習Ⅰ	片口 直樹	前学期	金	3	常勤	6
P1505	絵画表現演習Ⅱ	片口 直樹	後学期	金	3	常勤	6
P1506	彩画特別演習	片口 直樹	後学期	集中		常勤	14
P1508	彫刻基礎	島 剛	後学期	木	3	常勤	13
P1509	彫刻Ⅰ	島 剛	前学期	金	5	常勤	15
P1510	彫刻Ⅱ	島 剛	後学期	金	5	常勤	14
P1511	彫刻表現演習Ⅰ	島 剛	前学期	木	5	常勤	0
P1512	彫刻表現演習Ⅱ	島 剛	後学期	木	4	常勤	0
P1513	塑造特別演習	島 剛	前学期	集中		常勤	17
P1515	デザイン基礎	島田 裕之	後学期	火	1	常勤	13
P1516	デザインⅠ	島田 裕之	前学期	火	4	常勤	16
P1517	デザインⅡ	島田 裕之	後学期	火	3	常勤	15
P1518	デザイン表現演習Ⅰ	島田 裕之	前学期	木	5	常勤	3
P1519	デザイン表現演習Ⅱ	島田 裕之	後学期	木	5	常勤	3
P1520	デザイン特別演習	山崎 曜	通年	集中		非常勤	24
P1521	工芸基礎	寺本 輝正	後学期	金	5	常勤	13
P1522	工芸Ⅰ	寺本 輝正	前学期	金	3	常勤	14
P1523	工芸Ⅱ	寺本 輝正	後学期	金	3	常勤	14
P1524	工芸表現演習Ⅰ	寺本 輝正	前学期	木	3	常勤	4
P1525	工芸表現演習Ⅱ	寺本 輝正	後学期	木	3	常勤	2
P1527	図法及び製図	齋藤 芳徳	前学期	火	3	常勤	22
P1528	西洋美術史Ⅰ	甲斐 教行	前学期	木	5	常勤	19
P1529	西洋美術史Ⅱ	甲斐 教行	後学期	木	5	常勤	18
P1530	日本美術史Ⅰ	小泉 晋弥	前学期	木	4	常勤	19
P1531	日本美術史Ⅱ	小泉 晋弥	後学期	木	4	常勤	17
P1532	西洋美術史特別演習Ⅰ	甲斐 教行	前学期	火	5	常勤	5
P1533	西洋美術史特別演習Ⅱ	甲斐 教行	後学期	木	2	常勤	4
P1534	日本美術史特別演習Ⅰ	小泉 晋弥	前学期	月	3	常勤	0
P1535	日本美術史特別演習Ⅱ	小泉 晋弥	後学期	月	3	常勤	0
P1536	日本美術実地研究	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	10
P1537	造形美学	甲斐 教行	前学期	水	2	常勤	13

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1538	工芸理論	石黒 美男	後学期	集中		非常勤	13
P1541	現代アート論	小泉 晋弥	後学期	火	2	常勤	7
P1542	美術科教育特別演習 AI	金子 一夫	前学期	月	4	常勤	5
P1543	美術科教育特別演習 BI	向野 康江	前学期	集中		常勤	5
P1544	美術科教育特別演習 AII	金子 一夫	後学期	月	4	常勤	5
P1545	美術科教育特別演習 BII	向野 康江	後学期	集中		常勤	5

保健体育

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1601	陸上競技	上地 勝	後学期	木	4	常勤	19
P1602	ギムナスティック	會澤 哲史	前学期	金	4	非常勤	19
P1603	ダンス・身体表現	瀬谷 元子	後学期	金	4	非常勤	18
P1604	水泳	富樫 泰一	前学期	集中		常勤	19
P1605	バスケットボール	加藤 敏弘	後学期	火	4	常勤	17
P1606	サッカー	吉野 聡	後学期	火	3	常勤	0
P1607	ハンドボール	岡本 研二	前学期	木	3	常勤	18
P1608	バレーボール	勝本 真	前学期	金	4	常勤	18
P1609	卓球	日下 裕弘	後学期	火	4	常勤	17
P1610	テニス	服部 恒明	前学期	木	4	非常勤	7
P1611	柔道	尾形 敬史	後学期	火	2	常勤	18
P1612	剣道	巽 申直	前学期	火	1	常勤	23
P1613	野外運動	富樫 泰一	通年	金	1	常勤	1
P1614	スキー	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	9
P1616	体育学概論	加藤 敏弘	前学期	金	1	常勤	18
P1618	測定評価	渡邊 将司	後学期	金	3	常勤	6
P1621	スポーツ行政学	柳沢 和雄	後学期	集中		非常勤	3
P1622	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	後学期	月	2	常勤	18
P1623	運動学概論	勝本 真	前学期	金	1	常勤	21
P1624	トレーニング法	吉岡 利貢	後学期	月	3	非常勤	19
P1625	コーチング論 I	巽 申直	後学期	火	3	常勤	42
P1626	コーチング論 II	加藤 敏弘	前学期	金	3	常勤	23
P1627	陸上競技方法論	上地 勝	後学期	木	3	常勤	19
P1630	ボールゲーム方法論 I	加藤 敏弘	前学期	火	4	常勤	17
P1631	ボールゲーム方法論 II	日下 裕弘	後学期	火	3	常勤	17
P1632	武道方法論	尾形 敬史	後学期	火	1	常勤	18
P1633	生理学	尾形 敬史	前学期	火	3	常勤	19
P1634	運動生理学	松坂 晃	前学期	水	1	常勤	19
P1635	形態学	渡邊 将司	前学期	金	2	常勤	19
P1636	スポーツ医学	富樫 泰一	前学期	金	2	常勤	18
P1637	栄養学	西川 陽子	後学期	木	4	常勤	1

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1638	運動処方論	松坂 晃	後学期	月	4	常勤	19
P1639	運動障害予防法	白木 仁	後学期	集中		非常勤	40
P1640	スポーツ栄養学	柳沢 香絵	後学期	集中		非常勤	13
P1641	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後学期	金	4	常勤	20
P1644	学校保健概論	上地 勝	後学期	月	4	常勤	22
P1645	救急処置法	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	30

技術

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1701	製図 I	安田 健一	前学期	金	2	常勤	19
P1702	基礎木材加工	臼坂 高司	前学期	火	3	常勤	20
P1703	木材加工の基礎技術	臼坂 高司	前学期	月	4～5	常勤	19
P1704	木材加工の応用技術	臼坂 高司	後学期	月	4～5	常勤	19
P1705	木材加工学	臼坂 高司	後学期	火	3	常勤	11
P1706	木材加工演習	臼坂 高司	前学期	火	1	常勤	4
P1707	製図 II	野崎 英明	後学期	金	2	常勤	18
P1708	基礎金属加工	野崎 英明	後学期	金	1	常勤	18
P1709	金属加工の基礎技術	野崎 英明	前学期	金	4～5	常勤	20
P1710	金属加工の応用技術	野崎 英明	後学期	金	4～5	常勤	19
P1711	金属加工学	野崎 英明	前学期	金	3	常勤	15
P1712	金属加工演習	野崎 英明	前学期	火	1	常勤	3
P1713	基礎機械工学	安田 健一	後学期	火	3	常勤	19
P1714	機械の基礎技術	安田 健一	前学期	火	4～5	常勤	20
P1715	機械の応用技術	安田 健一	後学期	火	4～5	常勤	17
P1716	機械工学	安田 健一	後学期	水	2	常勤	6
P1717	機械工学演習	安田 健一	前学期	金	4	常勤	4
P1718	基礎電気	榊 守	後学期	火	2	常勤	18
P1719	電気の基礎技術	榊 守	前学期	木	3～4	常勤	19
P1720	電気の応用技術	榊 守	後学期	木	4～5	常勤	6
P1721	電気工学	榊 守	前学期	火	3	常勤	12
P1722	電気工学演習	榊 守	前学期	火	1	常勤	3
P1723	基礎栽培学	稲葉 健五	前学期	水	1	常勤	18
P1724	栽培の基礎技術	稲葉 健五	前学期	月	3～4	常勤	18
P1725	栽培の応用技術	稲葉 健五	後学期	月	3～4	常勤	17
P1726	栽培学	稲葉 健五	後学期	水	1	常勤	18
P1727	栽培演習	稲葉 健五	前学期	火	1	常勤	3
P1728	基礎情報処理	富樫 泰一	後学期	木	2	常勤	18
P1729	情報処理の基礎技術 I	佐々木 忠之	後学期	火	2	常勤	16
P1730	情報処理の基礎技術 II	関 友作	前学期	金	3	常勤	18
P1731	情報処理の応用技術	佐々木 忠之	後学期	金	3～4	常勤	2

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1732	情報教育研究法（技術）	工藤 雄司	後学期	集中		非常勤	2
P1734	情報基礎演習	田村 俊之	通年	集中		非常勤	1
P1735	職業指導原論 I	工藤 雄司	後学期	集中		非常勤	5

家庭

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1801	食物科学	西川 陽子	前学期	火	1	常勤	23
P1802	食品衛生管理学	西川 陽子	後学期	集中		常勤	11
P1803	食生活論	西川 陽子	前学期	木	3	常勤	9
P1804	栄養学	西川 陽子	後学期	木	4	常勤	20
P1805	食物学演習	西川 陽子	後学期	水	2	常勤	4
P1806	調理学基礎	川上 美智子	前学期	金	2	非常勤	26
P1807	調理学応用	川上 美智子	後学期	金	2	非常勤	15
P1808	被服科学	木村 美智子	後学期	火	3	常勤	27
P1809	衣生活論	木村 美智子	前学期	木	4	常勤	18
P1810	被服環境学	木村 美智子	後学期	火	2	常勤	17
P1811	アパレル科学	木村 美智子	前学期	火	1	常勤	11
P1812	被服学演習	木村 美智子	後学期	水	2	常勤	2
P1813	被服構成学基礎	木村 美智子	前学期	木	5	常勤	19
P1814	被服構成学応用	木村 美智子	後学期	水	1	常勤	17
P1815	住居計画学	乾 康代	前学期	金	5	常勤	28
P1816	住居デザイン I	乾 康代	後学期	金	5	常勤	17
P1817	住居デザイン II	乾 康代	前学期	水	2	常勤	8
P1818	住居学演習	乾 康代	後学期	木	4	常勤	2
P1819	保育学	数井 みゆき	前学期	月	5	常勤	26
P1821	親子関係学	数井 みゆき	前学期	月	3	常勤	17
P1822	保育学演習	数井 みゆき	後学期	月	3	常勤	5
P1823	家庭経営学	佐藤 裕紀子	後学期	火	2	常勤	21
P1824	家事労働論	佐藤 裕紀子	後学期	金	2	常勤	34
P1827	家庭経営学演習	佐藤 裕紀子	後学期	水	2	常勤	1
P1828	家庭電気・機械	安田 健一	後学期	集中		常勤	15
P1829	情報教育研究法	工藤 雄司	後学期	集中		非常勤	23

教育基礎

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1902	教育哲学特講	小川 哲哉	後学期	火	3	常勤	6
P1905	教育史演習 I	小川 哲哉	前学期	金	3	常勤	7
P1908	教育行政特講	加藤 崇英	前学期	木	3	常勤	4
P1909	教育行政演習	加藤 崇英	後学期	木	3	常勤	1
P1910	社会教育計画 I	長谷川 幸介	前学期	木	3	常勤	34
P1911	社会教育計画 II	長谷川 幸介	後学期	木	3	常勤	27

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P1912	社会教育演習	望月 厚志	後学期	火	1	常勤	19
P1913	社会教育実習	望月 厚志	後学期	集中		常勤	0
P1914	社会教育課題研究	長谷川 幸介	前学期	木	1	常勤	25
P1915	学習指導演習	杉本 憲子	後学期	金	4	常勤	3
P1916	教育的関係論演習	生越 達	後学期	木	5	常勤	10
P1917	教育的関係論特講	生越 達	前学期	木	5	常勤	10
P1918	学習指導特講	杉本 憲子	前学期	金	4	常勤	3

(4) 高等学校「情報」

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P1951	情報社会及び情報倫理	中野 雅紀	後学期	集中		常勤	12
P1952	情報技術の基礎	野崎 英明	後学期	木	5	常勤	8
P1953	情報技術演習 I	佐々木 忠之	後学期	金	3～4	常勤	2
P1956	情報システム	竹野 英敏	後学期	集中		非常勤	10
P1957	情報システム演習	田村 俊之	前学期	集中		非常勤	9
P1959	情報通信ネットワーク演習	富樫 泰一	後学期	木	2	常勤	4
P1960	コンピュータプレゼンテーション技法	本田 敏明	後学期	木	4	常勤	8
P1962	情報編集法	関 友作	後学期	木	1	常勤	6
P1964	情報と職業	工藤 雄司	後学期	集中		非常勤	10

(5) 特別支援教育に関する科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P2001	障害児教育概論	荒川 智	前学期	水	1	常勤	0
P2002	障害児教育の歴史と制度	荒川 智	前学期	火	4	常勤	0
P2004	障害児教育学研究法	荒川 智	後学期	集中		常勤	0
P2006	障害児教育一般研究法	松村 多美恵	前学期	月	4	常勤	0
P2007	知的障害児の心理学	松村 多美恵	前学期	火	5	常勤	0
P2008	障害児生理心理学	勝二 博亮	後学期	木	5	常勤	0
P2010	障害児心理学研究法	松村 多美恵	後学期	集中		常勤	0
P2013	障害児の病理	尾崎 久記	前学期	月	5	常勤	0
P2014	障害児の保健	勝二 博亮	後学期	月	4	常勤	0
P2016	言語病理学	小淵 千絵	後学期	集中		非常勤	0
P2017	障害児生理学研究法	勝二 博亮	後学期	集中		常勤	0
P2020	障害児臨床学	菊池 由葵子	後学期	火	2	非常勤	0
P2021	障害児の指導法	新井 英靖	前学期	月	3	常勤	0
P2022	知的障害児指導法	新井 英靖	前学期	金	1	常勤	0
P2023	障害児教育実践論	三村 和子	前学期	金	2	非常勤	0
P2025	障害児指導法演習	新井 英靖	前学期	集中		常勤	0
P2027	障害児心理診断法	松村 多美恵	前学期	集中		常勤	0
P2028	障害児心理療法	東條 吉邦	前学期	火	3	常勤	0
P2031	重度重複障害児教育論	林 恵津子	前学期	集中		非常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P2101	特別支援教育原論	荒川 智	前学期	火	4	常勤	25
P2102	障害児教育学演習 I	荒川 智	後学期	集中		常勤	4
P2103	障害児教育学演習 II	新井 英靖	後学期	集中		常勤	4
P2104	特別支援教育研究法	松村 多美恵	前学期	月	4	常勤	22
P2106	知的障害児の心理	松村 多美恵	前学期	火	5	常勤	26
P2107	知的障害児の生理	勝二 博亮	後学期	月	4	常勤	26
P2108	知的障害児の病理	尾崎 久記	前学期	月	5	常勤	25
P2109	障害児心理学演習 I	松村 多美恵	後学期	集中		常勤	3
P2110	障害児心理学演習 II	東條 吉邦	後学期	集中		常勤	4
P2111	障害児生理学演習 I	尾崎 久記	後学期	集中		常勤	3
P2112	障害児生理学演習 II	勝二 博亮	後学期	集中		常勤	3
P2113	肢体不自由児の生理	岡澤 慎一	後学期	集中		非常勤	46
P2115	知的障害児の教育方法	新井 英靖	前学期	金	1	常勤	31
P2116	知的障害児教育実践論	三村 和子	前学期	金	2	非常勤	31
P2117	知的障害児指導法演習	新井 英靖	前学期	集中		常勤	27
P2118	障害児発達臨床学	菊池 由葵子	後学期	火	2	非常勤	23
P2119	障害児心理診断法	松村 多美恵	前学期	集中		常勤	20
P2120	肢体不自由児の教育方法	新井 英靖	前学期	月	3	常勤	55
P2122	聴覚言語病理	小渕 千絵	後学期	集中		非常勤	24
P2123	感覚障害児の教育	東條 吉邦	前学期	集中		常勤	22
P2124	重度重複障害児教育論	林 恵津子	前学期	集中		非常勤	26
P2125	発達障害児教育概論	東條 吉邦	前学期	火	3	常勤	29
P2126	障害児生理機能評価法	勝二 博亮	後学期	木	5	常勤	21
P2127	障害児教育総論	荒川 智	前学期	水	1	常勤	29

(6) 養護に関する科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P3001	衛生学	瀧澤 利行	前学期	金	2	常勤	38
P3002	公衆衛生学	瀧澤 利行	前学期	火	5	常勤	36
P3003	保健福祉論	瀧澤 利行	前学期	火	2	常勤	25
P3004	保健学演習	瀧澤 利行	後学期	金	3	常勤	35
P3005	学校保健概論	瀧澤 利行	前学期	金	5	常勤	40
P3007	養護学概論 I	斉藤 ふくみ	前学期	金	2	常勤	35
P3008	養護学概論 II	斉藤 ふくみ	後学期	火	1	常勤	35
P3009	養護実践論	斉藤 ふくみ	前学期	金	3	常勤	40
P3010	養護活動と関連法規	斉藤 ふくみ	後学期	木	3	常勤	34
P3011	養護活動実習 I	斉藤 ふくみ	後学期	金	1～2	常勤	38
P3013	養護活動演習	斉藤 ふくみ	前学期	金	1	常勤	35
P3014	学校ヘルスカウンセリング	永原 伸彦	後学期	集中		非常勤	34
P3015	健康相談活動 I	斉藤 ふくみ	前学期	火	3	常勤	35

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P3017	栄養学	西川 陽子	後学期	木	4	常勤	34
P3018	解剖生理学	石原 研治	前学期	金	1	常勤	35
P3019	解剖生理学演習	石原 研治	後学期	金	1	常勤	35
P3021	障害児の病理	尾崎 久記	前学期	月	5	常勤	33
P3023	免疫学 I	石原 研治	前学期	木	2	常勤	35
P3024	免疫学 II	石原 研治	後学期	木	2	常勤	35
P3025	薬理学	石原 研治	前学期	金	2	常勤	38
P3026	精神保健	瀧澤 利行	前学期	火	4	常勤	37
P3027	精神医学	竹下 誠一郎	後学期	水	2	常勤	35
P3028	臨床医学概論	竹下 誠一郎	前学期	火	5	常勤	40
P3031	学校看護学概論	廣原 紀恵	後学期	水	1	常勤	35
P3032	学校看護学概論	廣原 紀恵	前学期	金	1	常勤	40
P3033	学校看護学実習	廣原 紀恵	前学期	火	3～4	常勤	40
P3034	学校救急看護	廣原 紀恵	前学期	火	1	常勤	39
P3035	学校救急看護実習	廣原 紀恵	後学期	火	1～2	常勤	39
P3036	学校救急看護演習 I	廣原 紀恵	後学期	集中		常勤	40
P3037	学校救急看護演習 II	廣原 紀恵	前学期	集中		常勤	35
P3038	内科系臨床医学・看護学	竹下 誠一郎	後学期	火	4	常勤	40
P3039	外科系臨床医学・看護学	竹下 誠一郎	後学期	火	5	常勤	40
P3040	母性・小児系臨床医学・看護学	竹下 誠一郎	前学期	水	2	常勤	35
P3041	感覚器系臨床医学・看護学	竹下 誠一郎	前学期	水	1	常勤	35
P3044	臨床医学・看護学臨床実習	竹下 誠一郎	通年	集中		常勤	35
P3045	小児・思春期保健学	瀧澤 利行	前学期	金	4	常勤	30
P3046	健康相談活動	斉藤 ふくみ	前学期	火	3	常勤	1

(7) 情報文化課程

課程共通科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P4001	情報文化論	浅岡 隆裕	後学期	集中		非常勤	1
P4002	情報と倫理	中野 雅紀	後学期	集中		常勤	0
P4003	情報化社会の諸問題	郡司 晴元	前学期	木	1	常勤	0
P4004	情報社会論	岩佐 淳一	後学期	木	1	常勤	1
P4007	表象文化論	小泉 晋弥	前学期	水	4	常勤	0
P4016	データベース入門	中村 直美	前学期	木	3	常勤	0
P4017	プログラミング入門	中村 直美	後学期	火	2	常勤	0
P4018	基礎情報処理	富樫 泰一	後学期	木	2	常勤	0
P4021	統計学の基礎	小島 秀夫	後学期	火	1	常勤	0
P4022	外書講読 I	小島 秀夫	前学期	火	2	常勤	0
P4023	外書講読 II	小島 秀夫	後学期	火	2	常勤	0
P4024	インターンシップ	岩佐 淳一	通年	集中		常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4025	地球環境論	清木 徹	後学期	金	5	常勤	0
P4026	汚染化学論	清木 徹	前学期	木	4	常勤	0
P4027	生涯学習論	望月 厚志	後学期	集中		常勤	0
P4031	情報文化広報プロジェクト	林 延哉	前学期	集中		常勤	0
P4032	情報文化広報プロジェクト	林 延哉	後学期	集中		常勤	0
P4033	メディア批評プロジェクト	小泉 晋弥	前学期	集中		常勤	0
P4034	メディア批評プロジェクト	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	0
P4035	地域活動プロジェクト	佐々木 忠之	前学期	集中		常勤	0
P4036	地域活動プロジェクト	佐々木 忠之	後学期	集中		常勤	0
P4037	映像工房プロジェクト	島田 裕之	前学期	集中		常勤	0
P4038	映像工房プロジェクト	島田 裕之	後学期	集中		常勤	0
P4039	生活資源プロジェクト	中村 直美	前学期	集中		常勤	0
P4040	生活資源プロジェクト	中村 直美	後学期	集中		常勤	0
P4041	子ども文化プロジェクト	林 延哉	前学期	集中		常勤	0
P4042	子ども文化プロジェクト	林 延哉	後学期	集中		常勤	0

社会情報コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P4101	社会統計学	小島 秀夫	後学期	金	4	常勤	0
P4102	社会情報学演習 I	小島 秀夫	前学期	金	4	常勤	0
P4104	フィールドワークの科学	岩佐 淳一	前学期	木	2	常勤	0
P4105	社会情報学演習 II	岩佐 淳一	前学期	火	5	常勤	0
P4107	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	前学期	木	1	常勤	0
P4108	メディアリテラシー論	岩佐 淳一	後学期	木	2	常勤	0
P4109	社会意識論	小島 秀夫	前学期	火	1	常勤	0
P4113	家庭経営学	佐藤 裕紀子	後学期	火	2	常勤	0
P4116	文化の社会学	岩佐 淳一	後学期	火	5	常勤	0
P4117	科学技術と社会	曾我 日出夫	前学期	金	1	常勤	0
P4118	マイクロコンピュータ・プログラミング入門	佐々木 忠之	後学期	金	3~4	常勤	0
P4119	課題図書講読 I	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4120	課題図書講読 II	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4121	課題図書講読 III	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4122	課題図書講読 IV	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4123	特別演習 I	林 延哉	前学期	集中		常勤	0
P4124	特別演習 II	林 延哉	後学期	集中		常勤	0

児童情報コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P4201	児童情報研究法 I	林 延哉	後学期	火	1	常勤	0
P4202	社会統計学	小島 秀夫	後学期	金	4	常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4203	社会情報学演習 I	小島 秀夫	前学期	金	4	常勤	0
P4205	フィールドワークの科学	岩佐 淳一	前学期	木	2	常勤	0
P4206	社会情報学演習 II	岩佐 淳一	前学期	火	5	常勤	0
P4208	子どもと発達	渡部 玲二郎	前学期	木	3	常勤	0
P4211	子どもと自然 I	中村 直美	前学期	水	2	常勤	0
P4212	子どもと自然 II	中村 直美	後学期	水	2	常勤	0
P4215	児童情報文化特論 II	数井 みゆき	後学期	月	5	常勤	0
P4220	社会臨床演習 II-a	林 延哉	後学期	集中		常勤	1
P4221	社会臨床演習 II-b	林 延哉	後学期	集中		常勤	1
P4222	科学技術と社会	曾我 日出夫	前学期	金	1	常勤	0
P4224	マイクロコンピュータ・プログラミング入門	佐々木 忠之	後学期	金	3~4	常勤	0
P4225	課題図書講読 I	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4226	課題図書講読 II	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4227	課題図書講読 III	林 延哉	通年	集中		常勤	0
P4228	課題図書講読 IV	林 延哉	通年	集中		常勤	0

生活デザインコース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P4302	都市設備及び住居環境	沼尾 達弥	後学期	集中		常勤	0
P4303	住居計画学	乾 康代	前学期	金	5	常勤	0
P4304	地球環境工学	三村 信男	前学期	火	4	常勤	0
P4305	設計製図 I	乾 康代	後学期	金	5	常勤	0
P4306	設計製図 II	齋藤 芳徳	前学期	木	3	常勤	0
P4307	設計製図 III	齋藤 芳徳	後学期	火	4	常勤	0
P4309	住環境計画学	乾 康代	前学期	金	3	常勤	0
P4310	住環境計画演習	乾 康代	後学期	木	4	常勤	0
P4313	測量学	桑原 祐史	後学期	木	2	常勤	0
P4314	構造力学	野崎 英明	前学期	月	3	常勤	0
P4315	材料力学	車谷 麻緒	後学期	月	1	常勤	0
P4317	コンクリート構造学	原田 隆郎	後学期	火	3	常勤	0
P4318	建設材料学	沼尾 達弥	前学期	金	4	常勤	0
P4320	建築法規	齋藤 芳徳	前学期	木	2	常勤	0
P4322	景観工学	小柳 武和	後学期	金	3	常勤	0
P4323	都市・地域計画	金 利昭	後学期	火	1	常勤	0
P4324	都市計画論 I	齋藤 義則	前学期	月	2	常勤	0
P4325	都市計画論 II	齋藤 義則	後学期	月	2	常勤	0
P4327	住居環境学	乾 康代	後学期	木	3	常勤	0
P4328	図学演習	齋藤 芳徳	前学期	火	3	常勤	0
P4330	建築学概論	寺内 美紀子	後学期	金	3	常勤	0
P4331	インテリアデザイン演習	齋藤 芳徳	前学期	木	4	常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4333	ユニバーサルデザイン演習	齋藤 芳徳	後学期	木	3	常勤	0
P4336	デザイン素材研究	寺本 輝正	後学期	金	5	常勤	0
P4337	生活用品デザイン演習 I	寺本 輝正	前学期	金	3	常勤	0
P4338	生活用品デザイン演習 II	寺本 輝正	後学期	金	3	常勤	0
P4341	工芸理論	石黒 美男	後学期	集中		非常勤	0
P4342	人間工学	齋藤 芳徳	後学期	木	2	常勤	0
P4345	マイクロコンピュータ・プログラミング入門	佐々木 忠之	後学期	金	3～4	常勤	0
P4346	感覚の科学	佐々木 忠之	前学期	金	2	常勤	0
P4347	児童用品デザイン演習	島田 裕之	後学期	火	3	常勤	0
P4348	視覚伝達デザイン演習	島田 裕之	前学期	火	4	常勤	0
P4350	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	前学期	木	1	常勤	0
P4351	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	0
P4353	デザイン基礎	島田 裕之	後学期	火	1	常勤	0

表現文化コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P4401	絵画基礎	片口 直樹	後学期	集中		常勤	0
P4402	絵画 I	片口 直樹	前学期	火	3	常勤	0
P4403	絵画 II	片口 直樹	後学期	月	3	常勤	0
P4404	彫刻基礎	島 剛	後学期	木	3	常勤	0
P4405	彫刻 I	島 剛	前学期	金	5	常勤	0
P4406	彫刻 II	島 剛	後学期	金	5	常勤	0
P4407	デザイン基礎	島田 裕之	後学期	火	1	常勤	0
P4408	デザイン I	島田 裕之	前学期	火	4	常勤	0
P4409	デザイン II	島田 裕之	後学期	火	3	常勤	0
P4410	デザイン特別演習	山崎 曜	通年	集中		非常勤	0
P4411	工芸基礎	寺本 輝正	後学期	金	5	常勤	0
P4412	工芸 I	寺本 輝正	前学期	金	3	常勤	0
P4413	工芸 II	寺本 輝正	後学期	金	3	常勤	0
P4414	図法及び製図 I	齋藤 芳徳	前学期	火	3	常勤	0
P4416	西洋美術史 I	甲斐 教行	前学期	木	5	常勤	0
P4417	西洋美術史 II	甲斐 教行	後学期	木	5	常勤	0
P4418	日本美術史 I	小泉 晋弥	前学期	木	4	常勤	0
P4419	日本美術史 II	小泉 晋弥	後学期	木	4	常勤	0
P4420	西洋美術史特講 I	藤原 貞朗	前学期	火	5	常勤	0
P4422	日本美術実地研究	関係教員	後学期	集中		常勤	0
P4423	造形美学	甲斐 教行	前学期	水	2	常勤	0
P4425	現代アート論	小泉 晋弥	後学期	火	2	常勤	0
P4428	工芸理論	石黒 美男	後学期	集中		非常勤	0
P4431	茨城の歴史と文化	小野寺 淳	後学期	火	3	常勤	0

平成23年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4433	メディアとアート論	小山 昌宏	後学期	集中		非常勤	0
P4435	外書講読	甲斐 教行	後学期	火	3	常勤	0
P4436	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	0
P4437	博物館学Ⅰ	玉川 里子	後学期	集中		非常勤	0
P4438	博物館学Ⅱ（情報論）	利光 誠一	後学期	集中		非常勤	0
P4439	博物館学Ⅱ（経営論）	梶山 孝	後学期	月	2	非常勤	0
P4440	博物館実習ⅠB	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	0
P4441	博物館学Ⅲ	小泉 晋弥	前学期	木	2	常勤	0
P4442	博物館実習ⅡB	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	0
P4444	デザイン表現演習Ⅰ	島田 裕之	前学期	木	5	常勤	0
P4445	デザイン表現演習Ⅱ	島田 裕之	後学期	木	5	常勤	0
P4446	絵画表現演習Ⅰ	片口 直樹	前学期	金	3	常勤	0
P4447	絵画表現演習Ⅱ	片口 直樹	後学期	金	3	常勤	0
P4448	西洋美術史特別演習Ⅰ	甲斐 教行	前学期	火	5	常勤	0
P4449	西洋美術史特別演習Ⅱ	甲斐 教行	後学期	木	2	常勤	0
P4450	彫刻表現演習Ⅰ	島 剛	前学期	木	5	常勤	0
P4451	彫刻表現演習Ⅱ	島 剛	後学期	木	5	常勤	0
P4454	工芸造形演習Ⅰ	寺本 輝正	前学期	木	3	常勤	0
P4455	工芸造形演習Ⅱ	寺本 輝正	後学期	木	3	常勤	0

情報文化課程新カリキュラム

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P4501	情報文化論	浅岡 隆裕	後学期	集中		非常勤	89
P4502	情報と倫理	中野 雅紀	後学期	集中		常勤	74
P4503	プログラミング入門	中村 直美	後学期	火	2	常勤	36
P4504	データベース演習	中村 直美	前学期	木	3	常勤	23
P4505	基礎情報処理	富樫 泰一	後学期	木	2	常勤	34
P4514	人間工学	齋藤 芳徳	後学期	木	2	常勤	37
P4515	子どもアート論	石山 幸弘	前学期	水	4	非常勤	37
P4516	統計の初歩	林 延哉	後学期	火	1	常勤	34
P4517	統計学	小島 秀夫	後学期	火	1	常勤	20
P4518	課題図書講読Ⅰ	林 延哉	通年	集中		常勤	88
P4519	課題図書講読Ⅱ	林 延哉	通年	集中		常勤	83
P4520	課題図書講読Ⅲ	林 延哉	通年	集中		常勤	17
P4521	生涯学習論	望月 厚志	後学期	集中		常勤	32
P4522	外書講読Ⅰ	小島 秀夫	前学期	火	2	常勤	26
P4523	外書講読Ⅱ	小島 秀夫	後学期	火	2	常勤	5
P4524	地球環境論	清木 徹	後学期	金	5	常勤	18
P4525	汚染化学論	清木 徹	前学期	木	4	常勤	5
P4526	インターンシップ	岩佐 淳一	通年	集中		常勤	2

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4527	情報文化広報プロジェクトⅠ	林 延哉	前学期	集中		常勤	24
P4528	情報文化広報プロジェクトⅡ	林 延哉	後学期	集中		常勤	25
P4529	メディア批評プロジェクトⅠ	小泉 晋弥	前学期	集中		常勤	20
P4530	メディア批評プロジェクトⅡ	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	19
P4531	地域活動プロジェクトⅠ	佐々木 忠之	前学期	集中		常勤	17
P4532	地域活動プロジェクトⅡ	佐々木 忠之	後学期	集中		常勤	17
P4533	映像工房プロジェクトⅠ	島田 裕之	前学期	集中		常勤	42
P4534	映像工房プロジェクトⅡ	島田 裕之	後学期	集中		常勤	40
P4535	生活資源プロジェクトⅠ	中村 直美	前学期	集中		常勤	53
P4536	生活資源プロジェクトⅡ	中村 直美	後学期	集中		常勤	52
P4537	子ども文化プロジェクトⅠ	林 延哉	前学期	集中		常勤	35
P4538	子ども文化プロジェクトⅡ	林 延哉	後学期	集中		常勤	34
P4541	ウェブ制作（中級）	中村 直美	後学期	集中		常勤	18
P4542	子どもと自然	中村 直美	前学期	水	2	常勤	58
P4544	折り紙から考える生物	中村 直美	後学期	水	2	常勤	31
P4545	マイクロコンピュータ・プログラミング入門	佐々木 忠之	後学期	金	3～4	常勤	7
P4546	設計製図Ⅰ	乾 康代	後学期	金	5	常勤	24
P4547	設計製図Ⅱ	齋藤 芳徳	前学期	木	3	常勤	17
P4548	設計製図Ⅲ	齋藤 芳徳	後学期	火	4	常勤	6
P4549	図学演習	齋藤 芳徳	前学期	火	3	常勤	32
P4551	住居計画学	乾 康代	前学期	金	5	常勤	34
P4552	住居環境学	乾 康代	後学期	木	3	常勤	42
P4553	住環境計画学	乾 康代	前学期	金	3	常勤	27
P4554	居住地計画演習	乾 康代	後学期	木	4	常勤	12
P4555	インテリアデザイン演習	齋藤 芳徳	前学期	木	4	常勤	24
P4556	ユニバーサルデザイン演習	齋藤 芳徳	後学期	木	3	常勤	0
P4557	ベーシックデザイン	寺本 輝正	前学期	金	5	常勤	48
P4558	デザイン素材研究	寺本 輝正	後学期	金	5	常勤	30
P4559	生活用品デザイン演習Ⅰ	寺本 輝正	前学期	金	3	常勤	19
P4560	生活用品デザイン演習Ⅱ	寺本 輝正	後学期	金	3	常勤	17
P4561	デザイン特別演習	山崎 曜	通年	集中		非常勤	41
P4563	視覚コミュニケーション演習	島田 裕之	後学期	火	1	常勤	37
P4564	デザイン史演習	島田 裕之	前学期	火	4	常勤	32
P4566	感覚の科学	佐々木 忠之	前学期	金	2	常勤	61
P4572	表象文化論	小泉 晋弥	前学期	水	4	常勤	47
P4573	現代美術論	小泉 晋弥	後学期	火	2	常勤	34
P4574	現代工芸論	石黒 美男	後学期	集中		非常勤	10
P4575	造形理論	甲斐 教行	前学期	水	2	常勤	32
P4576	日本美術史Ⅰ	小泉 晋弥	前学期	木	4	常勤	40

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4577	日本美術史Ⅱ	小泉 晋弥	後学期	木	4	常勤	40
P4578	西洋美術史Ⅰ	甲斐 教行	前学期	木	5	常勤	43
P4579	西洋美術史Ⅱ	甲斐 教行	後学期	木	5	常勤	42
P4580	西洋美術史特別講義Ⅰ	藤原 貞朗	前学期	火	5	常勤	24
P4582	古美術実地研究	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	7
P4583	メディアとアート論	小山 昌宏	後学期	集中		非常勤	24
P4585	表現の基礎	片口 直樹	前学期	集中		常勤	15
P4586	造形実技Ⅰ	島 剛	前学期	集中		常勤	12
P4587	造形実技Ⅱ	片口 直樹	後学期	集中		常勤	5
P4588	平面表現演習Ⅰ	片口 直樹	後学期	集中		常勤	12
P4589	平面表現演習Ⅱ	片口 直樹	前学期	火	3	常勤	21
P4590	平面表現演習Ⅲ	片口 直樹	後学期	月	3	常勤	13
P4591	彩画特別演習	片口 直樹	後学期	集中		常勤	7
P4593	立体表現演習Ⅰ	島 剛	後学期	木	3	常勤	13
P4594	立体表現演習Ⅱ	島 剛	前学期	金	5	常勤	5
P4595	立体表現演習Ⅲ	島 剛	後学期	金	5	常勤	3
P4596	塑造特別演習	島 剛	前学期	集中		常勤	3
P4598	絵本作成演習	島田 裕之	後学期	火	3	常勤	29
P4599	現代文化批評	小泉 晋弥	後学期	水	4	常勤	13
P4600	社会調査法	小島 秀夫	前学期	金	3	常勤	21
P4601	メディア・リテラシーⅠ	村野井 均	後学期	月	3	常勤	53
P4602	メディア・リテラシーⅡ	岩佐 淳一	後学期	木	2	常勤	20
P4603	フィールドワークの科学	岩佐 淳一	前学期	木	2	常勤	26
P4605	社会文化情報演習Ⅰ	小島 秀夫	前学期	金	4	常勤	30
P4606	社会文化情報演習Ⅱ	岩佐 淳一	前学期	火	5	常勤	21
P4607	社会臨床演習Ⅰ	林 延哉	後学期	集中		常勤	33
P4608	社会臨床演習Ⅱ	林 延哉	後学期	集中		常勤	32
P4609	情報社会論	岩佐 淳一	後学期	木	1	常勤	38
P4610	マス・コミュニケーション論	岩佐 淳一	前学期	木	1	常勤	60
P4611	文化の社会学	岩佐 淳一	後学期	火	5	常勤	63
P4612	人文地理学	小野寺 淳	前学期	金	2	常勤	9
P4613	社会統計学	小島 秀夫	後学期	金	4	常勤	33
P4614	社会意識論	小島 秀夫	前学期	火	1	常勤	22
P4615	地域社会論	小島 秀夫	後学期	金	3	常勤	17
P4616	情報文化特講	数井 みゆき	後学期	月	5	常勤	44
P4617	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	23
P4618	茨城の歴史と文化	小野寺 淳	後学期	火	3	常勤	50
P4619	ヨーロッパの歴史と文化	池谷 文夫	後学期	金	2	常勤	9
P4620	博物館学Ⅰ	玉川 里子	後学期	集中		非常勤	25

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P4621	博物館学Ⅱ（経営論）	梶山 孝	後学期	月	2	非常勤	18
P4622	博物館学Ⅱ（情報論）	利光 誠一	後学期	集中		非常勤	24
P4623	博物館学Ⅲ	小泉 晋弥	前学期	木	2	常勤	18
P4624	博物館実習Ⅰ	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	16
P4625	博物館実習Ⅱ	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	11
P4627	構造力学	野崎 英明	前学期	月	3	常勤	36
P4628	材料力学	車谷 麻緒	後学期	月	1	常勤	10
P4629	コンクリート構造学	原田 隆郎	後学期	火	3	常勤	0
P4631	建築法規	齋藤 芳徳	前学期	木	2	常勤	24
P4633	都市設備及び住居環境	沼尾 達弥	後学期	集中		常勤	0
P4634	環境工学	鈴木 鼎	後学期	月	2	非常勤	0
P4636	測量学	桑原 祐史	後学期	木	2	常勤	0
P4637	建設材料学	沼尾 達弥	前学期	金	4	常勤	1
P4639	景観工学	小柳 武和	後学期	金	3	常勤	0
P4640	都市・地域計画	金 利昭	後学期	火	1	常勤	16
P4641	建築学概論	寺内 美紀子	後学期	金	3	常勤	9
P4642	都市計画論Ⅰ	齋藤 義則	前学期	月	2	常勤	13
P4643	都市計画論Ⅱ	齋藤 義則	後学期	月	2	常勤	6
P4644	特別演習Ⅰ	林 延哉	前学期	集中		常勤	52
P4645	特別演習Ⅱ	林 延哉	後学期	集中		常勤	50
P4646	アメリカ文学史	君塚 淳一	後学期	木	3	常勤	13
P4649	福祉デザイン	関係教員	後学期	集中		非常勤	8

(8) 人間環境教育課程

共通

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5001	社会と思想	木村 競	前学期	月	1	常勤	16
P5003	科学技術と社会	曾我 日出夫	前学期	金	1	常勤	18
P5004	教育実践と教師	望月 厚志	前学期	火	1	常勤	34
P5005	教育の本質と理念	小川 哲哉	前学期	木	1	常勤	44
P5006	現代社会の構図	賀来 健輔	前学期	火	2	常勤	12
P5007	現代社会と行政	賀来 健輔	前学期	月	3	常勤	20
P5008	現代の地方自治	賀来 健輔	後学期	火	2	常勤	12
P5009	情報化社会の諸問題	郡司 晴元	前学期	木	1	常勤	18
P5010	生活の中の環境問題	曾我 日出夫	後学期	月	1	常勤	12
P5011	生涯スポーツの実現	日下 裕弘	前学期	火	3	常勤	23
P5012	現代人の健康	松坂 晃	後学期	金	2	常勤	30
P5013	現代社会の人間関係	村野井 均	前学期	火	3	常勤	29
P5014	人間教育の心理学	丸山 広人	後学期	木	1	常勤	43
P5015	情報の収集と活用	関 友作	前学期	木	2	常勤	23

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5016	データ解析法	関 友作	後学期	月	2	常勤	19
P5017	知識解析論	郡司 晴元	後学期	木	2	常勤	15
P5018	情報編集法	関 友作	後学期	木	1	常勤	23
P5019	技能伝達法	加藤 敏弘	前学期	火	1	常勤	24
P5020	コミュニケーション演習	加藤 敏弘	前学期	火	2	常勤	14
P5022	視聴覚教育メディア論	小泉 晋弥	後学期	集中		常勤	0
P5023	チームワーク&コーチング論	加藤 敏弘	後学期	火	1	常勤	17
P5024	組織の合意	曾我 日出夫	前学期	水	2	常勤	22
P5025	生涯学習論	望月 厚志	後学期	集中		常勤	6
P5026	プロジェクト・マネジメントA	木村 競	前学期	火	2	常勤	11
P5028	総合演習	加藤 敏弘	前学期	水	5	常勤	16
P5029	知識経営特別演習 I	加藤 敏弘	後学期	水	5	常勤	3
P5030	知識経営特別演習 II	加藤 敏弘	前学期	水	5	常勤	1
P5031	総合演習	曾我 日出夫	前学期	集中		常勤	6
P5032	環境特別演習 I	曾我 日出夫	後学期	集中		常勤	9
P5033	環境特別演習 II	曾我 日出夫	前学期	集中		常勤	9
P5034	総合演習	加藤 敏弘	前学期	水	2	常勤	0
P5035	スポーツ特別演習 I	加藤 敏弘	後学期	水	2	常勤	27
P5036	スポーツ特別演習 II	加藤 敏弘	前学期	水	2	常勤	29
P5037	総合演習	上地 勝	前学期	水	5	常勤	9
P5038	健康特別演習 I	上地 勝	後学期	水	2	常勤	11
P5039	健康特別演習 II	上地 勝	前学期	水	2	常勤	10
P5040	総合演習	丸山 広人	前学期	水	1	常勤	10
P5041	心理特別演習 I	丸山 広人	後学期	水	1	常勤	9
P5042	心理特別演習 II	丸山 広人	前学期	水	1	常勤	10
P5043	プロジェクト研究 I	曾我 日出夫	前学期	集中		常勤	0
P5044	プロジェクト研究 II	曾我 日出夫	後学期	集中		常勤	0
P5045	プロジェクト研究 III	曾我 日出夫	前学期	集中		常勤	0

環境コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5101	環境科学総論	曾我 日出夫	前学期	集中		常勤	10
P5102	地球環境論	清木 徹	後学期	金	5	常勤	15
P5103	環境科学への数学	曾我 日出夫	後学期	火	3	常勤	10
P5104	環境生物学	山根 爽一	前学期	金	1	常勤	11
P5105	基礎化学	松川 覚	後学期	火	2	常勤	11
P5106	地質学	牧野 泰彦	後学期	木	4	常勤	11
P5107	環境と社会	賀来 健輔	後学期	月	3	常勤	12
P5110	公害・環境問題史	賀来 健輔	後学期	火	3	常勤	21
P5111	コミュニティー心理学	丸山 広人	前学期	月	4	常勤	19

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5112	複雑系の適応行動	曾我 日出夫	後学期	金	1	常勤	19
P5114	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後学期	金	4	常勤	11
P5115	環境教育論	郡司 晴元	後学期	金	2	常勤	14
P5116	環境教育演習	郡司 晴元	前学期	木	3	常勤	9
P5117	鉱物学	伊藤 孝	前学期	火	3	常勤	12
P5118	地形学 I	早川 唯弘	前学期	金	5	常勤	6
P5119	地形学 II	早川 唯弘	後学期	金	5	常勤	6
P5120	地学実験 A	牧野 泰彦	前学期	金	4～5	常勤	0
P5121	地学実験 B	伊藤 孝	後学期	金	1～2	常勤	12
P5122	地学野外実習	伊藤 孝	前学期	集中		常勤	6
P5123	無機化学	桑田 繁樹	前学期	集中		非常勤	12
P5124	有機化学	松川 覚	前学期	金	2	常勤	13
P5126	生物化学	山本 宏	前学期	集中		非常勤	8
P5127	水環境論	清木 徹	後学期	木	5	常勤	12
P5128	汚染化学論	清木 徹	前学期	木	4	常勤	10
P5129	化学実験 I	松川 覚	前学期	金	4～5	常勤	13
P5130	化学実験 II	松川 覚	後学期	金	4～5	常勤	1
P5131	環境分析実験	清木 徹	前学期	月	4～5	常勤	5
P5132	環境化学	松川 覚	後学期	月	4	常勤	7
P5133	植物分類学	小野 義隆	前学期	火	1	常勤	8
P5134	基礎生物学	小野 義隆	前学期	月	5	常勤	11
P5135	動物の多様性	山根 爽一	後学期	月	3	常勤	14
P5136	保全生物学	五箇 公一	通年	集中		非常勤	15
P5137	動物学	山根 爽一	後学期	月	4	常勤	9
P5138	生物学実験	山根 爽一	前学期	火	3～4	常勤	12
P5139	臨湖実習	中里 亮治	前学期	集中		常勤	4
P5140	生物学実験指導法	山根 爽一	前学期	火	5	常勤	0
P5141	生物学野外実習	小野 義隆	前学期	集中		常勤	7
P5143	最適状態の解析法	曾我 日出夫	後学期	水	2	常勤	11
P5144	微分積分の基礎	梅津 健一郎	前学期	水	1	常勤	7
P5145	基礎物理学	永尾 敬一	前学期	火	1	常勤	12
P5147	物理学実験 I	矢島 裕介	後学期	月	4～5	常勤	9
P5148	応用確率統計演習	千葉 康生	後学期	集中		非常勤	2
P5149	博物館学 I	玉川 里子	後学期	集中		非常勤	12
P5150	博物館学 II (経営論)	梶山 孝	後学期	月	2	非常勤	0
P5151	博物館学 II (情報論)	利光 誠一	後学期	集中		非常勤	0
P5152	博物館学 III	小幡 和男	通年	集中		非常勤	3
P5153	博物館実習 IA	山根 爽一	通年	集中		常勤	0
P5154	博物館実習 IIA	山根 爽一	通年	集中		常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

スポーツコース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5201	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	後学期	月	2	常勤	11
P5202	スポーツ行政学	柳沢 和雄	後学期	集中		非常勤	8
P5203	コーチング論Ⅰ	巽 申直	後学期	火	3	常勤	39
P5204	体育学概論	加藤 敏弘	前学期	金	1	常勤	20
P5207	運動学概論	勝本 真	前学期	金	1	常勤	10
P5208	コーチング論Ⅱ	加藤 敏弘	前学期	金	3	常勤	30
P5209	運動生理学	松坂 晃	前学期	水	1	常勤	10
P5210	栄養学	西川 陽子	後学期	木	4	常勤	8
P5211	トレーニング法	吉岡 利貢	後学期	月	3	非常勤	9
P5212	スポーツ医学	富樫 泰一	前学期	金	2	常勤	13
P5213	運動障害予防法	白木 仁	後学期	集中		非常勤	17
P5214	運動障害救急法	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	8
P5215	生理学	尾形 敬史	前学期	火	3	常勤	10
P5216	形態学	渡邊 将司	前学期	金	2	常勤	7
P5217	測定評価	渡邊 将司	後学期	金	3	常勤	6
P5218	スポーツ栄養学	柳沢 香絵	後学期	集中		非常勤	9
P5219	運動処方論	松坂 晃	後学期	月	4	常勤	11
P5220	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後学期	金	4	常勤	10
P5223	学校保健概論	上地 勝	後学期	月	4	常勤	10
P5225	健康心理学	丸山 広人	後学期	月	4	常勤	1
P5226	野外運動	富樫 泰一	通年	金	1	常勤	7
P5227	スキー	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	27
P5229	陸上競技	上地 勝	後学期	木	4	常勤	10
P5230	ギムナスティック	會澤 哲史	前学期	金	4	非常勤	11
P5231	ダンス・身体表現	瀬谷 元子	後学期	金	4	非常勤	5
P5232	水泳	富樫 泰一	前学期	集中		常勤	11
P5233	バスケットボール	加藤 敏弘	後学期	火	4	常勤	5
P5234	サッカー	吉野 聡	後学期	火	3	常勤	0
P5235	ハンドボール	岡本 研二	前学期	木	3	常勤	11
P5236	バレーボール	勝本 真	前学期	金	4	常勤	10
P5237	卓球	日下 裕弘	後学期	火	4	常勤	10
P5238	テニス	服部 恒明	前学期	木	4	非常勤	10
P5239	柔道	尾形 敬史	前学期	火	2	常勤	26
P5240	剣道	巽 申直	後学期	火	2	常勤	27
P5241	陸上競技方法論	上地 勝	後学期	木	3	常勤	10
P5244	ボールゲーム方法論Ⅰ	加藤 敏弘	前学期	火	4	常勤	10
P5245	ボールゲーム方法論Ⅱ	日下 裕弘	後学期	火	3	常勤	10

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5246	武道方法論	尾形 敬史	後学期	火	1	常勤	30
P5247	陸上競技指導法	上地 勝	後学期	木	4	常勤	3
P5250	水泳指導法	富樫 泰一	前学期	集中		常勤	17
P5251	バスケットボール指導法	加藤 敏弘	後学期	火	4	常勤	3
P5252	サッカー指導法	吉野 聡	後学期	火	3	常勤	0
P5253	ハンドボール指導法	岡本 研二	前学期	木	3	常勤	12
P5254	バレーボール指導法	勝本 真	前学期	金	4	常勤	11
P5255	卓球指導法	日下 裕弘	後学期	火	4	常勤	1
P5256	柔道指導法	尾形 敬史	前学期	火	2	常勤	16
P5257	剣道指導法	巽 申直	後学期	火	2	常勤	3
P5258	野外運動指導法	富樫 泰一	通年	集中		常勤	8
P5259	スキー指導法	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	5
P5261	スポーツ実習 I	加藤 敏弘	後学期	集中		常勤	22
P5262	スポーツ実習 II	勝本 真	後学期	集中		常勤	14

健康コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5301	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後学期	金	4	常勤	10
P5302	健康文化論	瀧澤 利行	前学期	火	3	常勤	17
P5304	運動学概論	勝本 真	前学期	金	1	常勤	11
P5305	形態学	渡邊 将司	前学期	金	2	常勤	7
P5306	生理学	尾形 敬史	前学期	火	3	常勤	7
P5307	運動生理学	松坂 晃	前学期	水	1	常勤	11
P5308	栄養学	西川 陽子	後学期	木	4	常勤	10
P5309	臨床医学概論	竹下 誠一郎	前学期	火	5	常勤	0
P5310	健康心理学	丸山 広人	後学期	月	4	常勤	6
P5311	測定評価	渡邊 将司	後学期	金	3	常勤	10
P5313	保健福祉論	瀧澤 利行	前学期	火	2	常勤	6
P5314	トレーニング法	吉岡 利貢	後学期	月	3	非常勤	11
P5315	スポーツ医学	富樫 泰一	前学期	金	2	常勤	14
P5316	運動処方論	松坂 晃	後学期	月	4	常勤	10
P5317	運動障害予防法	白木 仁	後学期	集中		非常勤	20
P5318	運動障害救急法	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	15
P5319	メンタルヘルス	瀧澤 利行	前学期	火	4	常勤	0
P5320	スポーツ行政学	柳沢 和雄	後学期	集中		非常勤	16
P5322	体育スポーツ社会学	日下 裕弘	後学期	月	2	常勤	10
P5323	食生活と健康	西川 陽子	前学期	金	2	常勤	1
P5324	スポーツ栄養学	柳沢 香絵	後学期	集中		非常勤	12
P5325	環境科学総論	曾我 日出夫	前学期	集中		常勤	0
P5326	環境と社会	賀来 健輔	後学期	月	3	常勤	1

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5329	発達心理学	村野井 均	前学期	火	2	常勤	11
P5330	臨床心理学	三輪 壽二	後学期	木	2	常勤	0
P5331	保健体育科教育法研究 III	池田 幸也	前学期	集中		非常勤	9
P5332	学校保健概論	上地 勝	後学期	月	4	常勤	7
P5333	健康相談活動 I	斉藤 ふくみ	前学期	火	3	常勤	0
P5334	障害児生理心理学	勝二 博亮	後学期	木	5	常勤	6
P5335	ダンス・身体表現	瀬谷 元子	後学期	金	4	非常勤	9
P5336	アクアフィットネス	富樫 泰一	前学期	集中		常勤	11
P5337	卓球	日下 裕弘	後学期	火	4	常勤	10
P5338	野外運動	富樫 泰一	通年	金	1	常勤	7
P5339	バスケットボール	加藤 敏弘	後学期	火	4	常勤	10
P5340	サッカー	吉野 聡	後学期	火	3	常勤	0
P5341	ハンドボール	岡本 研二	前学期	木	3	常勤	8
P5342	バレーボール	勝本 真	前学期	金	4	常勤	11
P5343	テニス	服部 恒明	前学期	木	4	非常勤	10
P5344	ギムナスティック	會澤 哲史	前学期	金	4	非常勤	10
P5345	陸上競技	上地 勝	後学期	木	4	常勤	9
P5346	ボールゲーム方法論 I	加藤 敏弘	前学期	火	4	常勤	10
P5347	ボールゲーム方法論 II	日下 裕弘	後学期	火	3	常勤	10
P5349	陸上競技方法論	上地 勝	後学期	木	3	常勤	9
P5350	健康運動指導実習	上地 勝	前学期	木	2	常勤	21
P5351	健康施設実習	上地 勝	通年	集中		常勤	0

心理コース

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5401	心理学史	丸山 広人	前学期	金	2	常勤	13
P5402	発達心理学	村野井 均	前学期	火	2	常勤	13
P5403	臨床心理学	三輪 壽二	後学期	木	2	常勤	30
P5405	心理学研究法 I	渡部 玲二郎	前学期	火	3	常勤	11
P5406	心理学研究法 II	渡部 玲二郎	後学期	木	4	常勤	21
P5407	心理学統計法	渡部 玲二郎	後学期	火	3	常勤	11
P5408	心理学実験	丸山 広人	後学期	金	5	常勤	12
P5409	心理学文献講読 I	渡部 玲二郎	前学期	火	4	常勤	13
P5410	心理学文献講読 II	村野井 均	後学期	火	3	常勤	7
P5413	カウンセリング特講	正保 春彦	前学期	月	3	常勤	24
P5414	生涯学習とメディア	村野井 均	後学期	火	2	常勤	11
P5418	コミュニティー心理学	丸山 広人	前学期	月	4	常勤	22
P5419	健康心理学	丸山 広人	後学期	月	4	常勤	22
P5421	心理臨床診断法	三輪 壽二	前学期	木	4	常勤	20
P5422	職業指導の原理 I	工藤 雄司	後学期	集中		非常勤	0

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

P5424	発達理解A	渡部 玲二郎	前学期	木	3	常勤	13
P5425	発達理解B	村野井 均	後学期	木	3	常勤	12
P5426	学校教育相談	三輪 壽二	前学期	月	2	常勤	11
P5428	社会の中の心理学	小湊 真衣	通年	集中		非常勤	21
P5430	心理臨床援助法実習Ⅰ	三輪 壽二	前学期	水	5	常勤	9
P5431	心理臨床援助法実習Ⅱ	三輪 壽二	後学期	水	5	常勤	9
P5432	衛生公衆衛生学概論	上地 勝	後学期	金	4	常勤	9
P5433	生理学	尾形 敬史	前学期	火	3	常勤	2
P5434	学校保健概論	上地 勝	後学期	月	4	常勤	5
P5435	健康相談活動Ⅰ	斉藤 ふくみ	前学期	火	3	常勤	1
P5436	保健科教育内容研究Ⅰ	野村 和雄	前学期	集中		非常勤	1
P5437	障害児臨床学	菊池 由葵子	後学期	火	2	非常勤	11
P5438	学校における子ども虐待の予防と防止	数井 みゆき	後学期	月	5	常勤	24
P5439	栄養学	西川 陽子	後学期	木	4	常勤	0
P5441	社会福祉論	渋谷 敦司	後学期	火	3	常勤	12
P5443	複雑系の適応行動	曾我 日出夫	後学期	金	1	常勤	8
P5444	運動障害救急法	富樫 泰一	後学期	集中		常勤	1

(9) 実践英語コミュニケーション

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5501	小学校英語Ⅰ	猪井 新一	前学期	木	5	常勤	20
P5502	小学校英語Ⅱ	下 薫	後学期	木	5	非常勤	6
P5503	小学校英語Ⅲ	下 薫	前学期	木	4	非常勤	16

(10) 特別専門科目

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
P5601	教師の資質と教職設計A	佐藤 環	前学期	金	5	非常勤	55
P5602	教師の資質と教職設計B	佐藤 環	後学期	金	5	非常勤	104
P5603	教職のためのパブリックスピーキング	橋浦 洋志	前学期	火	5	常勤	32

(11) 卒業研究

授業コード	科目名称	教員氏名	開講期	曜日	時限	常勤・非常勤	受講者数
PG301	卒業研究	新井 英靖	通年	集中		常勤	5
PG302	卒業研究	荒川 智	通年	集中		常勤	4
PG303	卒業研究	池谷 文夫	通年	集中		常勤	3
PG304	卒業研究	石原 研治	通年	集中		常勤	4
PG305	卒業研究	伊藤 孝	通年	集中		常勤	5
PG306	卒業研究	稲葉 健五	通年	集中		常勤	4
PG307	卒業研究	乾 康代	通年	集中		常勤	1
PG308	卒業研究	岩佐 淳一	通年	集中		常勤	13
PG309	卒業研究	上地 勝	通年	集中		常勤	5

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG310	卒業研究	梅津 健一郎	通年	集中		常勤	5
PG311	卒業研究	大内 善一	通年	集中		常勤	3
PG312	卒業研究	大槻 功	通年	集中		常勤	1
PG313	卒業研究	大辻 永	通年	集中		常勤	4
PG314	卒業研究	尾形 敬史	通年	集中		常勤	2
PG315	卒業研究	岡本 研二	通年	集中		常勤	1
PG316	卒業研究	岡安 隆	通年	集中		常勤	4
PG317	卒業研究	小川 哲哉	通年	集中		常勤	4
PG318	卒業研究	小口 祐一	通年	集中		常勤	6
PG319	卒業研究	生越 達	通年	集中		常勤	3
PG320	卒業研究	尾崎 久記	通年	集中		常勤	3
PG321	卒業研究	小野 義隆	通年	集中		常勤	2
PG322	卒業研究	小野寺 淳	通年	集中		常勤	3
PG323	卒業研究	甲斐 教行	通年	集中		常勤	0
PG324	卒業研究	賀来 健輔	通年	集中		常勤	0
PG325	卒業研究	数井 みゆき	通年	集中		常勤	3
PG326	卒業研究	片口 直樹	通年	集中		常勤	7
PG327	卒業研究	勝本 真	通年	集中		常勤	3
PG328	卒業研究	加藤 敏弘	通年	集中		常勤	5
PG329	卒業研究	加藤 崇英	通年	集中		常勤	3
PG330	卒業研究	金子 一夫	通年	集中		常勤	0
PG331	卒業研究	川嶋 秀之	通年	集中		常勤	9
PG332	卒業研究	神部 智	通年	集中		常勤	0
PG333	卒業研究	君塚 淳一	通年	集中		常勤	4
PG334	卒業研究	木村 競	通年	集中		常勤	4
PG335	卒業研究	木村 勝彦	通年	集中		常勤	1
PG336	卒業研究	木村 美智子	通年	集中		常勤	2
PG337	卒業研究	日下 裕弘	通年	集中		常勤	5
PG338	卒業研究	工藤 研二	通年	集中		常勤	4
PG339	卒業研究	郡司 晴元	通年	集中		常勤	3
PG340	卒業研究	小泉 晋弥	通年	集中		常勤	1
PG341	卒業研究	向野 康江	通年	集中		常勤	2
PG342	卒業研究	小島 秀夫	通年	集中		常勤	6
PG343	卒業研究	小林 英美	通年	集中		常勤	3
PG344	卒業研究	齋木 久美	通年	集中		常勤	0
PG345	卒業研究	齋藤 英敏	通年	集中		常勤	1
PG346	卒業研究	斉藤 ふくみ	通年	集中		常勤	14
PG347	卒業研究	齋藤 芳徳	通年	集中		常勤	4
PG348	卒業研究	猪井 新一	通年	集中		常勤	1

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG349	卒業研究	酒井 紀美	通年	集中		常勤	8
PG350	卒業研究	榊 守	通年	集中		常勤	4
PG351	卒業研究	佐々木 忠之	通年	集中		常勤	2
PG352	卒業研究	佐藤 篤	通年	集中		常勤	5
PG353	卒業研究	佐藤 裕紀子	通年	集中		常勤	4
PG354	卒業研究	島 剛	通年	集中		常勤	2
PG355	卒業研究	島田 裕之	通年	集中		常勤	19
PG356	卒業研究	勝二 博亮	通年	集中		常勤	4
PG357	卒業研究	昌子 佳広	通年	集中		常勤	4
PG358	卒業研究	正保 春彦	通年	集中		常勤	1
PG359	卒業研究	杉本 憲子	通年	集中		常勤	5
PG360	卒業研究	清水 徹	通年	集中		常勤	0
PG361	卒業研究	関 友作	通年	集中		常勤	1
PG362	卒業研究	曾我 日出夫	通年	集中		常勤	3
PG363	卒業研究	瀧澤 利行	通年	集中		常勤	8
PG364	卒業研究	竹下 誠一郎	通年	集中		常勤	7
PG366	卒業研究	田代 尚弘	通年	集中		常勤	0
PG367	卒業研究	巽 申直	通年	集中		常勤	3
PG368	卒業研究	田中 健次	通年	集中		常勤	0
PG369	卒業研究	谷川 佳幸	通年	集中		常勤	8
PG370	卒業研究	寺本 輝正	通年	集中		常勤	6
PG371	卒業研究	東條 吉邦	通年	集中		常勤	2
PG372	卒業研究	富樫 泰一	通年	集中		常勤	3
PG373	卒業研究	永尾 敬一	通年	集中		常勤	2
PG374	卒業研究	中野 雅紀	通年	集中		常勤	0
PG375	卒業研究	中村 直美	通年	集中		常勤	1
PG376	卒業研究	竝木 崇康	通年	集中		常勤	1
PG377	卒業研究	西川 陽子	通年	集中		常勤	4
PG378	卒業研究	根本 博	通年	集中		常勤	4
PG379	卒業研究	野崎 英明	通年	集中		常勤	4
PG380	卒業研究	橋浦 洋志	通年	集中		常勤	11
PG381	卒業研究	長谷川 幸介	通年	集中		常勤	1
PG382	卒業研究	早川 唯弘	通年	集中		常勤	2
PG383	卒業研究	林 延哉	通年	集中		常勤	11
PG384	卒業研究	藤田 文子	通年	集中		常勤	2
PG385	卒業研究	本田 敏明	通年	集中		常勤	1
PG386	卒業研究	牧野 泰彦	通年	集中		常勤	0
PG387	卒業研究	増子 和男	通年	集中		常勤	4
PG388	卒業研究	松川 覚	通年	集中		常勤	6

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

PG389	卒業研究	松坂 晃	通年	集中		常勤	5
PG390	卒業研究	松村 多美恵	通年	集中		常勤	2
PG391	卒業研究	丸山 広人	通年	集中		常勤	4
PG392	卒業研究	三輪 壽二	通年	集中		常勤	1
PG393	卒業研究	村野井 均	通年	集中		常勤	1
PG394	卒業研究	村山 朝子	通年	集中		常勤	2
PG395	卒業研究	望月 厚志	通年	集中		常勤	3
PG396	卒業研究	矢島 裕介	通年	集中		常勤	1
PG397	卒業研究	安田 健一	通年	集中		常勤	4
PG398	卒業研究	柳田 伸顯	通年	集中		常勤	5
PG400	卒業研究	山根 爽一	通年	集中		常勤	2
PG401	卒業研究	山本 勝博	通年	集中		常勤	4
PG402	卒業研究	山本 紀久子	通年	集中		常勤	2
PG403	卒業研究	吉野 聡	通年	集中		常勤	4
PG404	卒業研究	渡邊 將司	通年	集中		常勤	4
PG405	卒業研究	渡部 玲二郎	通年	集中		常勤	4
PG406	卒業研究	廣原 紀恵	通年	集中		常勤	2
PG407	卒業研究	臼坂 高司	通年	集中		常勤	3
PG408	卒業研究	松本 日之春	通年	集中		常勤	0

1-2 茨城大学教育学研究科

1-2-1 茨城大学大学院教育学研究科を運営するに当たって準拠する規則

学校教育法に基づく大学院設置基準 (昭和 49 年 6 月 20 日 文部省令第二十八号)

茨城大学学則

茨城大学大学院学則 (以下「大学院学則」)

茨城大学学位規則 (以下「学位規則」)

茨城大学大学院教育学研究科規則 (以下「研究科規則」) (本便覧に収録)

学位論文の審査及び最終試験実施要項 (以下「学位論文審査要項」)
(〃)

その他各種申し合わせ事項、及び各種ガイドライン等

この便覧は、それらから学生に必要と思われる内容を編集したものである。

1-2-2 教育学研究科の組織構成

茨城大学大学院教育学研究科は、5 専攻 14 専修で構成されている (研究科規則第 3 条)。

学校教育専攻	学校教育専修
障害児教育専攻	障害児教育専修
教科教育専攻	国語教育専修
	社会科教育専修
	数学教育専修
	理科教育専修
	音楽教育専修
	美術教育専修
	保健体育専修
	技術教育専修
	家政教育専修
	英語教育専修
養護教育専攻	養護教育専修
学校臨床心理専攻	学校臨床心理専修

1-2-3 各専攻の教育研究の目的

各専攻・専修が行う教育研究の目的は以下の通りである。学生が所属専攻・専修の学習においてどのような到達目標を持つべきかは、後掲の開講科目概要に各専攻・専修の教育目標として記す。

○学校教育専攻

学校教育専攻は次のような能力をもった人材を養成することを目的とする。

- ・学校教育に関する深い理解と教育実践についての十分な専門的知識をもち、学校における児童・生徒への多様な教育活動を、学んだ理論と研究方法を活用して行うことができる。
- ・学校教育の組織と運営についての専門的理解をもち、学校における教員集団の中心となって教育活動を行うことができる。

○障害児教育専攻

障害児教育専攻は次のような能力をもった人材を養成することを目的とする。

- ・障害をもつ児童・生徒についての教育学的、心理学的、生理学的な専門的知識をもち、それを研究する能力を活用して、適切に指導・援助することができる。
- ・発達障害をはじめとして増加してきている特別なニーズをもつ子どもたちに対応できる専門的な実践力をもち、学校教育の中で十分に活かしていくことができる。

○ 教科教育専攻

教科教育専攻は次のような能力をもった人材を養成することを目的とする。

- ・教科内容についての専門的な理解を持ち、教育内容の深化・変化に対応できる研究能力をもって、教科指導の高度化を進めることができる。
- ・教材化と教育方法についての専門的知識と実践力をもち、個々の児童・生徒、学校の実情に合わせた教科指導を展開し、先導できる。

○ 養護教育専攻

養護教育専攻は次のような能力をもった人材を養成することを目的とする。

- ・児童・生徒の心身の健康に関する専門的知識をもち、その視点から児童・生徒の状況を的確に把握するとともに、発達段階や特性に応じて適切に対応できる。
- ・児童・生徒の心身に關わる学校教育の多様な課題を十分に理解し、他の教員や保護者あるいは関係諸機関と連携・調整して実践的に対応できる。

○ 学校臨床心理専攻

学校臨床心理専攻は次のような能力をもった人材を養成することを目的とする。

- ・教育をはじめとする様々な分野における多様なこころの問題への心理学的援助に関する実践と研究を専門的に行うことができる。
- ・こころの問題に関する様々な分野について高い見識をもち、専門的技能と研究能力を生かして、それぞれの分野において社会の発展に寄与することができる。

1-2-4 教育学研究科の運営体制

教育学研究科の諸事項は大学院教育学研究科教員で組織する研究科委員会で審議し、決定する。各専修には専修を代表する専修主任と専修関係の諸事項を担当する専門委員がいる。種々の専門的事項については、各専修の専門委員で構成する専門委員会が審議し、研究委員会に提案する。

1-2-5 主指導教員・副指導教員

学生には、その研究主題に応じ、指導教員を定める（研究科規則第4条）。各専修は年度当初に学生の希望や指導体制を考慮して、主指導教員1名、副指導教員2名以上を決め、所定書式で提出する。大学院教員には指導教員と授業担当教員との区別がある。学生の研究指導と授業をするのが指導教員、授業をするのが授業担当教員である。各専修で確認すること。主指導教員は当該専攻・専修の指導教員の中から選ぶ。副指導教員は研究主題との関係で適切と判断できれば、他専攻・他専修の指導教員・授業担当教員でもよい。

1-2-6 履修方法

後掲の「研究科規則 別表3」の各専修備考欄に指定された授業科目を履修する（研究科規則第6条）。履修する授業科目は必修科目と選択科目（学校臨床心理専修は選択必修科目）とに分かれる。各専修によって指定が違うので別表で確認すること。

ただし、研究科規則別表記載の授業科目のすべてが開講されているとは限らないので注意すること。開講授業科目は本便覧所収の「開講授業科目一覧」及び「開講授業科目概要」に掲載されている。「開講授業科目一覧」で授業科目は各種の科目群「分野」に分類されている。また、再度履修して単位を累加できる授業科目とできない授業科目の区別も示されている。

ほとんどの授業は半期2単位である。ただし、大学院共通科目及びサステイナビリティ学教育プログラム、学校臨床心理専修の一部授業は1単位であり、最終年次に修了研究の指導を行う特別課題研究は通年4単位である。

修了に必要な最低単位は別表備考欄で指定された授業科目34単位である（下表及び研究

科規則別表参照)。専修毎にバランスの取れた複数の履修モデルを提供しているので、それを参考に計画をたてること。学年または学期の始めに、該当授業の担当教員に履修の承諾を得て、履修科目一覧を研究科長へ提出する(研究科規則第 6 条)。該当授業の担当教員に必要事項を記入して提出した履修科目申告票が受領されれば、履修の承諾となる。履修科目一覧は専修主任及び主指導教員の承認を得て学務第二係へ届ける。

専 攻		学校 教育	障害 児教育	教科 教育	養護 教育	学校臨 床心理	
必 修		研究科共通科目 a 群	4	4	4	4	
選 択 必 修	共通科目	大学院共通科目から	2	2	2	2	
		研究科共通科目 b 群から	2	2	2	2	
	専攻科目	学校教育に関する科目から	1 0				
		障害児教育に関する科目から	(2)	1 2			
		教科教育に関する科目から	4	2	1 2		
		養護教育に関する科目から				1 4	
		学校臨床に関する科目から					1 6
選択（研究科内の科目から）		8 *	8 *	1 0 *	8 *	1 4	
特別課題研究（必修）		4	4	4	4	4	
修了要件単位合計		3 4	3 4	3 4	3 4	3 4	

また、他研究科での授業科目(大学院共通科目を除く)は自由単位(修了要件にしない)として認める。その履修は、前もって当該授業の担当教員及び主指導教員の承諾を得ること。履修を研究科委員会が了承して単位として認められる。

また、教員免許取得等の関係で学部の科目等履修生(単位取得をする)になる場合、在学中 24 単位の修得を認める(科目数は不問とする)。

1-2-7 試験及び成績評価

履修科目の単位の授与は、試験その他の方法によって授業科目の担当教員が行う(研究科規則第 10 条)。試験又は報告書(レポート)等の評価は A、B、C、D をもって行い、D は不合格である(同 11 条)。その評価基準は表の通りである。各授業科目の具体的な評価基準及び評価方法は、授業概要に記載の通りである。学生には年度末又は学期末に履修授業の成績通知票が交付される。

区分	点数	評価の内容
A	80～100	授業科目の到達目標、内容を 8 割以上達成、理解・修得できた。
B	60～ 79	授業科目の到達目標、内容を 7 割達成、理解・修得できた。
C	50～ 59	授業科目の到達目標、内容を 5～6 割達成、理解・修得できた。
D	0～ 49	授業科目の到達目標、内容を 5 割未満しか達成、理解・修得できなかった。

以上の A～D の評価の他に、「欠試」「取止」がある。試験欠席又は報告書未提出の場合は「欠試」、受講者が自ら受講取止を申告した場合は「取止」となる。授業の出席時数が総授業数の 3 分の 2 に達しない場合は、試験を受けても単位は認定されず D 評価となる。追試験は研究科委員会の議を経て行われる(研究科規則第 10 条 2)。追試験はやむを得ない事由のある「欠試」の場合のみに認められる。一度単位が認定された評価は再履修しても変更できない。D 評価、欠試、取止の場合は再履修ができる。単位累加可の授業以外は、既に単位が認定された授業を再履修しても単位は認定されない。交付された成績に関して

説明を希望する場合は、当該教員又は後述の相談窓口に応じ出ることができる。

1-2-8 修了研究としての学位論文

特別課題研究で指導を受け、指定された期限までに学位論文（大学院学則に規定された特定課題の研究成果を含む）を提出する（研究科規則第 12 条）。学位論文の審査会は所属専攻の指導教員の 1 名と研究科内の内容に関係する教員 2 名以上をもって組織される（学位規則第 12 条の 2）。審査員は原則として主指導教員と副指導教員 2 名である。学位論文は、別に定める評価基準と審査方法により可・不可の二種に評価される。なお、前述の「大学院学則に規定された特定の課題の研究成果」とは、演奏・演技・作品及び関連論文を指す。

各専修における学位論文に関する基準等については、「IV 各専修の履修計画指針」を参照すること。

1-2-9 最終試験と学位論文の公開

最終試験は学位論文を中心として、それに関連する事項について行う（学位規則第 14 条）。学位論文は各専修における発表会等で公開する。合格した学位論文は、研究科で刊行する抄録集に概要を掲載できる。その際、国立教育政策研究所の教育情報検索システムによる電子化を了承する。

1-2-10 修了要件と学位

研究科に 2 年以上在籍し、研究科指定の科目 34 単位修得し、必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格すると修了でき、学位（教育学）が与えられる（大学院学則第 21 条の 2）。在籍期間については 1 年、3 年と例外的制度がある（研究科規則第 9 条、第 14 条参照）。

1-2-11 学生相談の体制

学生が学習、経済、進路、人間関係、その他各種困難な事態に直面した場合は、専修主任、専修専門委員に相談されたい。また、専修を超えた研究科全体としての相談窓口も設けているので、そちらへ相談したい場合は、学務第二係の相談受付窓口に応じ出ること。秘密は厳守される。

1-2-12 奨学金・授業料免除・奨学金返還免除

日本学生支援機構の奨学金貸与や授業料免除を希望する学生は、年度当初に募集要項を配布しているので所定の窓口に取りに行くこと。また、日本学生支援機構の奨学金貸与を受けた者のうち、特に優れた業績をあげた者を奨学金返還免除候補者として大学が推薦する制度がある。推薦を希望する者には第 2 年度の 2 月に申請書を配布するが、第 1 年度から条件に合うように留意すること。

1-2-13 学位論文の審査及び最終試験実施要項（昭和 63 年 12 月 21 日教育学研究科委員会決定）

1. 趣 旨

修士（教育学）の学位授与に関しては、茨城大学大学院学則、茨城大学学位規則（以下「学位規則」という。）及び茨城大学大学院教育学研究科規則（以下「教育学研究科規則」という。）によるもののほか、この要項による。

2. 学位論文審査

(1) 論文の提出資格

所属専修に 1 年以上在学し、修士課程修了見込みの者。

(2) 論文の提出期限

1 月 31 日（9 月修了予定の者については、7 月 31 日）とする。（提出日が土・日曜日にあたる場合は次の休業日とする。）

(3) 論文の提出部数

1 編 3 部とする。（正本 1 部、副本 2 部）

(4) 論文の提出方法

論文には論文要旨（2,000 字以内）及び論文審査願を添付し、指導教員の承認を得て、研究科長に提出する。

ただし、教育学研究科規則第 9 条第 1 項の規定に基づき、専修領域によって特定の課題についての研究作品をもって代える場合は、その関連論文を添えて提出する。

(5) 論文審査会・審査員

学位規則第 12 条の規定に基づき審査会を設置する。審査員は原則として主指導教員を主査、副指導教員 2 名を副査とする。各専修においては審査の一環として、発表会等論文内容を公開する場を設けるものとする。

(6) 評価

学位論文の評価は可・不可の二種とし、教育に関する優れた知見を修得したことが認められ、学位論文が次のいずれかに該当する場合を可とする。

- ① 高度な研究又は実践の能力を修得したと認められる。
- ② 修士課程修了時の研究論文としても妥協性、または独創性が認められる。

(7) 学生への明示

この要項に基づいて各専修で設定する学位論文及び茨城大学大学院学則第 22 条に規定された「特定の課題」に関する評価基準、審査方法及び最終試験の方法等については、該当学生にあらかじめ明示するものとする。

3. 論文題目の変更

論文題目を変更する場合は、指導教員の承認を得て、研究科長に届出なければならない。

4. 最終試験

最終試験は、学位規則第 14 条の規定に基づき実施するものとする。

5. 論文の審査及び最終試験の期日

論文の審査及び最終試験は、2 月 20 日（9 月修了予定の者については、8 月末日）までに終了し、審査会はその結果を文書をもって研究科委員会に報告しなければならない。（期日が土・日曜日にあたる場合は前の休業日とする。）

6. 論文の保管

審査に合格した論文の 1 部は、教育学研究科に保管する。

7. その他

この要項によりがたいときは、その都度、研究科委員会に付議し決定する。

1-2-14 教育職員免許について

本研究科において、修了資格を得た者で、各専修の授業科目（※印の授業科目を除く）のうちから 24 単位以上の所要の単位を修得した者は、各専攻・専修に応じ以下の専修免許

状授与の所要資格（以下「授与資格」という。）を得ることができる。

ただし、専修免許状の授与資格を得ることができる者は、すでに当該免許の一種免許状を授与されている者（授与資格を得ている者を含む。）に限られる。

専攻	専修	幼稚園教諭 専修免許状	小学校教諭 専修免許状	中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状	養護教諭 専修免許状	特別支援 学校教諭 専修免許状
学校教育	学校教育	○	○	国語、社会、 数学、理科、 音楽、美術、 保健体育、 保健、技術、 家庭、職業指 導、英語	国語、地理歴史、 公民、数学、 理科、音楽、 美術、工芸、 書道、保健体育、 保健、家庭、 工業、職業指導、 英語	○	
障害児教育	障害児教育						○
教科教育	国語教育	○	○	国語	国語		
	社会科教育		○	社会	地理歴史、公民		
	数学教育	○	○	数学	数学		
	理科教育		○	理科	理科		
	音楽教育	○	○	音楽	音楽		
	美術教育	○	○	美術	美術、工芸		
	保健体育	○	○	保健体育	保健体育		
	技術教育			技術	工業		
	家政教育		○	家庭	家庭		
	英語教育			英語	英語		
養護教育	養護教育			保健	保健	○	
学校臨床 心理	学校臨床 心理	○	○	国語、社会、 数学、理科、 音楽、美術、 保健体育、 保健、技術、 家庭、英語	国語、地理歴史、 公民、数学、 理科、音楽、 美術、工芸、 書道、保健体育、 保健、家庭、 工業、英語	○	

- (注) 1. 教科教育専攻及び養護教育専攻の者は、学校教育の授業科目（教職に関する科目）を 24 単位の中に含めて取得しても差し支えない。
2. 学校教育専攻の者は、取得しようとする当該免許（教科）の教科教育専修の授業科目（教科に関する科目及び教職に関する科目）を 24 単位の中に含めて取得しても差し支えない。
3. 学校教育、国語教育、数学教育、音楽教育、美術教育及び保健体育専修の者で幼稚園教諭専修免許状を取得する場合は、「道徳教育特論」、「道徳教育演習」の単位は含まれない。

※本研究科では、学生が一種免許状を取得するために、学部授業の聴講が一定の範囲で認められている（科目等履修生）が、別途、検定料、入学料および授業料が必要になるので注意すること。希望者は学務係に相談すること。

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2-1-15 開講科目

①研究科共通科目（必修）※学校臨床心理専攻を除く。〔担当教員欄（ ）書きは、当該教員の研究領域を示す。〕

①研究科共通科目（必修）※学校臨床心理専攻を除く。〔担当教員欄（ ）書きは、当該教員の研究領域を示す。〕

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目 a 群	地域教育資源フィールドスタディ	2	前	水	4	講義	×	教授 橋浦洋志 他	(教職) 全専修免許状に対応					不可
	授業展開ケーススタディ	2	後	水	4	演習	×	教授 橋浦洋志 他	(教職) 全専修免許状に対応					不可

②研究科共通科目（選択必修）※学校臨床心理専攻を除く。

共通科目 b 群	学校教育総合研究	2	前	月	5	講義	×	三輪壽二、小川哲哉	(教職) 全専修免許状に対応					不可
	教科コラボレートケーススタディ	2	前	水	4	講義	×	教授 橋浦洋志 他	(教職) 全専修免許状に対応					不可

③大学院共通科目（選択必修）※学校臨床心理専攻を除く。

大学院共通科目	地球環境システム論Ⅰ（※）	1	前	月	1	講義	×	三村信男 他	不 可					不可
	持続社会システム論Ⅰ（※）	1	後	月	1	講義	×	中川光宏	不 可					不可
	人間システム基礎論Ⅰ（※）	1	後	水	1	講義	×	伊藤哲司	不 可					不可
	人文社会科学基礎論Ⅰ	1	前	水	5	講義	×	佐々木寛司	不 可					不可
	人文社会科学基礎論Ⅱ	1	前	水	5	講義	×	佐々木寛司	不 可					不可
	学術英会話	2	前	水	1	講義	×	畑中泰道	不 可					不可
	国際コミュニケーション特論	2	前	月	2	講義	×	中野武重	不 可					不可
	学校教育基礎論	2	後	水	5	講義	×	木村競 他	不 可					不可
	科学と倫理	2	前	集中		講義	×	小玉 喜三郎	不 可					不可
	持続社会システム特論Ⅰ	2		休講		講義	×	柳島宏治	不 可					不可
	持続社会システム特論Ⅱ	2		休講		講義	×	柳島宏治	不 可					不可
	実学的産業特論	2	後	水	5	講義	×	中澤哲夫	不 可					不可
	学術情報リテラシー	1	前	集中		講義	×	小野寺淳	不 可					不可
	霞ヶ浦環境科学概論	1	前	集中		講義	×	加藤亮、黒田久雄、中里亮治、藤田昌史	不 可					不可
	原子科学と倫理	2	後	集中		講義	×	小澤哲	不 可					不可
	食料の安全生産と農学	1	前	木	4	講義	×	新田洋司	不 可					不可
	地域サステイナビリティ農学概論	1	後	集中		講義	×	太田寛行	不 可					不可

（※）印の科目は「サステイナビリティ学プログラム」にも対応した科目

④サステイナビリティ学プログラム

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
基盤科目	サステイナビリティ学最前線	2	前	集中		講義	×	田村 誠	不 可					不可
	地球環境システム論Ⅰ（※）	1	前	月	1	講義	×	三村信男 他	不 可					不可
	持続社会システム論Ⅰ（※）	1	後	月	1	講義	×	中川光弘 他	不 可					不可
	人間システム基礎論Ⅰ（※）	1	後	水	1	講義	×	伊藤 哲司 他	不 可					不可
	地球環境システム論Ⅱ	1	後	集中		講義	×	山村靖夫 他	不 可					不可
	持続社会システム論Ⅱ	1	前	金	1	講義	×	原口弥生 他	不 可					不可
	人間システム基礎論Ⅱ	1	前	火	4	講義	×	木村競 他	不 可					不可
演習科目	ファシリテーション能力開発演習Ⅰ	1	前	集中		演習	×	山岸裕	不 可					不可
	ファシリテーション能力開発演習Ⅱ	1	前	集中		演習	×	山岸裕	不 可					不可
	国際実践教育演習	2	前	集中		演習	×	伊藤 哲司	不 可					不可
	国内実践教育演習	2	前	集中		演習	×	原口弥生 他	不 可					不可
	サステイナビリティ学インターンシップ	2		未定			×	関係教員	不 可					不可

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

教育学研究科専門科目	サステイナビリティ教育特論Ⅰ	1	前	集中	講義	×	郡司晴元 他	不 可				不可		
	サステイナビリティ教育特論Ⅱ	1		休講	講義	×	郡司晴元 他	不 可				不可		
	サステイナビリティ教育演習Ⅰ	1		休講	演習	×	大辻永 他	不 可				不可		
	サステイナビリティ教育演習Ⅱ	1		休講	演習	×		不 可				不可		
	サステイナビリティ教育演習Ⅲ	1	後	集中	演習	×	関係教員	不 可				不可		
	地域教育資源フィールドスタディ (※)	2	前	水	4	講義	×	橋浦洋志 他	(教職) 全専修免許状に対応				不可	
	地域自然環境特論	2	前	金	4	講義	×	清水徹	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	西川 陽子	不可	(教科) 対応	(教科) 家庭	(教科) 家庭	不可	不可
	被服学特論	2	前	月	4	講義	○	木村 美智子	不可	(教科) 対応	(教科) 家庭	(教科) 家庭	不可	不可

(※) 印の科目は、大学院共通科目または研究科共通科目にも対応した科目

⑤学校教育専攻 学校教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分						
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目	
									幼	小	中	高	養教	特別支援	
教育学専攻	教育原論特論	2	前	火	2	講義	○	教授 小川 哲哉 (教育哲学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	学校経営論特論	2	前	火	5	講義	○	准教授 加藤崇英	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	学校経営演習	2	後	火	5	演習	○	〃	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	教育社会学特論	2	前	水	2	講義	○	教授 小島 秀夫 (教育社会学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
教育学専攻	教育社会学演習	2	後	水	2	演習	○	〃	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	生涯教育論特論	2	前	火	3	講義	○	教授 望月 厚志 (社会教育)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	生涯教育論演習	2	後	火	3	演習	○	〃	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	教育方法学特論	2	前	木	1	講義	○	教授 生越 達 (教育方法学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
教育学専攻	教育方法学演習	2	後	木	1	演習	○	〃	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	教授学特論	2	前	木	3	講義	○	教授 本田 敏明 (教育方法学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	教授学演習	2	前	金	2	演習	○	准教授 杉本 憲子 (教育方法学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	教育心理学特論	2	後	木	3	講義	○	准教授 丸山 広人 (教育心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
教育学専攻	教育情報処理	2	後	月	5	講義	○	准教授 丸山 広人 (教育心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	認知心理学演習	2	前	火	4	演習	○	准教授 関友作 (教育心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	発達心理学特論	2	前	月	4	講義	○	教授 村野井 均 (発達心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	発達心理学演習	2	後	月	4	演習	○	〃	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
教育学専攻	人間関係特論	2	前	木	5	講義	○	准教授 渡部 玲二郎 (発達心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	教育臨床心理特論	2	前	木	3	講義	○	教授 三輪 壽二 (臨床心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	臨床家族心理学特論	2	後	月	2	講義	○	教授 三輪 壽二 (臨床心理学)	(教職) 全専修免許状に対応					不可	
	特別課題研究	4		通年		演習		指導教員	不 可					不可	

⑥障害児教育専攻 障害児教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分						
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目	
									幼	小	中	高	養教	特別支援	
共通科目	障害学総合研究	2	後	月	5	講義	○	障害児教育専修全教員	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	障害児教育学特論Ⅰ (障害児教育学・教育史)	2	前	火	5	講義	○	教授 荒川 智 (障害児教育学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	障害児教育学演習Ⅰ	2	後	火	3	演習	○	〃	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	障害児教育学特論Ⅱ (障害児教育方法学)	2	前	月	5	講義	○	准教授 新井 英靖 (障害児教育学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
障害児教育	障害児教育学演習Ⅱ	2	後	月	4	演習	○	〃	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	障害児心理学特論Ⅰ (障害児認知心理学)	2	前	火	3	講義	○	教授 松村 多美恵 (障害児心理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	障害児心理学演習Ⅰ	2	後	火	5	演習	○	〃	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
	障害児心理学特論Ⅱ (障害児臨床心理学)	2	前	火	4	講義	○	教授 東條 吉邦 (障害児心理学)	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	
障害児心理	障害児心理学演習Ⅱ	2	後	火	4	演習	○	〃	不 可					特別支援学校教諭専修免許状に対応	

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

障害児生理	障害児生理学特論Ⅰ (発達障害学)	2	前	月	2	講義	○	准教授 勝二 博亮 (障害児生理学)	不 可	特別支援学校教諭専 修免許状に対応
	障害児生理学演習Ⅰ	2	後	木	3	演習	○	〃	不 可	特別支援学校教諭専 修免許状に対応
	障害児生理学特論Ⅱ (障害児生理学)	2	前	金	2	講義	○	教授 尾崎 久記 (障害児生理学)	不 可	特別支援学校教諭専 修免許状に対応
	障害児生理学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	○	〃	不 可	特別支援学校教諭専 修免許状に対応
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不 可	不可

⑦教科教育専攻 国語教育専修

分野	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授業 形態	単位の 累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	言語文化総合研究	2	前	月	4	講義	×	国語教育専修全教員	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
	国語教育授業設計	2	後	木	4	講義	×	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 国語	(教職) 国語	不可	不可
国語科教育	国語科教育学特論Ⅰ	2	前	木	2	講義	×	教授 大内 善一 (国語科教育学)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 国語	(教職) 国語	不可	不可
	国語科教育学演習Ⅰ	2	後	木	1	演習	×	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 国語	(教職) 国語	不可	不可
	国語科教育学特論Ⅱ	2	前	月	2	講義	×	准教授 昌子 佳広 (国語科教育学)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 国語	(教職) 国語	不可	不可
	国語科教育学演習Ⅱ	2	後	月	2	演習	×	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 国語	(教職) 国語	不可	不可
国語学	古典語特論	2	前	火	2	講義	×	教授 川嶋 秀之 (国語学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
	現代語演習	2	後	木	5	演習	×	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
国文学	近代文学特論	2	前	金	5	講義	×	教授 橋浦 洋志 (日本近代文学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
	現代文学研究Ⅱ (詩歌)	2	後	金	5	演習	×	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
漢文学	漢文学特論	2	前	金	3	講義	×	教授 増子 和男 (漢文学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
	漢文学研究	2	後	金	3	演習	×	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
書道	書写書道教育研究	2	前	金	1	講義	×	准教授 齋木 久美 (書写書道)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
	書写書道教育演習	2	後	金	1	演習	×	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 国語	(教科) 国語	不可	不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不 可					不可

⑧教科教育専攻 社会科教育専修

分野	授業科目	単 位	区 分	曜 日	講 時	授業 形態	単位の 累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	社会・文化総合研究	2	前	水	2	講義	×	小野寺淳、木村競、賀来健輔	不可	(教科) 対応	(教科) 社会	(教科) 地理歴史・公民	不可	不可
	社会科授業設計	2	後	火	3	演習	○	木村勝彦、村山朝子	不可	(教職) 対応	(教職) 社会	(教職) 地理歴史・公民	不可	不可
社会科教育	社会科教育特論Ⅰ	2	前	月	3	講義	×	教授 木村 勝彦 (社会科教育学)	不可	(教職) 対応	(教職) 社会	(教職) 地理歴史・公民	不可	不可
	社会科教育演習Ⅰ	2	後	月	3	演習	○	〃	不可	(教職) 対応	(教職) 社会	(教職) 地理歴史・公民	不可	不可
	社会科教育特論Ⅱ	2	前	金	3	講義	×	教授 村山 朝子 (社会科教育学)	不可	(教職) 対応	(教職) 社会	(教職) 地理歴史・公民	不可	不可
	社会科教育演習Ⅱ	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	(教職) 対応	(教職) 社会	(教職) 地理歴史・公民	不可	不可
歴史学	日本史特論	2	休講			講義	×	教授 酒井 紀美 (日本中世史)	不可	(教科) 対応	(教科) 社会	(教科) 地理歴史	不可	不可
	日本史演習	2	後	木	4	演習	○	〃	不可	(教科) 対応	(教科) 社会	(教科) 地理歴史	不可	不可
	西欧史特論	2	前	金	4	講義	×	教授 池谷 文夫 (西欧中世史)	不可	(教科) 対応	(教科) 社会	(教科) 地理歴史	不可	不可
	西欧史演習	2	後	金	4	演習	○	〃	不可	(教科) 対応	(教科) 社会	(教科) 地理歴史	不可	不可

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

地理学	人文地理学特論	2	後	金	3	講義	×	教授 小野寺 淳 (人文地理学)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	人文地理学演習	2	後	月	2	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	地誌学特論	2	前	月	2	講義	×	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	地誌学演習	2	後	金	2	演習	○	教授 早川 唯弘 (自然地理学)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	自然地理学特論	2	前	木	2	講義	×	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
	自然地理学演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)地理歴史	不可	不可
政治学	政治学特論	2	前	火	1	講義	×	教授 賀来 健輔 (政治学)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	政治学演習	2	後	火	1	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
経済学	経済学特論	2	前	火	2	講義	×	教授 大槻 功 (経済史)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	経済学演習	2	後	火	2	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
社会学	社会学特論	2	前	木	3	講義	×	教授 岩佐 淳一 (社会学)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	社会学演習	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
法学	憲法特論	2	前	木	5	講義	×	准教授 中野 雅紀 (憲法学)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	憲法演習	2	後	木	3	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
哲学	倫理学特論	2	前	月	2	講義	×	教授 木村 競 (倫理学)	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
	倫理学演習	2	後	月	2	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)社会	(教科)公民	不可	不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不可				不可	

⑨教科教育専攻 数学教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	数学総合研究	2	前	金	5	講義	×	数学教育専修全教員	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	数学科教育授業設計	2	後	月	2	講義	×	〃	(教職)対応	(教職)対応	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
数学科教育	数学科教育学特論Ⅰ	2	前	木	3	講義	×	教授 根本 博 (数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	数学科教育学演習Ⅰ	2	後	木	3	演習	○	〃	(教職)対応	(教職)対応	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	数学科教育学特論Ⅱ	2	前	火	4	講義	×	准教授 小口 祐一 (数学教育学)	(教職)対応	(教職)対応	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
	数学科教育学演習Ⅱ	2	後	火	3	演習	○	〃	(教職)対応	(教職)対応	(教職)数学	(教職)数学	不可	不可
代数学	代数学特論	2	前	木	4	講義	×	教授 柳田 伸顕 (代数的位相幾何学)	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	代数学演習	2	後	木	4	演習	○	〃	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
幾何学	幾何学特論Ⅰ	2	前	木	2	講義	×	教授 岡安 隆 (微分幾何学)	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	幾何学演習Ⅰ	2	後	木	2	演習	○	〃	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
解析学	解析学特論Ⅰ	2	前	金	3	講義	×	教授 曾我 日出夫 (微分方程式論)	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	解析学演習Ⅰ	2	後	金	4	演習	○	〃	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	応用数学特論	2	前	月	3	講義	×	准教授 梅津 健一郎 (応用解析学)	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
	応用数学演習	2	後	月	4	演習	○	〃	(教科)対応	(教科)対応	(教科)数学	(教科)数学	不可	不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不可				不可	

⑩教科教育専攻 理科教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	自然科学総合研究	2	前	集中		講義	×	理科教育専修全教員	不可	(教科)対応	(教科)理科	(教科)理科	不可	不可
	理科授業設計	2	前	集中		演習	×	〃	不可	(教職)対応	(教職)理科	(教職)理科	不可	不可

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

理科教育	理科教育学特論Ⅰ (初等理科教育論)	2	前	月	3	講義	×	准教授 郡司晴元 (理科教育学) 准教授 大辻 永 (理科教育学) 教授 山本勝博 (理科教育学)	不可	(教職) 対応	(教職) 理科	(教職) 理科	不可	不可
	理科教育学演習Ⅰ	2	前	金	2	演習	×	准教授 郡司晴元 (理科教育学) 准教授 大辻 永 (理科教育学) 教授 山本勝博 (理科教育学)	不可	(教職) 対応	(教職) 理科	(教職) 理科	不可	不可
	理科教育学特論Ⅱ (理科教育原理)	2	後	火	3	講義	×	教授 山本 勝博 (理科教育学)	不可	(教職) 対応	(教職) 理科	(教職) 理科	不可	不可
	理科教育学演習Ⅱ	2	後	月	3	演習	×	准教授 郡司晴元 (理科教育学) 准教授 大辻 永 (理科教育学) 教授 山本勝博 (理科教育学)	不可	(教職) 対応	(教職) 理科	(教職) 理科	不可	不可
物理学	物理学特論	2	前	火	3	講義	×	准教授 永尾 敬一 (素粒子物理学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
	物理学特 物理学特別実験	2	前	火	1・2	実験	×	教授 矢島 裕介 (物性物理学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
化学	化学特論	2	前	月	2	講義	×	准教授 松川 覚 (化学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
	化学特別実験	2	後	金	1・2	実験	×	〃	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
生物学	生物学特論	2	前	木	1	講義	×	教授 山根 爽一 (動物社会学) 教授 小野 義隆 (菌学・植物病理学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
	生物学特別実験	2	通 年	木	2	実験	×	教授 小野 義隆 (菌学・植物病理学) 教授 山根 爽一 (動物社会学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
地学	地学特論	2	前	金	3	講義	×	准教授 伊藤 孝 (岩石鉱物学) 教授 牧野 泰彦 (地質学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
	地学特別実験	2	後	金	4・5	実験	×	准教授 伊藤 孝 (岩石鉱物学) 教授 牧野 泰彦 (地質学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
科学論	地域自然環境特論	2	前	金	4	講義	×	教授 清木 徹 (環境保全学)	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
	地域自然環境演習	2	後	火	2	演習	×	〃	不可	(教科) 対応	(教科) 理科	(教科) 理科	不可	不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員		不 可				不可

⑪教科教育専攻 音楽教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	音楽文化総合研究	2	前	水	3	講義	×	音楽教育専修全教員	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
	音楽教育授業設計	2	後	水	3	講義	×	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 音楽	(教職) 音楽	不可	不可
音楽科教育	音楽科教育研究法	2	前	火	4	講義	○	教授 田中 健次 (音楽科教育学)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 音楽	(教職) 音楽	不可	不可
	音楽科教育学特論Ⅰ	2	後	月	4	講義	○	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 音楽	(教職) 音楽	不可	不可
	音楽科教育学演習	2	前	金	4	演習	○	准教授 藤田 文子 (音楽科教育学)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 音楽	(教職) 音楽	不可	不可
	音楽科教育学特論Ⅱ	2	後	木	5	講義	○	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 音楽	(教職) 音楽	不可	不可
器楽	器楽研究	2	前	金	3	講義	○	教授 佐藤 篤 (器楽)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
	器楽演習	2	後	金	4	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
声楽	声楽研究	2	前	木	2	講義	○	准教授 谷川 佳幸 (声楽)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
	声楽演習	2	後	木	1	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
作曲・指揮法	作曲・指揮法研究	2	前	火	3	講義	○	特任教員 松本 日之春 (作曲・指揮)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
	作曲・指揮法演習	2	後	火	3	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
音楽学	音楽学研究	2	前	金	2	講義	○	教授 神部 智 (音楽学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
	音楽学演習	2	後	木	3	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 音楽	(教科) 音楽	不可	不可
特別課題研究		4	通			年	演習	指導教員	不 可					不可

⑫教科教育専攻 美術教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	美術文化総合研究	2	前	金	1	講義	×	美術教育専修全教員	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
	美術教育授業設計	2	後	金	1	演習	×	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 美術	(教職) 美術	不可	不可
美術教育	美術教育研究Ⅰ	2	前	火	2	講義	○	教授 金子 一夫 (美術教育史)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 美術	(教職) 美術	不可	不可
	美術教育演習Ⅰ	2	後	火	2	演習	○	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 美術	(教職) 美術	不可	不可
	美術教育研究Ⅱ	2	前	木	2	講義	○	准教授 向野 康江 (芸術教育思想史)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 美術	(教職) 美術	不可	不可
	美術教育演習Ⅱ	2	後	集中		演習	○	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 美術	(教職) 美術	不可	不可

平成23年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

絵画	絵画研究	2	前	金	4	演習	○	准教授 片口 直樹 (絵画)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
	絵画演習	2	後	月	4	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
彫刻	彫刻研究	2	前	木	4	演習	○	准教授 島 剛 (彫刻)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
	彫刻演習	2	後	金	5	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
デザイン	デザイン研究Ⅰ	2	前	金	3	講義	○	教授 島田 裕之 (平面デザイン)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術・工芸	不可	不可
	デザイン演習Ⅰ	2	後	金	3	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術・工芸	不可	不可
	デザイン研究Ⅱ	2	前	火	5	講義	○	教授 齋藤 芳徳 (立体デザイン)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術・工芸	不可	不可
	デザイン演習Ⅱ	2	後	火	5	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術・工芸	不可	不可
工芸	木材工芸研究	2	前	木	5	演習	○	教授 寺本 輝正 (木材工芸)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術・工芸	不可	不可
	木材工芸演習	2	後	木	5	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術・工芸	不可	不可
	工芸・デザイン研究	2	前	木	3	演習	○	寺本 輝正 ・ 島田 裕之	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 工芸	不可	不可
	工芸・デザイン演習	2	後	木	3	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 工芸	不可	不可
美術理論・美術史	西洋美術史研究	2	前	火	3	演習	○	教授 甲斐 教行 (美術理論・美術史)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
	日本美術史研究	2	前	水	2	講義	○	教授 小泉 晋弥 (美術理論・美術史)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
	日本美術史演習	2	後	水	2	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
	造形芸術学	2	後	火	5	演習	○	教授 甲斐 教行 (美術理論・美術史)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 美術	(教科) 美術	不可	不可
特別課題研究		4	通年		演習			指導教員	不 可				不可	

⑬教科教育専攻 保健体育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	体育科学総合研究	2	後	火	5	講義	×	保健体育専修全教員	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	保健体育授業設計	2	前	火	5	演習	×	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 保健体育	(教職) 保健体育	不可	不可
保健体育科教育	体育教育特論	2	前	月	5	講義	×	准教授 吉野 聡 (保健体育科教育学)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 保健体育	(教職) 保健体育	不可	不可
	体育教育演習	2	後	月	5	演習	○	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 保健体育	(教職) 保健体育	不可	不可
	保健体育授業特論	2	前	月	2	講義	×	教授 岡本 研二 (保健体育科教育学)	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 保健体育	(教職) 保健体育	不可	不可
	保健体育授業論演習	2	後	月	2	演習	○	〃	(教職) 対応	(教職) 対応	(教職) 保健体育	(教職) 保健体育	不可	不可
体育学	体育社会学特論	2	前	火	1	講義	×	教授 日下 裕弘 (体育学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	体育社会学演習	2	後	火	1	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	スポーツ指導論特講	2	前	金	2	講義	×	教授 勝本 真 (体育学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	スポーツ指導論演習	2	後	金	2	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
運動学	運動生理学特論	2	前	火	3	講義	×	教授 尾形 敬史 (運動学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	運動生理学演習	2	後	火	3	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	運動方法学特論	2	前	火	4	講義	×	教授 巽 申直 (運動学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	運動方法学演習	2	後	火	4	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	バイオメカニクス特論	2	前	木	3	講義	×	教授 富樫 泰一 (運動学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	バイオメカニクス演習	2	後	木	3	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	形態学特論	2	前	金	4	講義	×	准教授 渡邊 将司 (運動学)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	形態学演習	2	後	金	4	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
学校保健	学校保健特論Ⅰ (学校保健総論)	2	前	月	4	講義	×	准教授 上地 勝 (学校保健)	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
	学校保健管理演習	2	後	月	4	演習	○	〃	(教科) 対応	(教科) 対応	(教科) 保健体育	(教科) 保健体育	不可	不可
特別課題研究		4	通年		演習			指導教員	不 可				不可	

平成 23 年度 茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

⑭教科教育専攻 技術教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	技術と生活総合研究	2	前	木	2	講義	×	技術教育専修全教員	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	技術科授業設計	2	後	木	2	講義	×	〃	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
技術科教育	技術科教育特論Ⅰ	2	休講			講義	×		不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
	技術科教育演習Ⅰ	2	集中			演習	○	非常勤講師 竹野 英敏（技術科教	不可	不可	(教職)技術	不可	不可	不可
電気	電気工学特論Ⅰ	2	前	月	4	講義	×	准教授 榊 守（電気工学）	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	電気工学演習Ⅰ	2	後	月	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	電気工学特論Ⅱ	2	前	火	2	講義	×	教授 佐々木 忠之（電気工学）	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	電気工学演習Ⅱ	2	後	金	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
機械	機械工学特論	2	前	火	3	講義	×	教授 安田 健一（機械工学）	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	機械工学演習	2	後	金	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
金属	金属工学特論	2	前	火	4	講義	×	教授 野崎 英明（金属工学）	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	金属工学演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
木材加工	木材加工学特論	2	前	木	4	講義	×	講師 白坂 高司（木材加工）	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
	木材加工学演習	2	後	木	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科)技術	(教科)工業	不可	不可
栽培	栽培学特論	2	前	火	5	講義	×	教授 稲葉 健五（栽培学）	不可	不可	(教科)技術	不可	不可	不可
	栽培学演習	2	後	火	5	演習	○	〃	不可	不可	(教科)技術	不可	不可	不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不可					不可

⑮教科教育専攻 家政教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	生活科学総合研究	2	前	木	3	講義	×	家政教育専修全教員	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	家庭科授業設計	2	後	木	3	講義	×	〃	不可	(教職)対応	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
家庭科教育	家庭科教育特論Ⅰ	2	前	火	3	講義	○	教授 山本 紀久子（家庭科教育学）	不可	(教職)対応	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
	家庭科教育演習Ⅰ	2	後	火	3	演習	○	〃	不可	(教職)対応	(教職)家庭	(教職)家庭	不可	不可
食物学	食物学特論	2	前	木	2	講義	○	准教授 西川 陽子（食物学）	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	食物学演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
被服学	被服学特論	2	前	月	4	講義	○	准教授 木村 美智子（被服学）	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	被服学演習	2	後	月	4	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
住居学	住居学特論	2	前	火	4	講義	○	准教授 乾 康代（住居学）	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	住居学演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
保育学	児童学特論	2	前	木	5	講義	○	教授 数井 みゆき（保育学）	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	児童学演習	2	後	木	5	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
家庭経営学	家族関係学特論	2	前	金	2	講義	○	准教授 佐藤 裕紀子（家庭経営学）	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
	家族関係学演習	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	(教科)対応	(教科)家庭	(教科)家庭	不可	不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不可					不可

⑯教科教育専攻 英語教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
共通科目	言語と文化総合研究	2	後	火	3	講義	×	英語教育専修全教員	不可	不可	(教科)英語	(教科)英語	不可	不可
	英語科授業設計	2	前	火	4	講義	×	〃	不可	不可	(教職)英語	(教職)英語	不可	不可

平成 23 年度 茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

英語科教育	英語科教育学特論Ⅰ (英語教授法研究)	2	前	木	2	講義	○	教授 猪井 新一 (英語教育学)	不可	不可	(教職) 英語	(教職) 英語	不可	不可
	英語科教育学演習Ⅰ	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職) 英語	(教職) 英語	不可	不可
	英語科教育学特論Ⅱ (評価論概要)	2	前	金	3	講義	×	准教授 齋藤 英敏 (英語教育学)	不可	不可	(教職) 英語	(教職) 英語	不可	不可
	英語科教育学演習Ⅱ	2	後	水	2	演習	○	〃	不可	不可	(教職) 英語	(教職) 英語	不可	不可
英語学	英語学特論Ⅰ (生成文法理論研究)	2	前	火	2	講義	×	教授 並木 崇康 (英語学)	不可	不可	(教科) 英語	(教科) 英語	不可	不可
	英語学演習Ⅰ	2	後	金	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 英語	(教科) 英語	不可	不可
英米文学	英米文学特論Ⅰ (アメリカ研究)	2	前	月	3	講義	○	教授 君塚 淳一 (アメリカ文学)	不可	不可	(教科) 英語	(教科) 英語	不可	不可
	英米文学演習Ⅰ	2	後	月	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 英語	(教科) 英語	不可	不可
	英米文学特論Ⅱ (近代英米文学研究)	2	前	金	4	講義	○	准教授 小林 英美 (イギリス文学)	不可	不可	(教科) 英語	(教科) 英語	不可	不可
	英米文学演習Ⅱ	2	後	金	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 英語	(教科) 英語	不可	不可
特別課題研究		4	通年		演習			指導教員	不可					不可

⑪ 養護教育専攻 養護教育専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の 累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
養護学	養護学総合研究	2	前	火	1	講義	×	養護教育専修全教員	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	養護教諭論特論	2	前	木	3	講義	×	准教授 斉藤 ふくみ (養護学)	不可	不可	不可	不可	(養護) 対応	不可
	養護教諭論演習	2	後	木	4	演習	○	〃	不可	不可	不可	不可	(養護) 対応	不可
	教育保健経営特論	2	前	金	3	講義	×	教授 瀧澤 利行 (公衆衛生学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	教育保健経営演習	2	後	金	3	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
教育保健活動	学校救急看護学特論	2	前	木	2	講義	×	准教授 廣原 紀恵 (看護学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	学校救急看護学演習	2	後	木	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	学校安全特論	2	前	火	5	講義	×	准教授 石原 研治 (学校保健)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	学校安全演習	2	後	火	5	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	ヘルスプロモーション論特論	2		休講		講義	×		不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	ヘルスプロモーション論演習	2		休講		演習	○		不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
教育生理学	教育保健医学特論	2	前	水	2	講義	×	教授 竹下 誠一郎 (小児科学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	教育保健医学演習	2	後	水	2	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	健康生理学特論	2	前	月	3	講義	×	教授 松坂 晃 (運動生理学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	健康生理学演習	2	後	月	3	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	学校疾病論特論	2	前	火	4	講義	×	教授 宮川 八平 (医学一般・消化器内科学)	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
	学校疾病論演習	2	後	火	4	演習	○	〃	不可	不可	(教科) 保健	(教科) 保健	(養護) 対応	不可
特別課題研究		4	通年		演習			指導教員	不可					不可

平成 23 年度 茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

⑯学校臨床心理専攻 学校臨床心理専修

分野	授業科目	単位	区分	曜日	講時	授業形態	単位の 累加	担当教員	専修免許区分					
									教科又は教職に関する科目					特別支援教育に関する科目
									幼	小	中	高	養教	特別支援
学校臨床基礎	臨床心理学特論Ⅰ*	2	前	火	2・3	講義	×	准教授 守屋 英子（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理学特論Ⅱ*	2	後	火	6	講義	×	教授 岸 良範（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	心理療法特論 *	2	前	火	1	講義	×	准教授 守屋 英子（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	カウンセリング特論 *	2	後	金	1・2	講義	×	教授 岸 良範（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理査定演習Ⅰ *	2	前	火	2・3	演習	×	守屋 英子・金丸 隆太	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理査定演習Ⅱ *	2	後	木	1・2	演習	×	岸 良範・金丸 隆太	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理基礎実習Ⅰ *	1	前	木	4・5	実習	×	正保 春彦・守屋 英子	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理基礎実習Ⅱ *	1	後	木	4・5	実習	×	〃	（教職）全専修免許状に対応					不可
	学校心理学研究法特論	2	後	月	5	講義	○	准教授 丸山 広人（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理研究法演習	2	後	金	5	演習	○	講師 金丸 隆太（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	家族心理学特論	2	休講			講義	○	教授 三輪 壽二（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	人格心理学特論	2	前	木	2	講義	×	〃	（教職）全専修免許状に対応					不可
	障害児臨床心理学特論	2	後	火	1	講義	○	非常勤講師 打越 実（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	思春期臨床心理学特論	2	後	火	3	講義	○	講師 金丸 隆太（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理学講読演習	2	前	金	5	講義	○	〃	（教職）全専修免許状に対応					不可
	精神医学特論	2	集中			講義	×	非常勤講師 伊藤 晋二（精神医学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	精神薬理学特論	2	休講			講義	×	〃	（教職）全専修免許状に対応					不可
学校臨床実践	発達臨床心理学特論	2	休講			講義	○	教授 村野井 均（発達心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	学校教育心理学特論	2	前	木	5	講義	×	准教授 渡部 玲二郎（発達心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理行政特論	2	後	火	2	講義	○	教授 岸 良範（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	グループアプローチ特論*	2	集中			講義	○	教授 正保 春彦（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	児童・生徒指導特論	2	前	木	3	講義	○	教授 生越 達（教育方法）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理実習Ⅰ *	1	前	火	4・5	実習	×	岸 良範・金丸 隆太・永原 伸彦・早川 けい子	（教職）全専修免許状に対応					不可
	臨床心理実習Ⅱ *	1	後	火	4・5	実習	×	〃	（教職）全専修免許状に対応					不可
	投影法特論 *	2	集中			講義	○	非常勤講師 黒田 浩司（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
	箱庭療法特論*	2	集中			講義	×	准教授 守屋 英子（臨床心理学）	（教職）全専修免許状に対応					不可
特別課題研究		4	通年			演習		指導教員	不 可					不可

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

1-3 開設授業科目の各種比率

学校教育教員養成課程

(特別支援学校教育コース)

専門科目	専任担当科目数	591	46
	兼任担当科目数	90	9
	専任教員の本数及び割合	681 86.8%	55 83.6%

養護教諭養成課程

専門科目	専任担当科目数	48
	兼任担当科目数	1
	専任教員の本数及び割合	49 98.0%

情報文化課程

(旧)

(新)

専門科目	専任担当科目数	119	109
	兼任担当科目数	20	21
	専任教員の本数及び割合	139 85.6%	130 83.8%

人間環境教育課程

専門科目	専任担当科目数	206
	兼任担当科目数	33
	専任教員の本数及び割合	239 86.2%

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

1-4 単位互換協定及び大学独自の単位認定の状況

				学校教育教員 養成課程	養護教諭養成 課程	情報文化課程	人間環境教育 課程	計
単位互換協定に 基づくもの	認定者数 (a)			7		1	3	11
	他大学	認定単位総数 (b)	専門 科目	6			2	8
			専門 以外	18		2	4	24
	短期大学	認定単位総数 (c)	専門 科目					
			専門 以外					
	1人当たり平均認定単位数 (b+c) /a			3.4		2	2	2.9
単位互換協定以 外のもの	認定者数 (d)			3	1	3	2	9
	他大学	認定単位総数 (e)	専門 科目		12		61	73
			専門 以外	8	5	8	77	98
	短期大学高専 含む・その他	認定単位総数 (f)	専門 科目					
			専門 以外	2		4		6
	1人当たり平均認定単位数 (e+f) /d			3.3	17	4	69	19.7

平成 23 年度茨城大学教育学部・大学院教育学研究科年報

2 広報

2-1 情報・広報室の活動

2-1-1 学部ウェブサイトの更新等

年度更新

緊急ニュース掲載サイト作成

2-1-2 パンフレットの発行

『茨城大学教育学部 学部案内 2012』 A4版 26 ページ

2-1-3 オープンキャンパスに関する事項

学生による学部紹介コーナーの開催

教員による相談コーナー

2-2 進学説明会

実施日	高 校 等	担 当 者
5月26日	茨城県立日立第二高校	島田裕之(情報教育)
5月31日	(株)栄美通信	新井英靖(障害児教育)
6月2日	(株)昭栄広報 栃木県立足利高校、栃木県立足利女子高校共同	新井英靖(障害児教育)
7月2日	茨城県水戸葵陵高校	島田裕之(情報教育)
7月2日	茨城県水戸短期大学附属高校	島田裕之(情報教育)
7月6日	(株)ライセンスアカデミー	新井英靖(障害児教育)
7月25日	宇都宮大学オープンキャンパス	新井英靖(障害児教育)
8月7日	福島大学オープンキャンパス	島田裕之(情報教育)
9月7日	(株)栄美通信	新井英靖(障害児教育)
9月13日	(株)栄美通信	新井英靖(障害児教育)
9月20日	(株)栄美通信	島田裕之(情報教育)
9月22日	茨城県立古河第三高校	新井英靖(障害児教育)
10月25日	村田女子高校	日下裕弘(保健体育)
10月26日	茨城県立取手第一高校	島田裕之(情報教育)
11月10日	茨城県立竹園高校	島田裕之(情報教育)
11月24日	茨城県立水戸第三高校	新井英靖(障害児教育)
12月14日	茨城県立下館第一高校	新井英靖(障害児教育)